

令和元年度 豊田衛生センター 解体撤去工事
(建築)

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名 称	1階1 図 (A1)	図面番号	図 面 名 称	縮 尺 (A1)
A-00	表紙・図面リスト	———	S-01	B1階・1階梁伏図	1/200
A-01	解体工事特記仕様書	———	S-02	2階・R階梁伏図	1/200
A-02	配置図・案内図		S-03	基礎リスト	1/30
A-03	工事内容・概略工程表・外部仕上表		S-04	柱断面リスト・地中梁断面リスト	1/30
A-04	内部仕上表	1/30	S-05	梁断面リスト	1/30
A-05	地下階平面図	1/100	S-06	スラブ・壁リスト・雑配筋図	1/30
A-06	1階平面図	1/100	S-07	B1階壁リスト・各部配筋図	1/30
A-07	2階平面図・屋根伏図	1/100	S-08	槽断面配筋図	1/40
A-08	立面図	1/200	S-09	階段配筋詳細図	1/40
A-09	断面図 (1)	1/100	S-10	架構配筋詳細図	1/40
A-10	断面図 (2)	1/100	S-11	鉄骨架台詳細図	1/30
A-11	断面図 (3)	1/100			
A-12	断面矩計図 (1)	1/30			
A-13	断面矩計図 (2)	1/30			
A-14	断面矩計図 (3)	1/30			
A-15	断面詳細図(階段) (1)	1/30			
A-16	断面詳細図(階段) (2)	1/30			
A-17	平面詳細図	1/30			
A-18	各部詳細図 (1)	1/20 1/10			
A-19	各部詳細図 (2)	1/10 1/20 1/50			
A-20	各部詳細図 (3)	1/30			
A-21	天井伏図 (1)	1/100			
A-22	天井伏図 (2)	1/100			
A-23	建具表 (1) キープラン	———			
A-24	建具表 (2)	1/50			
A-25	建具表 (3)	1/50			
A-26	建具表 (4)	1/50			
A-27	地下オイルタンク詳細図	1/30			
A-28	外構平面図・工事内容	1/400			
A-29	外構各部詳細図	1/30			
A-30	敷地整地図	1/300 1/30			



令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事 特記仕様書

I 解体工事概要

1. 工事場所	中野市大字豊津3913番地ほか					
2. 敷地面積 (㎡)	1,107.66 ㎡					
3. 除却対象物	○建築物	・工作物	○建築設備	○家具等	○樹木	○その他
除却対象建築物	構 造	階 数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延 面 積(㎡)
A- 図による	RC造	地下1・地上2			2,858.52	3,796.91

Ⅱ 解体工事仕様

1. 共通仕様
- (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官庁官庁庁舎部監修「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。)により、解体共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁庁舎部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下「標準」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「改修標準」という。)による。
2. 特記仕様
- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
- (3) 特記事項に記載の(。)内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。

章

項目

特記事項

1

一般共通事項

①適用基準等

②電気保安技術者

③施工条件明示項目

4引渡しを要するもの

⑤解体工事施工技士

①工事写真の撮り方（改訂第三版）建築編

②長野県建築工事の手引き

③建築物解体工事共通仕様書・同解説

④公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）

⑤建設関係物適正処理推進委綱（以下「推進委綱」という。）

⑥建設工事公共災害防止対策要綱 建築工事編

⑦長野県資機リサイクル推進指針

国土交通省大臣官庁官庁庁舎補修指導
長野県建設技術指導
国土交通省大臣官庁官庁庁舎補修指導（平成24年版）
国土交通省大臣官庁官庁庁舎補修指導（平成28年版）
平成10年12月1日建設省経費費第332号
平成15年1月12日建設省経費費第1号

※適用する ・適用しない

⑥施工条件による

※引渡しを要するもの

名称	仕様書	備考

・現場説明書による

本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の選任等に配慮すること。

2

仮設工事

①足場その他

②騒音・防塵等の対策

③監督員事務所

④工事用水

⑤工事用電力

足場を設ける場合、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常に、すべての作業員について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。
なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり設置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。

騒音・防塵等の対策
※防音パネル ・防音シート
設置箇所及び高さ
決（図か / 図による）

☒ 既存建築物の一部を使用する

☐ 構内に設置する

・設けない

規模及び仕上げの程度は現場説明書による

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）

3

解体施工

①浄化槽、排水槽等

2杭の解体

3樹木等

④地下埋設物/埋設配管

⑤設備機器等

汚水、汚物等の回収、洗浄、消毒等の措置
①行う ・行わない

・行う ①行わない
杭の解体工法
・引抜き工法 ・破砕による解体
(GLより mまで)

樹木の伐倒技術及び移植
・行う（ / 図による）

地下埋設物及び埋設配管の解体
①行う（ 図による）

解体事前処理（油類タンク）
①増設設備図による。（図面番号 ）
・解体に先立ち、燃料配管、燃料配管、燃料小出槽等に残油がないことを確認する、必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に漏失させないように注意する。
・燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。

解体事前処理（冷媒）
・冷媒を屋外場にポンプダウンした後、廃棄を行う機器は下記による。

図面番号	記号
冷媒機器	

・冷媒を回収した後廃棄を行う場合は下記による。

図面番号	記号

⑤ 屋外設備等

電柱の撤去 ☐ 行う (/ 図による) ☐ 行わない
 外灯の撤去 ☒ 行う (/ 図による) ☐ 行わない

⑦ 解体後の整地

解体後の埋戻し及び盛土 (3.12.1)

☒ 行う

 ○現状高さ

 ○現状G.L. ☐ 行う (図による)

 ○埋戻し及び盛土の材料

 ○山砂の質 ☐ 他現場の建設発生土の中の良質土 ☐ 再生コンクリート砂

 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。

☐ 行わない

遮覆の砂利敷き

☐ 行わない

☒ 行う (・再生砂利(3) (RC-40) 厚さ 100mm ・砂利(3) (C-40) 厚さ 60mm)

① 一般事項

本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。

総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事完了時に同計画書の実施報告書(書式は同一)を作成し、監督職員に提出するものとする。

② 再資源化等 (4.4.1)

建設廃棄物の種類	備考
☒ コンクリート	
☒ 砕石・及び数からなる建設資材 (PC板、3/4φ11平板、3/4φ11二次製品)	
☒ 木材	
☒ 木材 (縮減)	
☒ 2x3材料3/4φ11	
☒ 金属類	
・小形二次電池	
☒ 高圧ランプ、HIDランプ	
☒ 埋置塩化ビニル管、継手	
☒ ガラス	

※中間処理施設又は再資源化施設等の名称、所在地は現場説明書による

3 再資源化し、現場で利用する建設廃棄物 (4.4.1)

名称	仕様	数量	備考

4 産業廃棄物広域認定制度の活用 (4.4.2)

種類	備考

※所在地は現場説明書による

⑤ 最終処分する建設廃棄物 (4.4.4)

名称	仕様	数量	備考
遮光シートボード (アスベスト含有のものを含む)			管理型
アスベスト含有成形板			安定型

※最終処分施設の名称、所在地は現場説明書による

⑥ 処理に注意を要する建設廃棄物 (4.5.1)

廃棄物の種類	数量	備考
☒ 石綿含有せつこうボード		
・ひ素・カドミウム含有せつこうボード		
☒ 土留以外のせつこうボード		
・GCA粘着木材		
・岩綿吹付		

※最終処分施設の名称、所在地は現場説明書による

① 施工調査 (5.1.2)

特別管理産業廃棄物の調査を次により行う。

(1) 特別管理産業廃棄物の使用状況について、設計図書及び目視により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。

(2) 特別管理産業廃棄物に応じた、収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設、処分条件等を調査する。

(3) 調査結果は調査にまとめ、監督職員に提出する。

② 分析調査 (5.1.2)

分別調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類	採取する部位・箇所等	備考
電気設備機器類	部位 ・図示 ・ 箇所数 箇所	
	部位 ・図示 ・ 箇所数 箇所	
	部位 ・図示 ・ 箇所数 箇所	
	部位 ・図示 ・ 箇所数 箇所	

・PCB 含有シーリング分析調査 (5.4.4)

 ・第一次判定

 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。

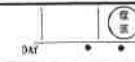
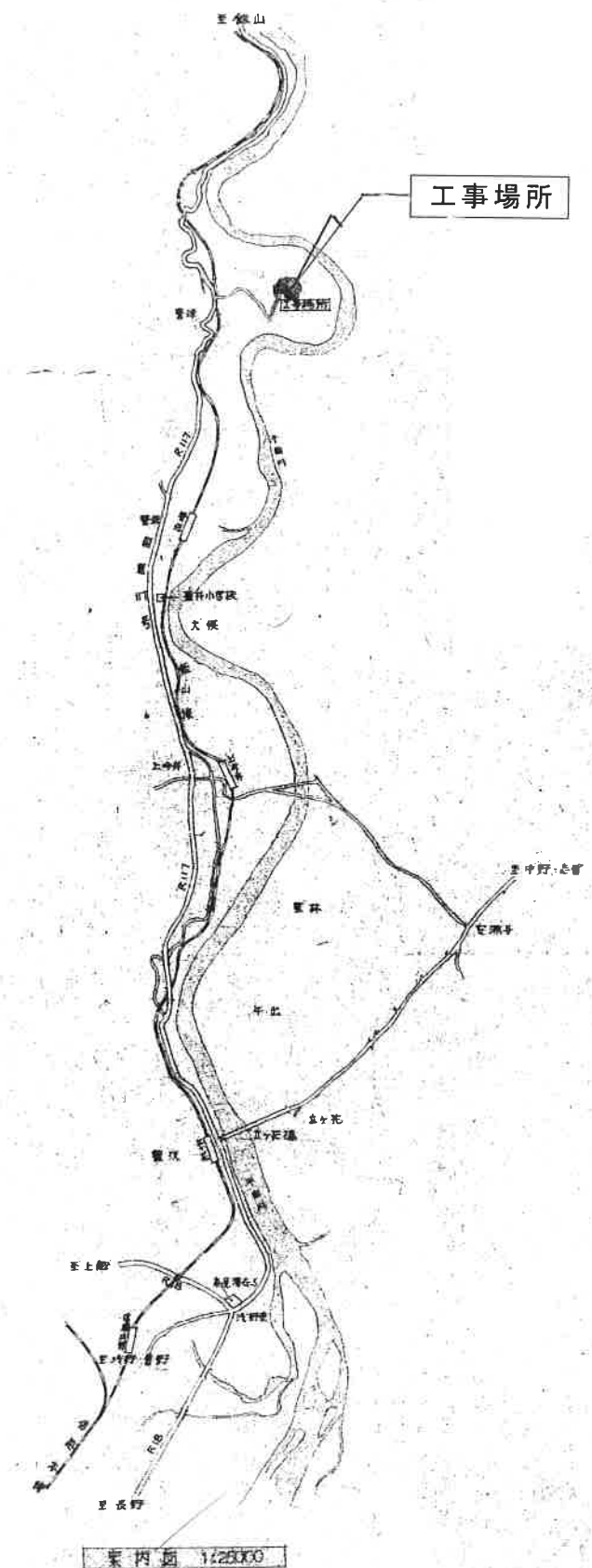
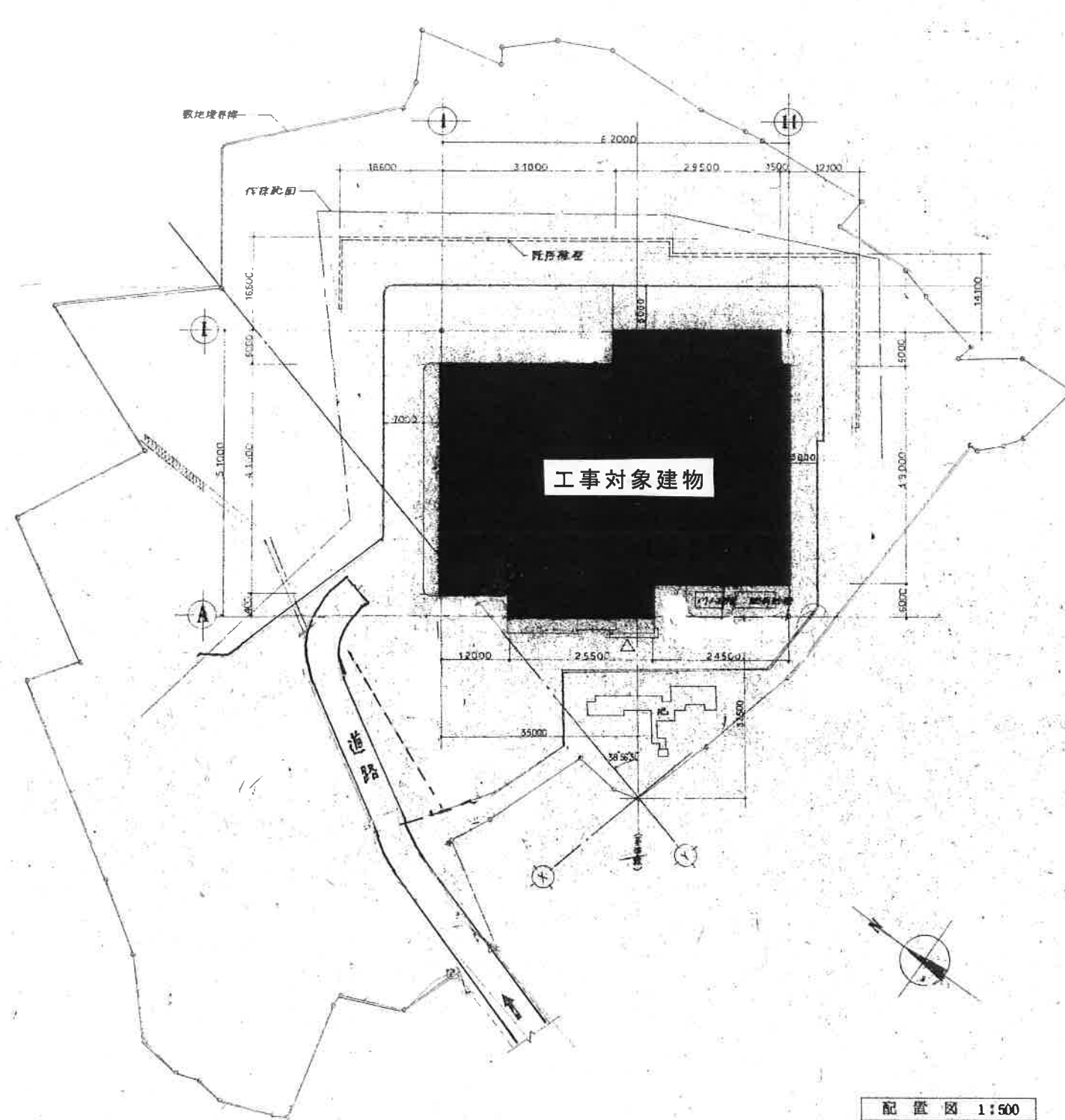
 ・第二次判定

 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。

☒ PCBを含む機器の増量PCBの分析調査 (5.4.3)

3	特別管理産業廃棄物の処理	・ 絶縁油のPCB含有量の分析調査 ・ 『特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の 検計方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）』又は『絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの 分析方法規定（電気技術規定JEC1201-1991）』により行う。 ・ ダイオキシン類のサンプリング調査 <5 4 7> ・ 『廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン 発露防止対策要綱（平成13年4月25日付高発第401号）』により行う。 <5 4 1><5 4 5><5 4 6> <table><tr><th>特別管理産業廃棄物の種類</th><th>仕様・数量等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>○ 廃石綿等</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ PCBを含む機器類</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ PCB含有シリング材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 漆油</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 腐蝕性/強アルカリ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ ダイオキシン類</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 取扱施設の名称、所在地は現場説明書による	特別管理産業廃棄物の種類	仕様・数量等	備 考	○ 廃石綿等			○ PCBを含む機器類			・ PCB含有シリング材			・ 漆油			・ 腐蝕性/強アルカリ			・ ダイオキシン類																																															
	特別管理産業廃棄物の種類	仕様・数量等	備 考																																																																	
	○ 廃石綿等																																																																			
	○ PCBを含む機器類																																																																			
	・ PCB含有シリング材																																																																			
	・ 漆油																																																																			
	・ 腐蝕性/強アルカリ																																																																			
	・ ダイオキシン類																																																																			
	4	PCBを含む機器類	引渡しを要する機器類 <5 4 3>																																																																	
	5	PCB含有シリング材	除去方法 <5 4 4> ・ 『標準施工要領書（日本シリング工業会協同組合連合会／日本シリング材工業会）』による。 除去範囲 ※（※表 / ※による）																																																																	
6	ダイオキシン類	廃棄物の焼却施設の解体 <5 4 7> 解体方法 ・ 煙倉・装置に付着している汚染物質を完全に洗浄除去した後、に解体する。 処分方法 ・ ダイオキシンに関する法令に基づき適切に処理すること。 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による																																																																		
7	特殊な建設副産物の改修及び処分	<5 5 1> <table><tr><th>改修及び処分を行う特殊な建設副産物の種類</th><th>対象機器名称</th><th>備 考</th></tr><tr><td>○ コロン</td><td>空積機器</td><td></td></tr><tr><td>○ ハロン</td><td>空積機器</td><td></td></tr><tr><td>○ 冷凍機</td><td>空積機器</td><td></td></tr></table>	改修及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	備 考	○ コロン	空積機器		○ ハロン	空積機器		○ 冷凍機	空積機器																																																							
改修及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	備 考																																																																		
○ コロン	空積機器																																																																			
○ ハロン	空積機器																																																																			
○ 冷凍機	空積機器																																																																			
6	① アスベスト含有分析調査	施工調査 ○ アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲 ○ 建物内外 ・ 図示 貸与資料（汚染物調査結果報告書）																																																																		
	② 71℃以上粉じん濃度測定	分析によるアスベスト含有建材の調査 ・ 行う（下表による） ○ 行わない（調査実施済） <table><tr><th>材 料 名</th><th>調査方法（1材料あたりの試験数：3サンプル）</th></tr><tr><td>岩綿吹付け材</td><td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td></tr><tr><td></td><td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td></tr><tr><td></td><td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td></tr><tr><td></td><td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td></tr></table> 作業者数 ※ ※※ 分析対象 ※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト） 分析方法 ※ JIS A 1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試験採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又は JIS A 1481-3「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部：アスベスト含有率のX線回折定量分析方法」による 分析結果については、監督職員に提出すること。	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試験数：3サンプル）	岩綿吹付け材	※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																								
	材 料 名	調査方法（1材料あたりの試験数：3サンプル）																																																																		
	岩綿吹付け材	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																		
		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																		
		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																		
		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																		
	③ 71℃以上粉じん濃度測定	アスベスト粉じん濃度測定 <6 1 3> ○ 行う（測定名称及び測定点は下表による） アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 8950-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び定電電子顕微鏡法」による位相差・分粒顕微鏡法による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。測定箇所 ※図示 <table><tr><th>測定名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点（各施工箇所ごと）</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 測定 1</td><td rowspan="3">知理作業前</td><td>知理作業室内</td><td>・ () 点</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 測定 2</td><td>施工区(南側又は敷地境界)</td><td>・ 4方向各1点</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 測定 3</td><td>知理作業室内</td><td>・ () 点</td><td>—</td></tr><tr><td>○ 測定 4</td><td rowspan="2">知理作業中</td><td>材料投入・搬入口</td><td>○ 4 点</td><td>※ 風の流れを確認</td></tr><tr><td>○ 測定 5</td><td>集じん・排気装置の設置の排出口（知理作業室外の場合）</td><td>・ (1) 点</td><td>降じん装置の性能確認</td></tr><tr><td>・ 測定 6</td><td rowspan="2">知理作業後（シト発生中）</td><td>施工区(南側又は敷地境界)</td><td>・ 4方向各1点</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 測定 7</td><td>知理作業室内</td><td>・ () 点</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 測定 8</td><td rowspan="3">知理作業後（シト発生中）</td><td>施工区(南側又は敷地境界)</td><td>・ 4方向各1点</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 測定 9</td><td>知理作業室内</td><td>・ () 点</td><td>—</td></tr><tr><td>○ 測定 10</td><td>搬去後1週間以降</td><td>調査対象箇所外への付着</td><td>○ 4 点</td><td>—</td></tr></table> 測定5のみ ※$n = \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2}$、粉じん相対濃度計（「ダスト粉じん計」、繊維状粒子自動計測器（774342）（「PC-12」）等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる装置にて測定 アスベスト粉じん濃度測定方法 <table><tr><th></th><th>測定3</th><th>測定1, 2, 4, 6, 7, 8</th><th>測定9, 10</th></tr><tr><td>ノズル径(φ)の直径(mm)</td><td>25</td><td>25</td><td>・ 47</td></tr><tr><td>試料の吸引流量(L/min)</td><td>・ 1</td><td>・ 5</td><td>・ 10</td></tr><tr><td>試料の吸引時間(min)</td><td>・ 5</td><td>・ 120</td><td>・ 240</td></tr></table>	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	備 考	・ 測定 1	知理作業前	知理作業室内	・ () 点	—	・ 測定 2	施工区(南側又は敷地境界)	・ 4方向各1点	—	・ 測定 3	知理作業室内	・ () 点	—	○ 測定 4	知理作業中	材料投入・搬入口	○ 4 点	※ 風の流れを確認	○ 測定 5	集じん・排気装置の設置の排出口（知理作業室外の場合）	・ (1) 点	降じん装置の性能確認	・ 測定 6	知理作業後（シト発生中）	施工区(南側又は敷地境界)	・ 4方向各1点	—	・ 測定 7	知理作業室内	・ () 点	—	・ 測定 8	知理作業後（シト発生中）	施工区(南側又は敷地境界)	・ 4方向各1点	—	・ 測定 9	知理作業室内	・ () 点	—	○ 測定 10	搬去後1週間以降	調査対象箇所外への付着	○ 4 点	—		測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定9, 10	ノズル径(φ)の直径(mm)	25	25	・ 47	試料の吸引流量(L/min)	・ 1	・ 5	・ 10	試料の吸引時間(min)	・ 5	・ 120	・ 240
	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	備 考																																																															
	・ 測定 1	知理作業前	知理作業室内	・ () 点	—																																																															
・ 測定 2	施工区(南側又は敷地境界)		・ 4方向各1点	—																																																																
・ 測定 3	知理作業室内		・ () 点	—																																																																
○ 測定 4	知理作業中	材料投入・搬入口	○ 4 点	※ 風の流れを確認																																																																
○ 測定 5		集じん・排気装置の設置の排出口（知理作業室外の場合）	・ (1) 点	降じん装置の性能確認																																																																
・ 測定 6	知理作業後（シト発生中）	施工区(南側又は敷地境界)	・ 4方向各1点	—																																																																
・ 測定 7		知理作業室内	・ () 点	—																																																																
・ 測定 8	知理作業後（シト発生中）	施工区(南側又は敷地境界)	・ 4方向各1点	—																																																																
・ 測定 9		知理作業室内	・ () 点	—																																																																
○ 測定 10		搬去後1週間以降	調査対象箇所外への付着	○ 4 点	—																																																															
	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定9, 10																																																																	
ノズル径(φ)の直径(mm)	25	25	・ 47																																																																	
試料の吸引流量(L/min)	・ 1	・ 5	・ 10																																																																	
試料の吸引時間(min)	・ 5	・ 120	・ 240																																																																	

	報告書の作成（記録する項目） ア、測定結果 イ、測定時間 ウ、測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。） エ、サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引気量） オ、マウンティング方法 カ、風速観測野面積、計数視野数 キ、測定時（各測定場所ごと）天候、温度、湿度、外気の風速及び風向 ③ 72a)含有建材の 種類	○アスベスト含有吹付け材の除去 (6 3 2) 又はアスベスト含有保温材等の除去で石綿粉じんを発生する恐れがある場合（損傷、劣化等） 除去対象範囲 ・図示 ○調査報告書分析結果の範囲 除去工法 ※6 3 2)による 除去したアスベスト吹付け材等の飛散防止 ※密封処理（二重被覆包） ※遠隔化 ※セメント固化 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん捕 フィルタについても密封処理を行う。 除去したアスベスト含有吹付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶解施設） ○アスベスト含有保温材の除去（6 4 2） (6 4 3) 除去工法 ※9 1 4(c)による（原則のまま、手ばらしが可能な場合） 除去対象範囲 ・図示 ○調査報告書分析結果の範囲 ・9 1 3(b)による（損傷、劣化等で石綿粉じんを発生する恐れがある場合） 除去対象範囲 ・図示 除去したアスベスト含有保温材等の飛散防止 ※密封処理（二重被覆包） ※遠隔化 ※セメント固化 除去したアスベスト含有保温材の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶解施設） ○アスベスト含有成形板の除去（6 5 3） (6 5 2) 除去対象範囲 ・図示 ○調査報告書分析結果の範囲 作業場の隔離 ・行う ・行わない 除去したアスベスト含有成形板の処分の飛散防止 ・アスベスト含有せつこうボード ※埋立処分（管理型最終処分場） ・アスベスト含有成形板（アスベスト含有せつこうボードを除く） ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶解施設） 除去処理対象物 除去対象範囲 ・図示 除去方法 ・図示 処分 ・埋立処分（安定型最終処分場）	4 リンゲリー・リミ アパレルの処理
7 その他	① 工事現場の環境 改善について ② 産業廃棄物の 取扱いについて	工事現場のイメージアップ ・周囲に風通の美化 ・地域住民への情報提供 ・情報掲示板の設置 ・パンフレットの作成 住民に対する災害防止関係 ○現場出入口周辺への誘導員の配備 産業廃棄物処理状況記録及び写真を次のように整備すること。 (i) 搬出された産業廃棄物の処理状況記録 ① 処理の全額又は一部を委託した場合 ア 収集運搬車両ごとと産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）A票、B票、D票及びE票（B票の 場合はB4票を加える。）の写し、被処理施設処理委託契約書の写し並びに搬出解体材の数量累計表 イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真（中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中 間処理状況の写真） ② 積廃者が自ら処理した場合 ア マニフェストに準じた解体材の種類ごとの数量累計表 イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真（中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中 間処理状況の写真） ③ 特別管理産業廃棄物の場合 ①又は②に準ずる。ただし産業廃棄物管理票とあるを特別管理産業廃棄物管理票と読み替える。 (ii) 産業廃棄物の再資源化実施状況記録 再生資源利用促進実施書に記載する事項 発生量、搬出先名称、区分、施工内容の件数、搬出先名称、運搬距離、搬出先の種類等 (iii) 写真 ① 工事着手前の現場全景、周辺及び対象建築物等の現状写真 ② 仮設構、安全措置状況及び工程写真（除却作業状況、建設配管等及び基礎掘入は入念に撮影すること。） ③ 使用機械等 ④ 産業廃棄物収集運搬車両への積込み時及び積降し時の写真 ⑤ しゅん工時の全景写真（着手時と同一アングルとする。） ⑥ その他監督職員の指示による	
	3. 騒音、振動調査 4. 土壌調査 ⑤ 官公庁その他の 届出手続等 ⑥ 騒音に係る協議等 ⑦ 文化財その他の建築物 8. 埋蔵文化財調査	調査の有無 ※無 ・有 調査方法については設計図書による。 調査項目 ・土壌調査 ・土壌調査（含有量試験） ・747a)H9)抽出調査 ・廃棄物含有調査 土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。 調査箇所については設計図書による。 (1)工事の着手、施工、完成にあたり、関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。 設計図書に定められた内容に騒音が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によるこ とが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督職員と協議する。 工事の施工にあたり、文化財その他の建築物を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告する。 その後の措置については、監督職員の指示に従う。また、当該建築物の発見者としての権利は、法律の定め るところにより、発見者が保有する。 「周知の埋蔵文化財包蔵地」の該当 ・該当する ○該当しない 原則作業時の教育委員会等の立会い ・有 ・無 埋蔵文化財調査の時期 ・解体工事終了後 ・解体工事中華	
有限会社 基 設 計		工事 解体工事特記仕様書	
工事名	令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事	年月日 H 31・2	図面番号 A-01



施設概要

工事名称	豊田衛生センター解体撤去工事	主体構造	鉄筋コンクリート造 2 階建 一部地下処理施設
工事場所	中野市大字豊津3913番地ほか	建物最高高さ	10.40m
用途地域	指定なし	最高軒高	9.70m
防火地域	指定なし		
その他の地区	指定なし		
主要用途	汚水処理場		
工事種別	解体工事		
敷地面積	11,074.66 m ²		
建築面積	2,858.52 m ²		
延べ面積	3,796.91 m ² (処理槽部分を含めた全面積 5,069.93 m ²)		
各階床面積	地下1階：273.98 m ² 1階：2,806.93 m ² 2階：716.0 m ² (処理槽部分を含めた面積 地下1階：1,547.0 m ²)		

外部仕上表

屋 根	コンクリート金鍍押えの上発泡ポリスチレンフォーム t=4.0 ステンレス（SUS304 2D仕上）t=0.4mm 張り シーム溶接工法
外 壁	コンクリート打ち放し化粧目地切の上吹付けタイル 仕上下地調整塗りにアスベスト含有。 レベル3 処理対応
基礎巾木	コンクリート打ち放し
土 間	（ポーチ） 磁器タイル貼り 150×150 （その他）モルタル金鍍押え
庇	コンクリート金鍍押え 庇鼻：コンクリート打ち放し化粧目地切の上吹付けタイル
庇 裏	（ポーチ） 石綿板 t=4.0mm V P
建 具	アルミ製 スチール製 O P
樋	白ガス管 100φ（電熱線付き）O P

※ 事前調査による汚染物のダイオキシン類、重金属類及び土壌のダイオキシン類、重金属類の調査項目分析濃度結果は、全て基準値未満であった。

・汚染物のダイオキシン類	採取場所	焼却炉本体、煙突、煙道、集塵機、サイクロン
・土壌のダイオキシン類	採取場所	建物周辺土壌（のり面上部）、建物周辺土壌（敷地境界内部）
・汚染物の重金属類	採取場所	焼却炉本体、煙突、灰pan、集塵機、サイクロン
・土壌の重金属類	採取場所	建物周辺土壌（のり面上部）、建物周辺土壌（敷地境界内部）

概略工程表

[illegible]

工事内容

	工事種目	工事内容
1	し尿処理施設解体工事	既存施設建築の躯体、仕上材全て解体撤去処分
2	電気設備撤去工事	建築に伴う電気設備、全て撤去処分
3	機械設備撤去工事	建築に伴う機械設備、全て撤去処分
4	プラント機械撤去工事	し尿処理に関する機械類、全て撤去処分
5	焼却施設洗浄作業工事	機械撤去に伴うアスベスト・ダイオキシン類の除去工事
6	地下埋設タンク撤去工事	タンク内洗浄、基礎コンクリート解体撤去処分とも
7	既存建物外壁アスベスト除去工事及び 建物内部アスベスト含有建材除去工事	吹付け材の含有アスベスト下地材の除去処分 内部仕上材、アスベスト含有建材の除去処分
8	薬品除去工事	既存薬品類の除去、薬液タンク内清掃、洗浄水処分共
9	不要備品撤去工事	工事費内訳書にリストアップされた備品類の撤去処分
10	外構工事（外構平面図参照）	敷地内舗装、排水溝、消雪配管路、等の一部解体撤去 建物廻り緑石ブロックの撤去 ※「立入禁止」用ゲートの設置

※ 事前調査による土壌の重金属類等濃度（溶出量試験）

分析項目	採取場所	建物周辺土壌 (のり面上部)	建物周辺土壌 (敷地面内側部)	測定結果
水素及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
カドミウム及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
鉛及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
六価クロム化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
砒素及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
シアン化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
セレン及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
うっ素及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
ほう素及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
1-エオキサン	同 右	同 右	同 右	基準値未満

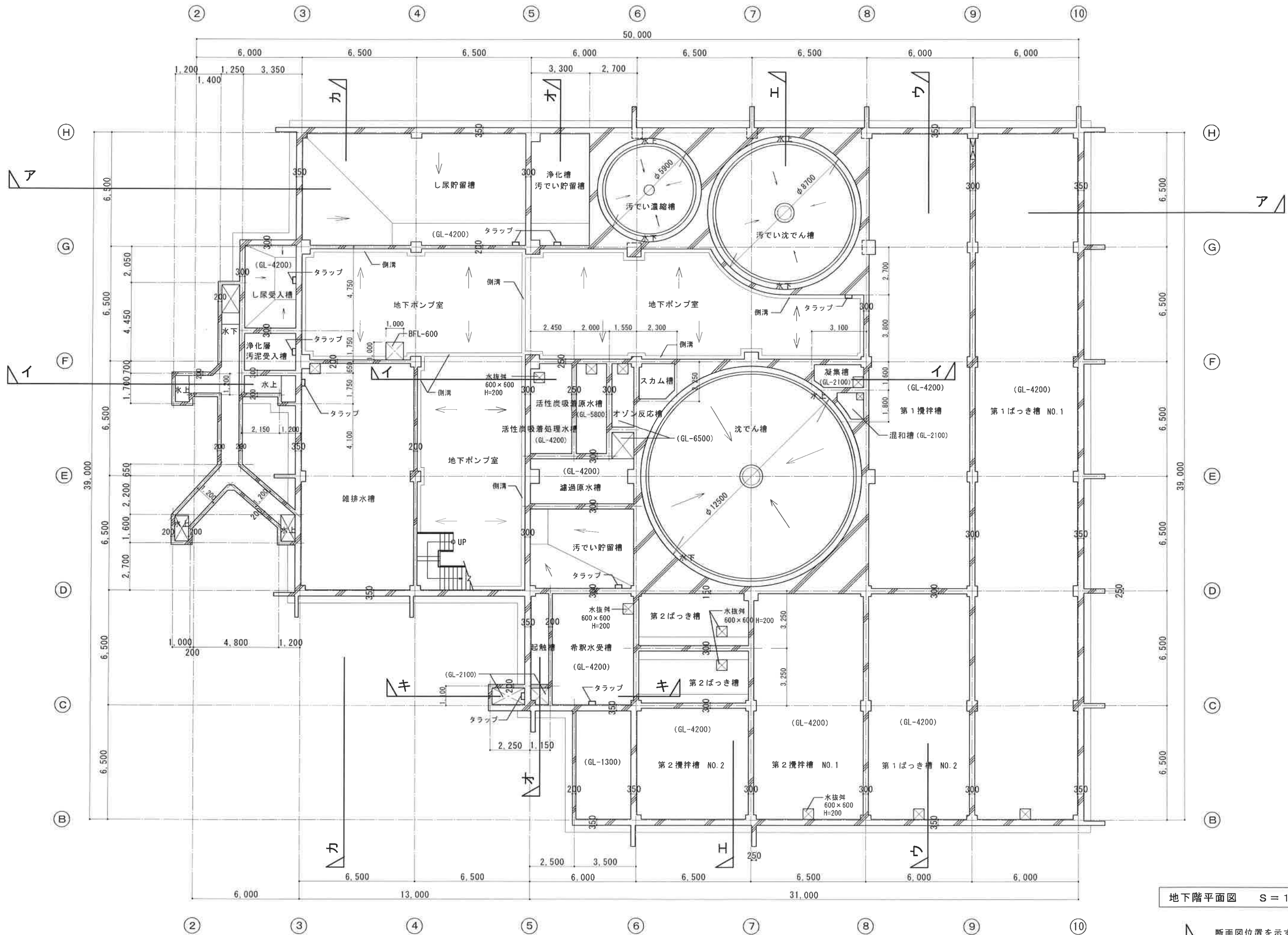
※ 事前調査による土壌の重金属類濃度（含有量試験）

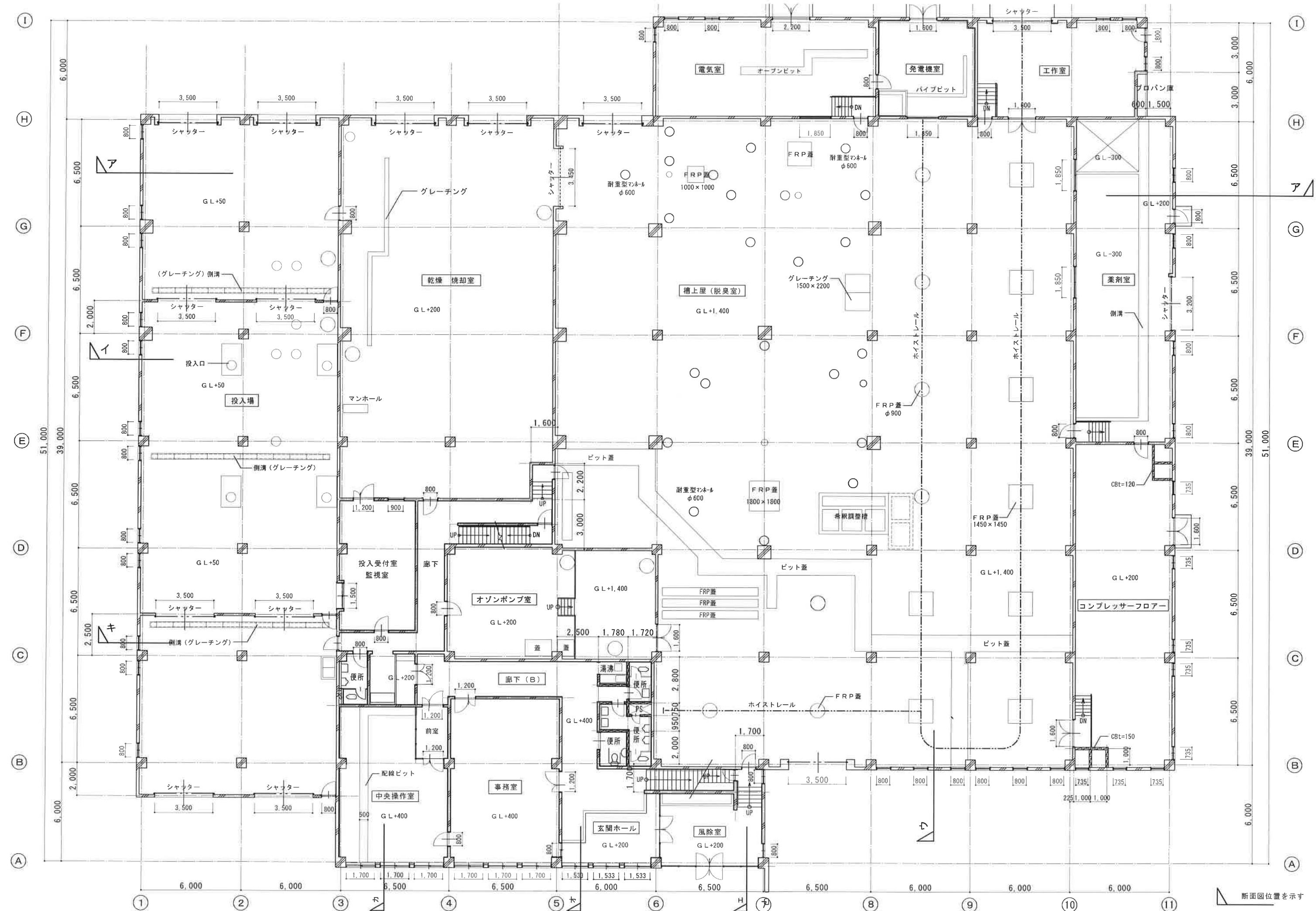
分析項目	採取場所	建物周辺土壌 (のり面土壌)	建物周辺土壌 (敷地境内内)	測定結果
水銀及びその化合物				基準値未満
カドミウム及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
鉛及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
六価クロム化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
砒素及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
シアン化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
セレン及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
フッ素及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満
ほう素及びその化合物	同 右	同 右	同 右	基準値未満

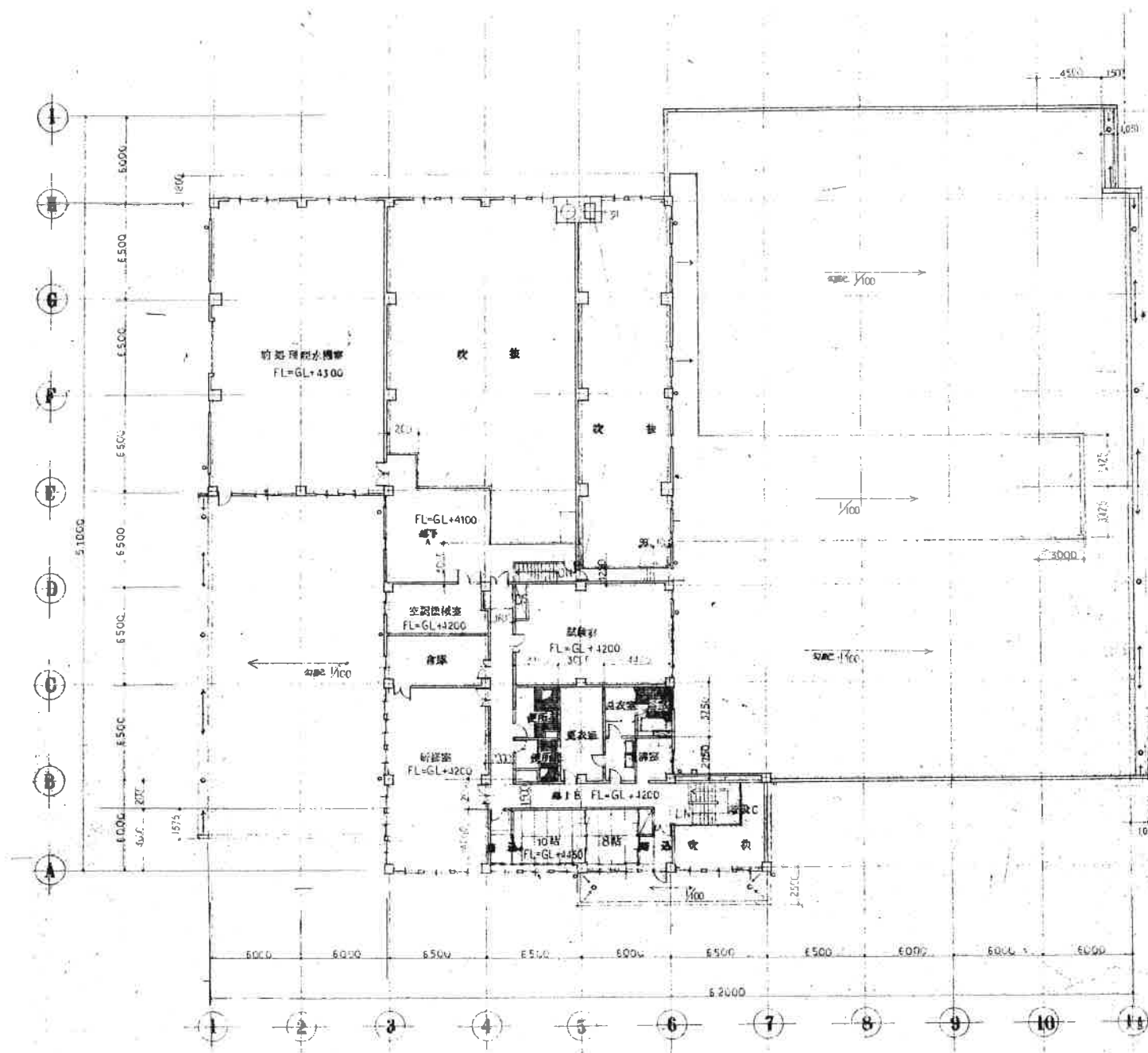
※ 事前調査によるアスベストの定性分析結果

	部 位	建 材	施工箇所等	分析結果	レベル
1	煙 突	断熱材	焼却炉煙突	含有	2
2	配管エルボ	水練り保温材	1 階：煙上室（活性炭処理罐の系統）	含有	2
3	外 壁	仕上げ塗材	外壁	無	—
4	外 壁	下地調整塗材	外壁	含有	3
5	床	ビニール床タイル	1 階：中央操作室 2 階：試験室、研修室	無	—
6	床	ビニール床シート	1 階：廊下 2 階：湯沸室、男子トイレ	無	—
7	巾 木	ソフト巾木	1 階：廊下 2 階：廊下、試験室	無	—
8	壁	石膏ボード ビニルクロス	1 階：廊下、中央操作室 2 階：廊下	無	—
9	天 井	木毛セメント板	1 階：地下ポンプ室 1 階：煙上室、オゾンポンプ室	無	—
10	天 井	石膏ボード 化粧石膏ボード	1 階：乾燥爐排操作室 2 階：地下、研究室	無	—
11	天 井	珞ケル吸音板	1 階：中央操作室 2 階：研修室	含有	3
12	天井、軒天	ケイ酸カルシウム板第1種	野天（1 階プロパン庫） 1 階 男子トイレ（乾燥爐排操作室側）。 2 階：男子トイレ	含有	3
13	焼却炉、煙道等	パッキン（組状）	1 階：乾燥爐排室（爐基配管設置箇所等）	含有	3
14	施設配管	フランジパッキン	1 階：乾燥爐排室 2 階：前処理脱衣室	含有	3

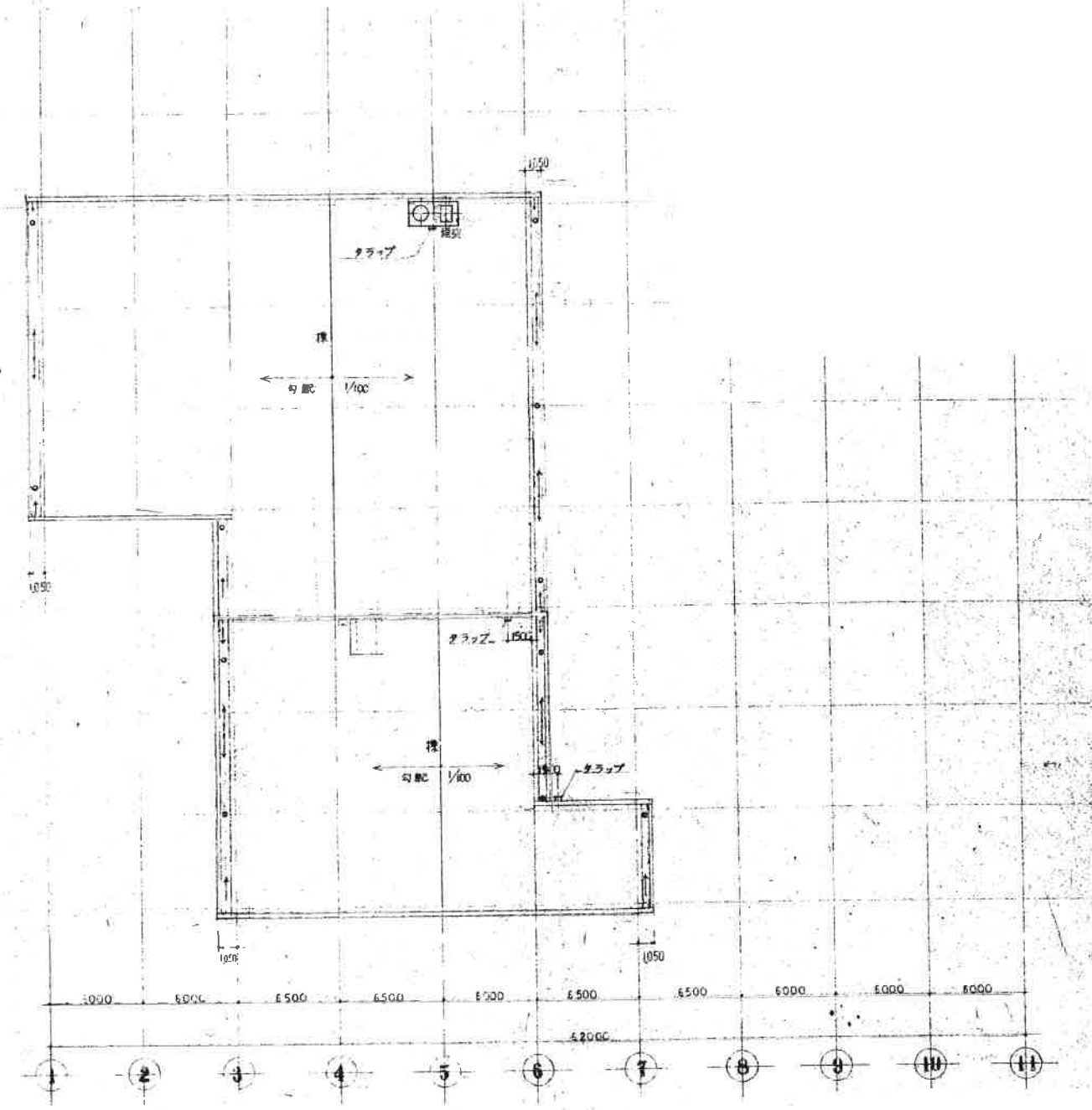
内部仕上表								注： — 印はアスベスト含有建材を示す。（レベル3対応とする）	
階	室 名	床	巾 木	壁	梁 型	天 井	天井高	備 考	
槽	し尿受入槽・浄化槽汚泥受入槽 し尿貯留槽・浄化槽汚泥貯留槽 汚泥貯留槽	無機質浸透性塗布防水		無機質浸透性塗布防水 耐食樹脂ライニング タールエポキシ 3 回塗り	耐食樹脂ライニング タールエポキシ 3 回塗り	耐食樹脂ライニング タールエポキシ 3 回塗り	(m)		
	第1攪拌槽・第1ばっき槽	無機質浸透性塗布防水 タールエポキシ 3 回塗り		無機質浸透性塗布防水 耐食樹脂ライニング タールエポキシ 3 回塗り (液面下1m以上)	耐食樹脂ライニング タールエポキシ 3 回塗り	耐食樹脂ライニング タールエポキシ 3 回塗り		※ 間仕切り壁は無機質浸透性塗布防水無しの タールエポキシ 3 回塗り	
	第2攪拌槽・第2ばっき槽 混和槽・凝集槽・オゾン反応槽 濾過原水槽・汚泥濃縮槽・雑排水層	無機質浸透性塗布防水 タールエポキシ 3 回塗り		無機質浸透性塗布防水 タールエポキシ 3 回塗り	タールエポキシ 3 回塗り	タールエポキシ 3 回塗り		※ 間仕切り壁は無機質浸透性塗布防水無しの タールエポキシ 3 回塗り	
	沈殿槽・凝集沈殿槽	防水モルタル		無機質浸透性塗布防水					
	活性炭吸着原水層・接触槽 活性炭吸着処理水槽・希釈水受槽	無機質浸透性塗布防水		無機質浸透性塗布防水	コンクリート打放し	コンクリート打放し			
	スカムポンプ槽	無機質浸透性塗布防水 タールエポキシ 3 回塗り		無機質浸透性塗布防水 タールエポキシ 3 回塗り	タールエポキシ 3 回塗り	タールエポキシ 3 回塗り			
B 1	地下ポンプ室	防水モルタル金鍍押え		防水モルタル金鍍押え		木毛セメント板 t=25		排水ピット 側溝	
	階段（A）	モルタル金鍍押え（蹴込、踏面共）	モルタル金鍍押え h=100			コンクリート打放し			
1	コンプレッサーブローア室	コンクリート金鍍押えの上 防塵塗装	コンクリート金鍍押えの上 防塵塗装 h=100	グラスウール t=50 ボタンワッシャー止	グラスウール t=50 ボタンワッシャー止	グラスウール t=50 ボタンワッシャー止		側溝	
	オゾンポンプ室	防水モルタル金鍍押え 押し目地切		コンクリート打放し	コンクリート打放し	木毛セメント板 t=25		FRPマンホール 排水ピット	
	乾燥焼却室	防水モルタル金鍍押え 押し目地切		コンクリート打放し	コンクリート打放し	木毛セメント板 t=25		FRPマンホール 角型マンホール 排水溝（グレーチング）	
	身障者便所	長尺エンビシート t=2	ビニール巾木 h=100	ビニールクロス		化粧石膏ボード t=9		手摺	
	発電機室	コンクリート金鍍押え	防水モルタル金鍍押えの上 防塵塗装	グラスウール t=50 ボタンワッシャー止	グラスウール t=50 ボタンワッシャー止	グラスウール t=50 ボタンワッシャー止		配線ピット	
	電気室	モルタル金鍍押えの上 防塵塗装	モルタル金鍍押えの上 防塵塗装	コンクリート打放し	コンクリート打放し	木毛セメント板 t=25		タンクピット内及びポンプ台は耐酸塗装	
	薬剤室	防水モルタル金鍍押え		コンクリート打放し	コンクリート打放し	木毛セメント板 t=25		FRPマンホール フランジ付マンホール グレーチング フェッカープレート ホイストクレーン	
	槽上家（脱臭室）	防水モルタル金鍍押え		コンクリート打放し	コンクリート打放し	木毛セメント板 t=25		FRPマンホール フランジ付マンホール	
	工作室	コンクリート金鍍押え	モルタル金鍍押え h=100	コンクリート打放し	コンクリート打放し	木毛セメント板 t=25		スチール棚	
	投入場	コンクリート金鍍押え		100角タイル（h=2,000まで） コンクリート打放し 吹付けタイル	コンクリート打放し 吹付けタイル	コンクリート打放し		排水溝蓋（グレーチング） 足洗場 斜付ホースド（900×1200）	
	投入受付室・監視室	モルタル金鍍押えの上 防塵塗装	h=100	モルタル金鍍押え E P		化粧石膏ボード t=9	2,700	カウンター 改め口	
	中央操作室	Pタイル t=2	ビニール巾木 h=100	防塵ビニールクロス		石膏ボード t=9 下地 ロックウール 化粧板 t=12	2,700	ブラインド 戸棚 改め口 配線ピット	
	中央操作室（前室）	Pタイル t=2	ビニール巾木 h=100	防塵ビニールクロス		石膏ボード t=9 下地 ロックウール 化粧板 t=12	2,700		
	事務室	Pタイル t=2	ビニール巾木 h=100	ビニールクロス		化粧石膏ボード t=9	2,700	ブラインド 戸棚 改め口	
	湯沸室	長尺エンビシート t=2	ビニール巾木 h=100	モルタル金鍍押え E P		石棉板 t=4 V P	2,300	流し台 吊戸棚 フード 水切棚 改め口	
	ブロパン庫	コンクリート金鍍押え	コンクリート打放し	コンクリート打放し		木毛セメント板 t=25			
	風除室	磁器質タイル 150×150	テラゾー h=100	モルタル下地 吹付けタイル 一部コンクリート はつり仕上		石膏ボード t=9 下地 寒冷紗 貼り			
	玄関ホール	磁器質タイル 150×150	テラゾー h=100	吹付けタイル		化粧石膏ボード t=9	2,800	下足箱 傘立て（ステンレス製） 案内板	
	廊下（A）	モルタル金鍍押え化粧目地切	モルタル金鍍押え h=100	モルタル金鍍押え		化粧石膏ボード t=9	2,500	改め口	
	廊下（B）	長尺エンビシート t=2	ビニール巾木 h=100	ビニールクロス		化粧石膏ボード t=9	2,500	改め口 床下点検口	
	廊下踏込	磁器質タイル 150×150	テラゾー h=100	ビニールクロス		化粧石膏ボード t=9	2,600	下駄箱 作業服掛 流し台（ステンレス製）	
	便所	モザイクタイル 24×24		100角タイル		石棉板 t=4 V P	2,400	パーテーション t=40 O P 改め口 床下点検口	
	階段（B）	モルタル金鍍押え	モルタル金鍍押え h=100	モルタル金鍍押え		コンクリート打放し			
	階段（C）	長尺エンビシート t=2（蹴込、踏面共）	ビニール巾木 h=100	ビニールクロス					
2	前処理・脱水機室	防水モルタル金鍍押え（アスファルト防水下地）		コンクリート打放し	コンクリート打放し	木毛セメント板 t=25 E P 吹付け		側溝	
	空調機械室	モルタル金鍍押えの上 防塵塗装	モルタル金鍍押えの上 防塵塗装	スタイロフォーム t=25	コンクリート打放し	木毛セメント板 t=25			
	試験室	Pタイル t=2	ビニール巾木 h=100	モルタル金鍍押え E P		化粧石膏ボード t=9	2,700	黒板（1200×900） ブラインド 改め口	
	研修室	Pタイル t=2	ビニール巾木 h=100	ビニールクロス		石膏ボード t=9 下地 ロックウール 化粧板 t=12	2,600	黒板（2700×1200） ブラインド 戸棚 改め口	
	和室 8帖	タタミ t=55		ビニールクロス		杉桤石膏ボード t=9	2,350	避難器具	
	同上 踏込	桧フローリング合板 t=15	木製巾木 h=100	ビニールクロス		杉桤石膏ボード t=9	2,540		
	和室 10帖	タタミ t=55		ビニールクロス		杉桤石膏ボード t=9	2,350		
	同上 踏込	桧フローリング合板 t=15	木製巾木 h=100	ビニールクロス		杉桤石膏ボード t=9	2,650		
	更衣室	Pタイル t=2	ビニール巾木 h=100	モルタル金鍍押え E P		化粧石膏ボード t=9	2,500	鏡	
	湯沸室	長尺エンビシート t=2	ビニール巾木 h=100	モルタル金鍍押え E P		石棉板 t=4 V P	2,300	流し台 ガス台 フード 水切棚 吊戸棚 改め口	
	脱衣室	銘木フロアー t=15	木製巾木 O P h=100	モルタル金鍍押え E P		エンビ系型板 t=0.8	2,400	脱衣棚	
	同上 踏込	長尺エンビシート t=2	ビニール巾木 h=100	モルタル金鍍押え E P		エンビ系型板 t=0.8	2,500	下駄箱 改め口	
	浴室	モザイクタイル 24×24（アスファルト防水下地）		100角タイル（防水層下地）		エンビ系型板 t=0.8	2,500	浴槽（ステンレス製） 改め口	
	便所	モザイクタイル 24×24（アスファルト防水下地）		100角タイル		石棉板 t=4 V P	2,400	パーテーション t=40 O P 改め口	
	倉庫	モルタル金鍍押えの上 防塵塗装	モルタル金鍍押えの上 防塵塗装 h=100	コンクリート打放し	コンクリート打放し	木毛セメント板 t=25		スチール棚	
	廊下（A）	モルタル金鍍押え化粧目地切		モルタル金鍍押え		木毛セメント板 t=25			
	廊下（B）	長尺エンビシート t=2	ビニール巾木 h=100	ビニールクロス		化粧石膏ボード t=9	2,500	改め口 洗濯機パン	
	同上 踏込	モルタル金鍍押え	ビニール巾木 h=100	ビニールクロス		化粧石膏ボード t=9	2,600		
	階段（C）	長尺エンビシート t=2（蹴込、踏面共）	ビニール巾木 h=100	ビニールクロス		化粧石膏ボード t=9	2,500		



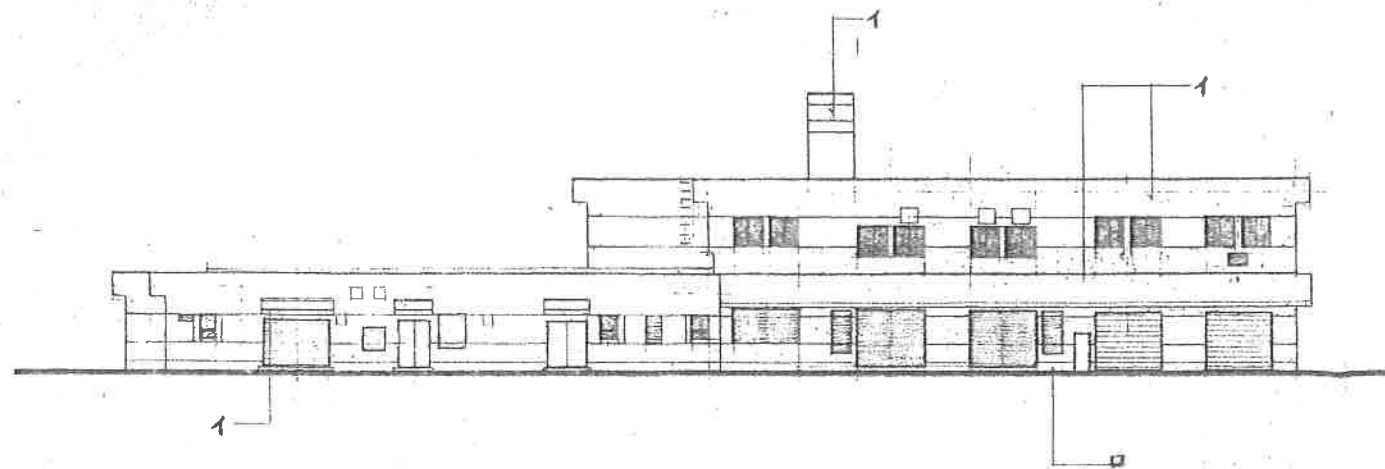




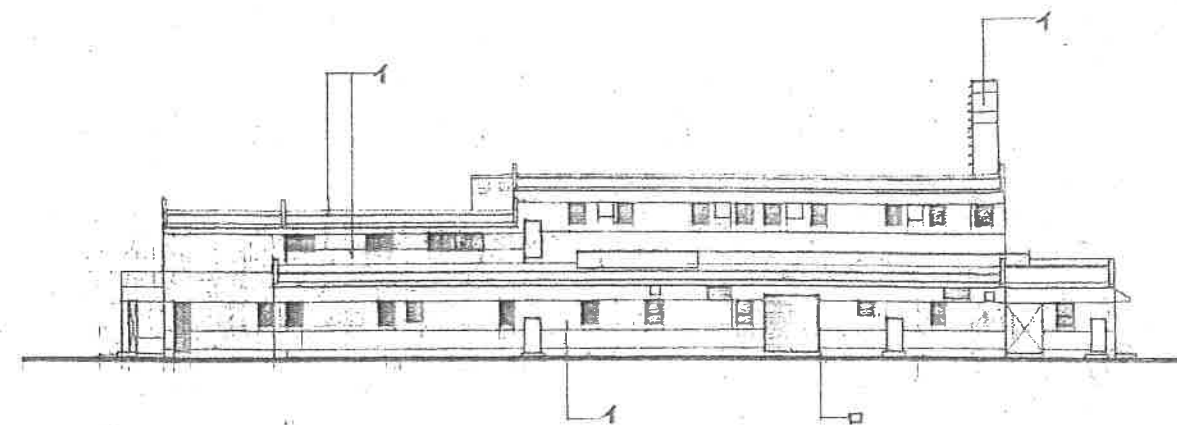
2 階平面図 1:200



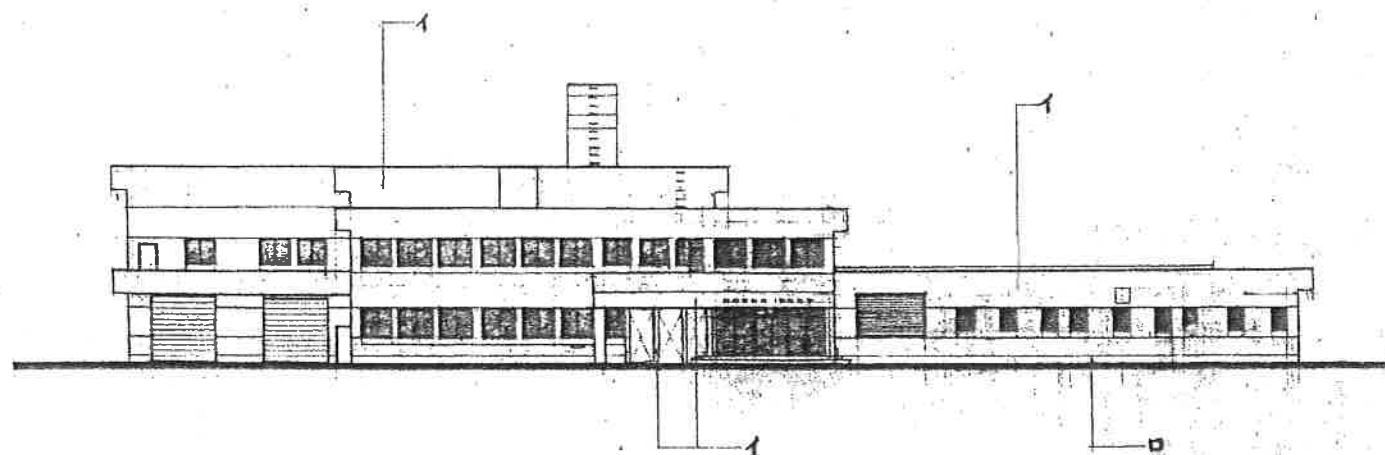
2 階平面図 1:200



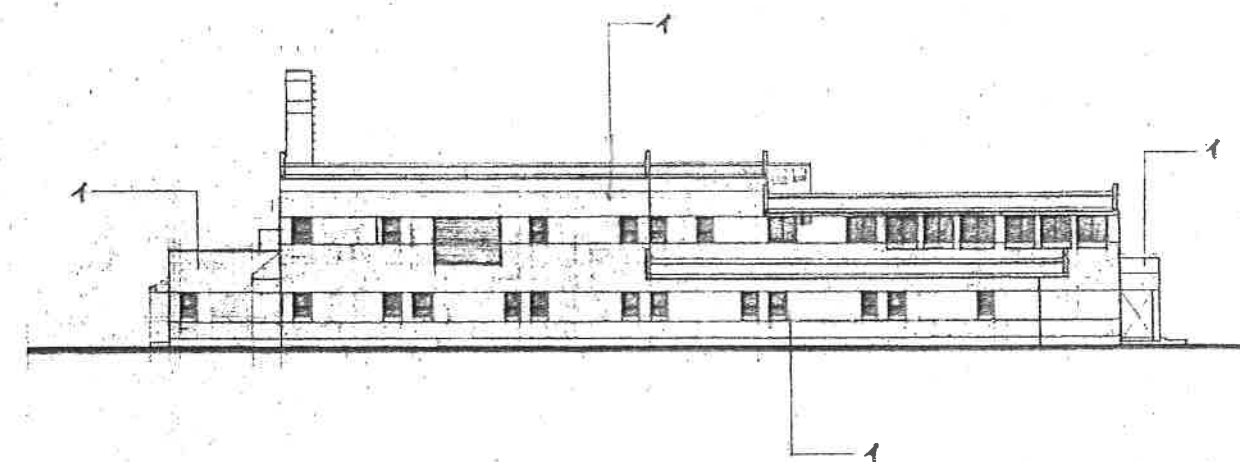
P 立面図 1:200



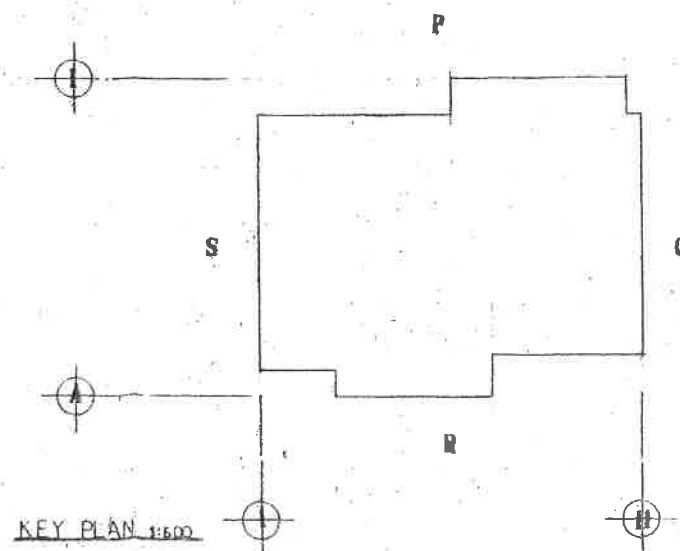
Q 立面図 1:200



R 立面図 1:200



S 立面図 1:200



KEY PLAN 1:500

1-1 工法：鉄骨造、外装：軽量コンクリート

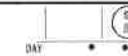
2-2 工法：鉄骨造

建築標準：建築標準



基 設 計

長野市上松 3-12-8 TEL 026-241-3615 FAX 026-243-3652
一級建築士事務所 長野市上松 3-12-8
一級建築士事務所 長野市上松 3-12-8



TITLE

令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

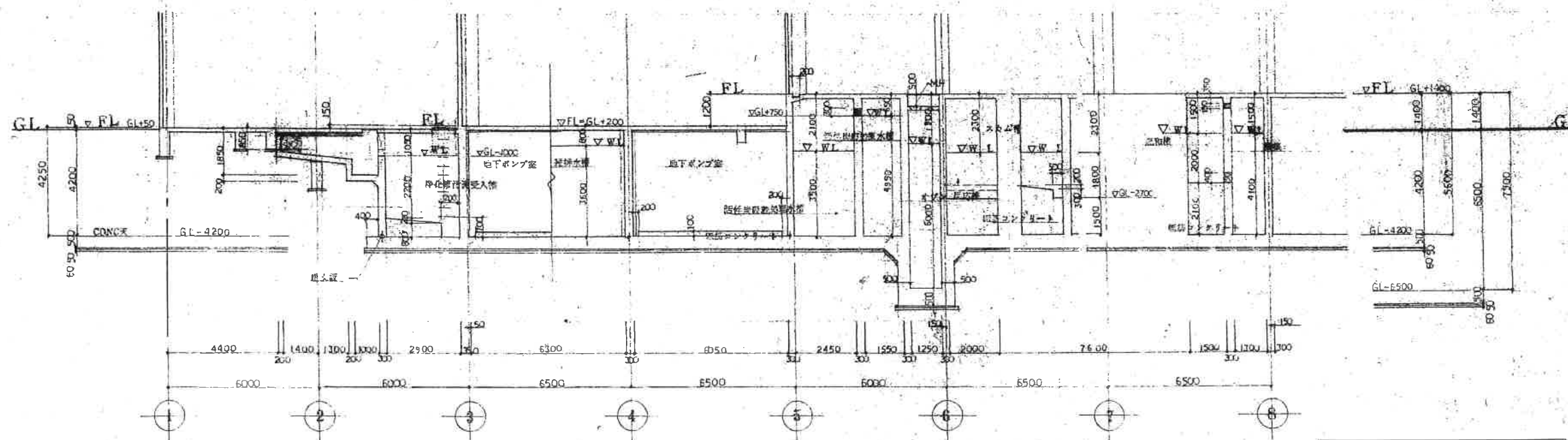
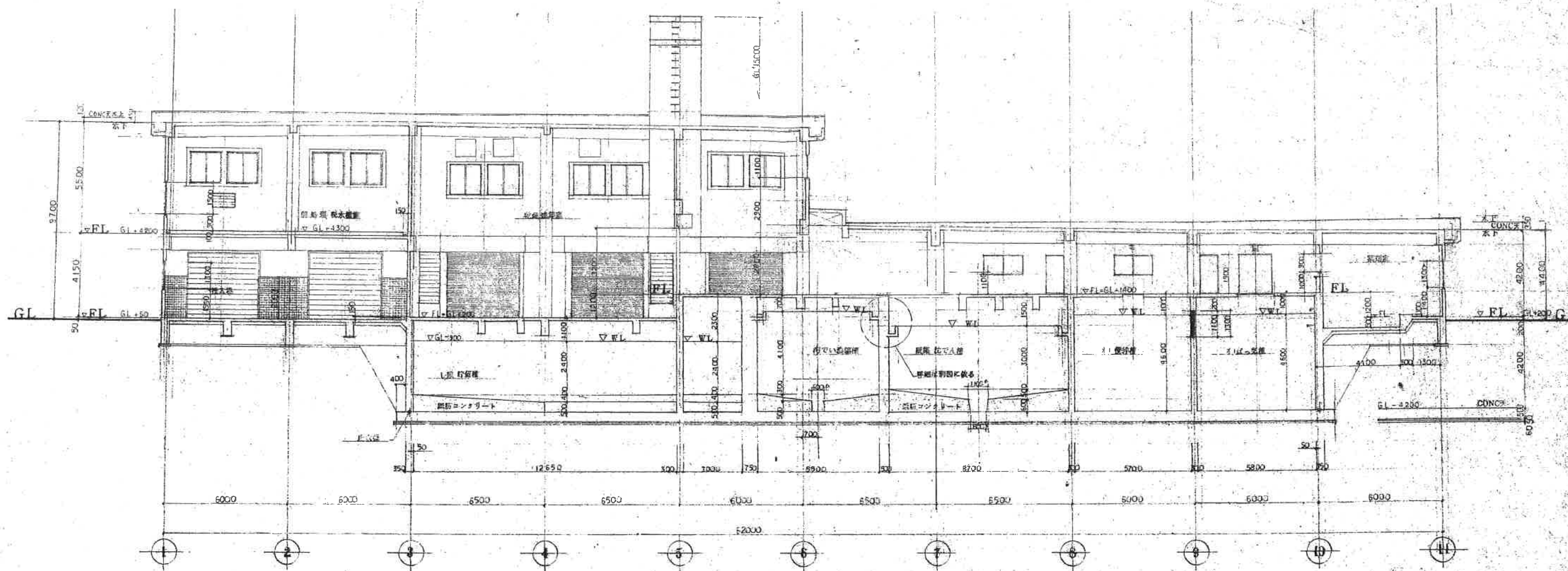
SHEET NAME

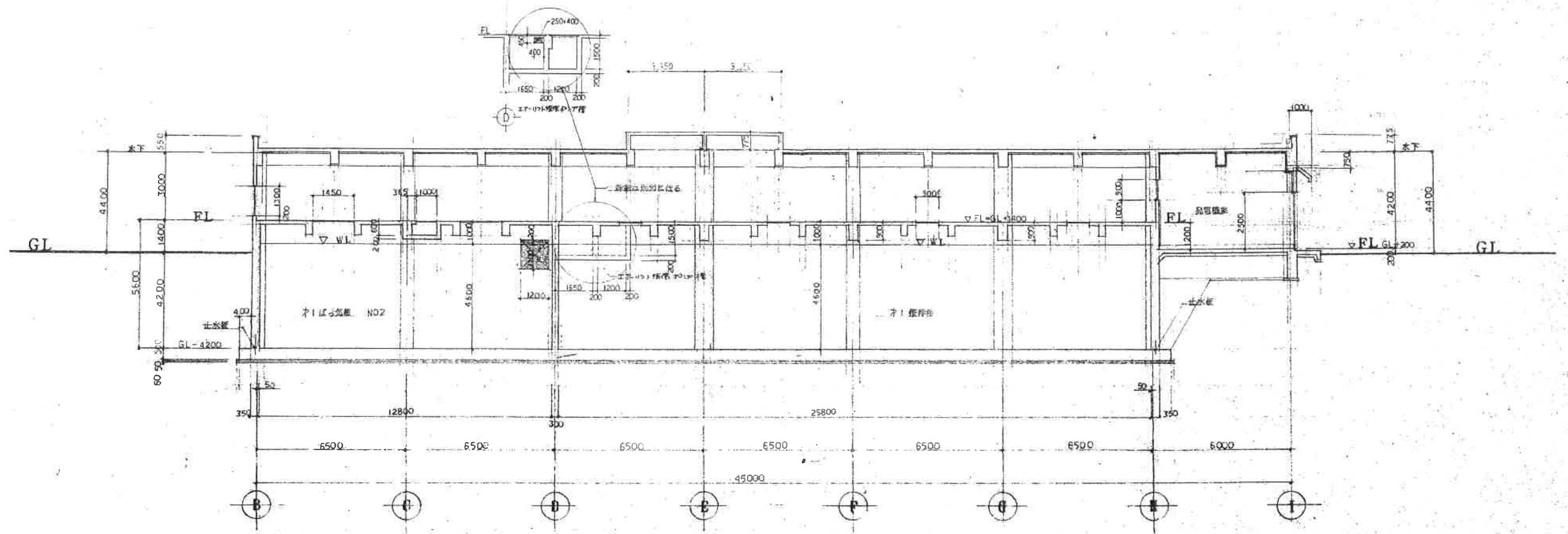
立面図

SCALE
A1 : 1/200
A3 : 1/400

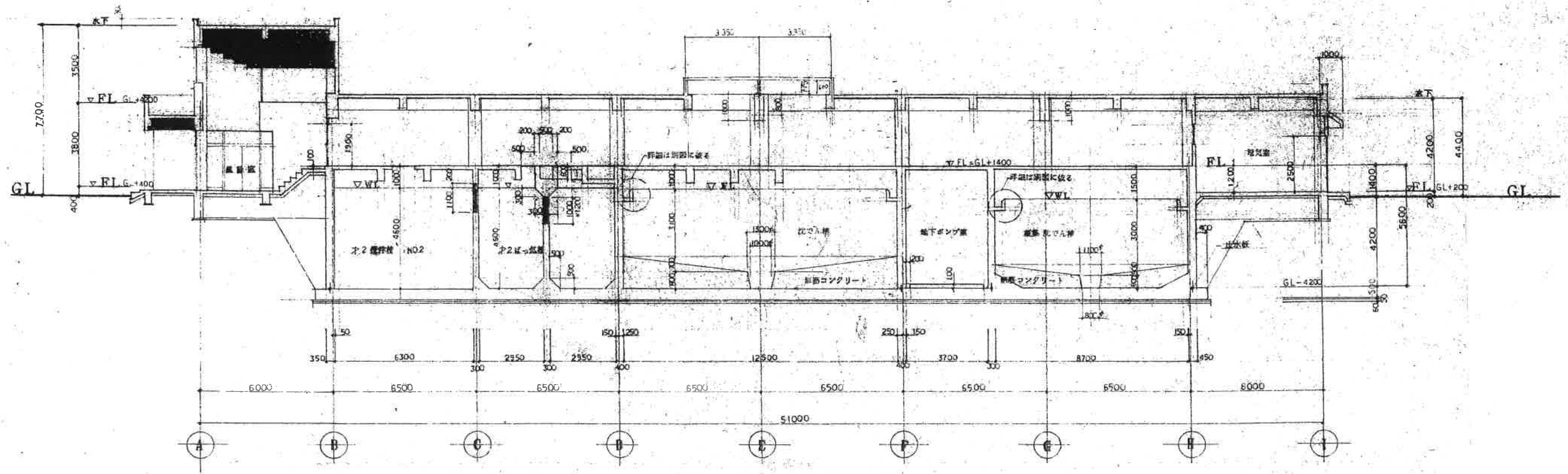
NO
A-08







ウーウ断面図 1:100

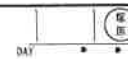


エーエ断面図 1:100



基設計

長野市上野 3-13-8 TEL 026-241-3615 FAX 026-243-3652
 一般建築士事務所登録 (長野) 第 33012 号
 一般建築士登録 第 65962 号 建築士 〇



TITLE

令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

SHEET NAME

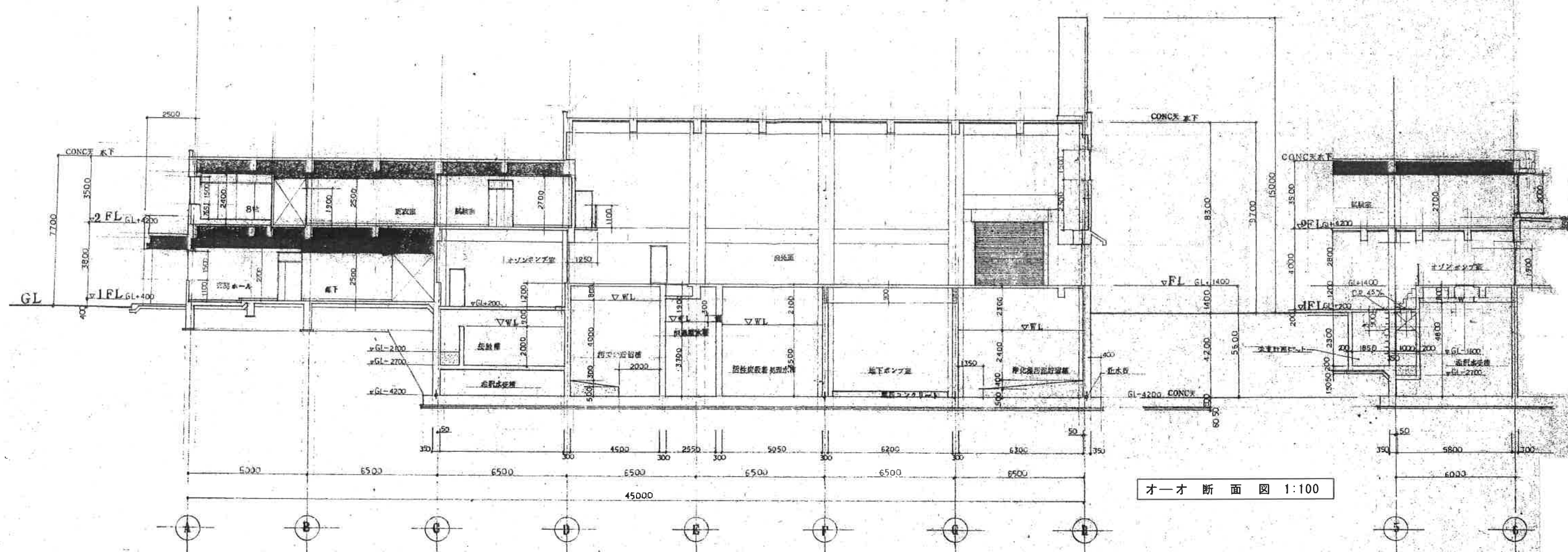
断面図 (2)

SCALE
 A1 1/100
 A3 1/200

NO

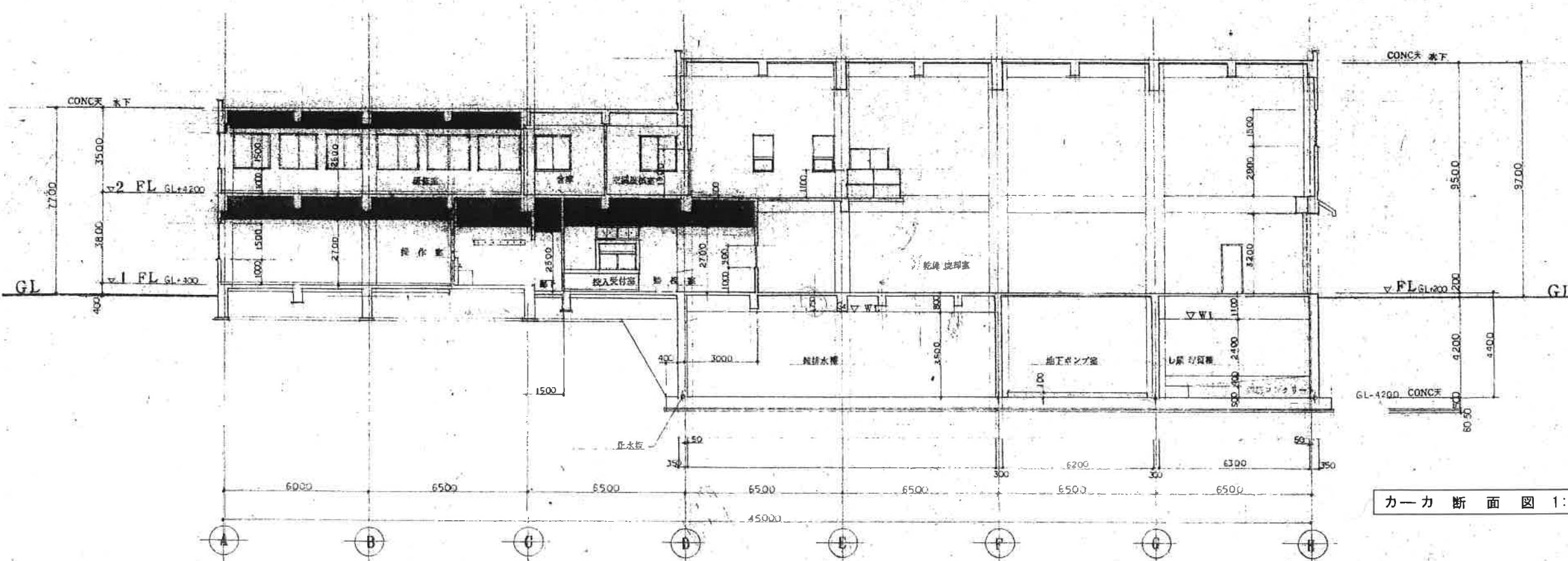
A-10





オーオ断面図 1:100

キーキ断面図 1:100

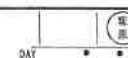


カーカ断面図 1:100



基設計

長野市上松 3-13-9 TEL. 026-241-3515 FAX 026-243-3552
一級建築士事務所登録 (長野) L 第33012号
一級建築士登録 第68882号 建築士 中一



TITLE

令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

SHEET NINE

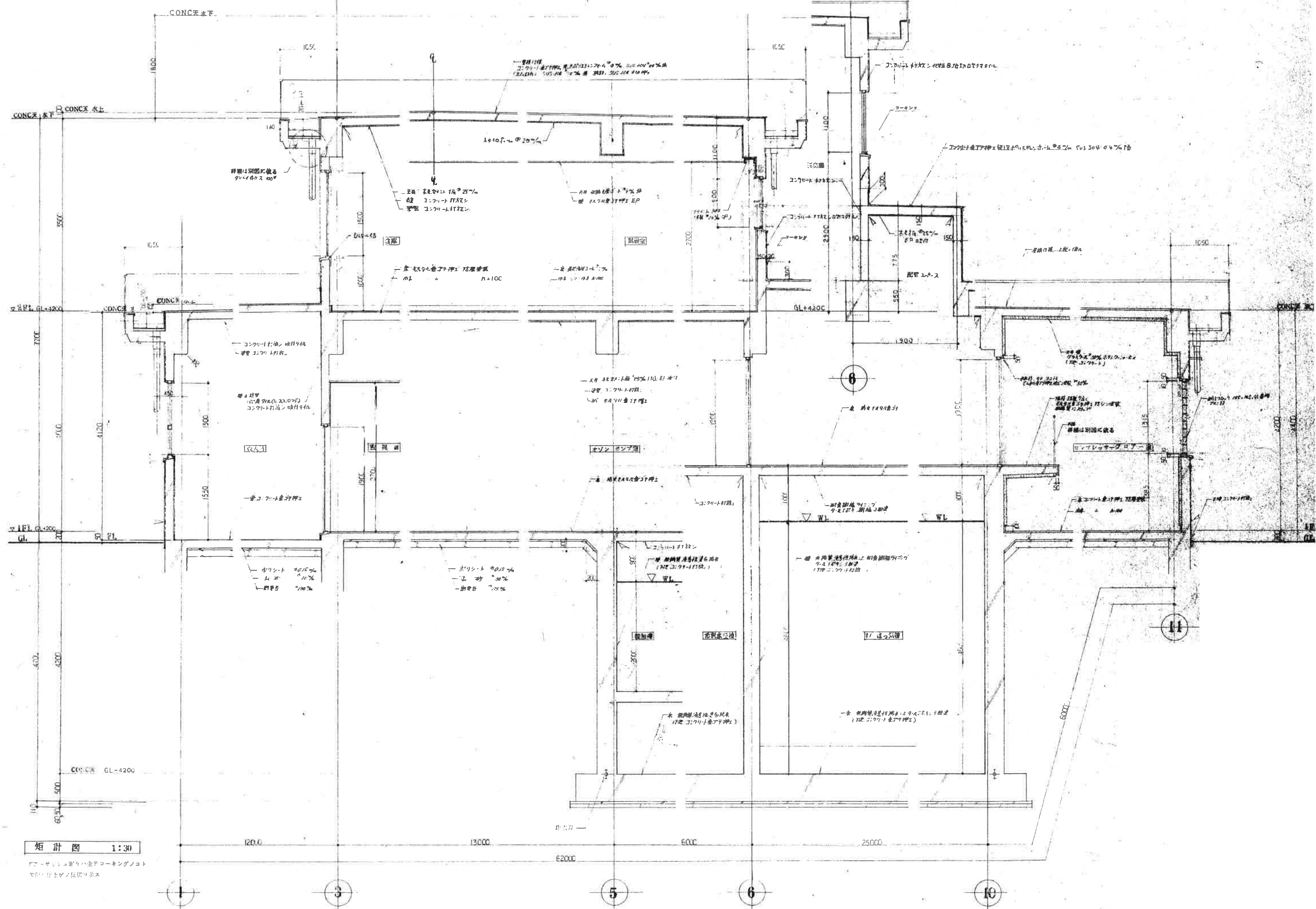
断面図 (3)

SCALE
A1 : 1/100
A3 : 1/200

NO

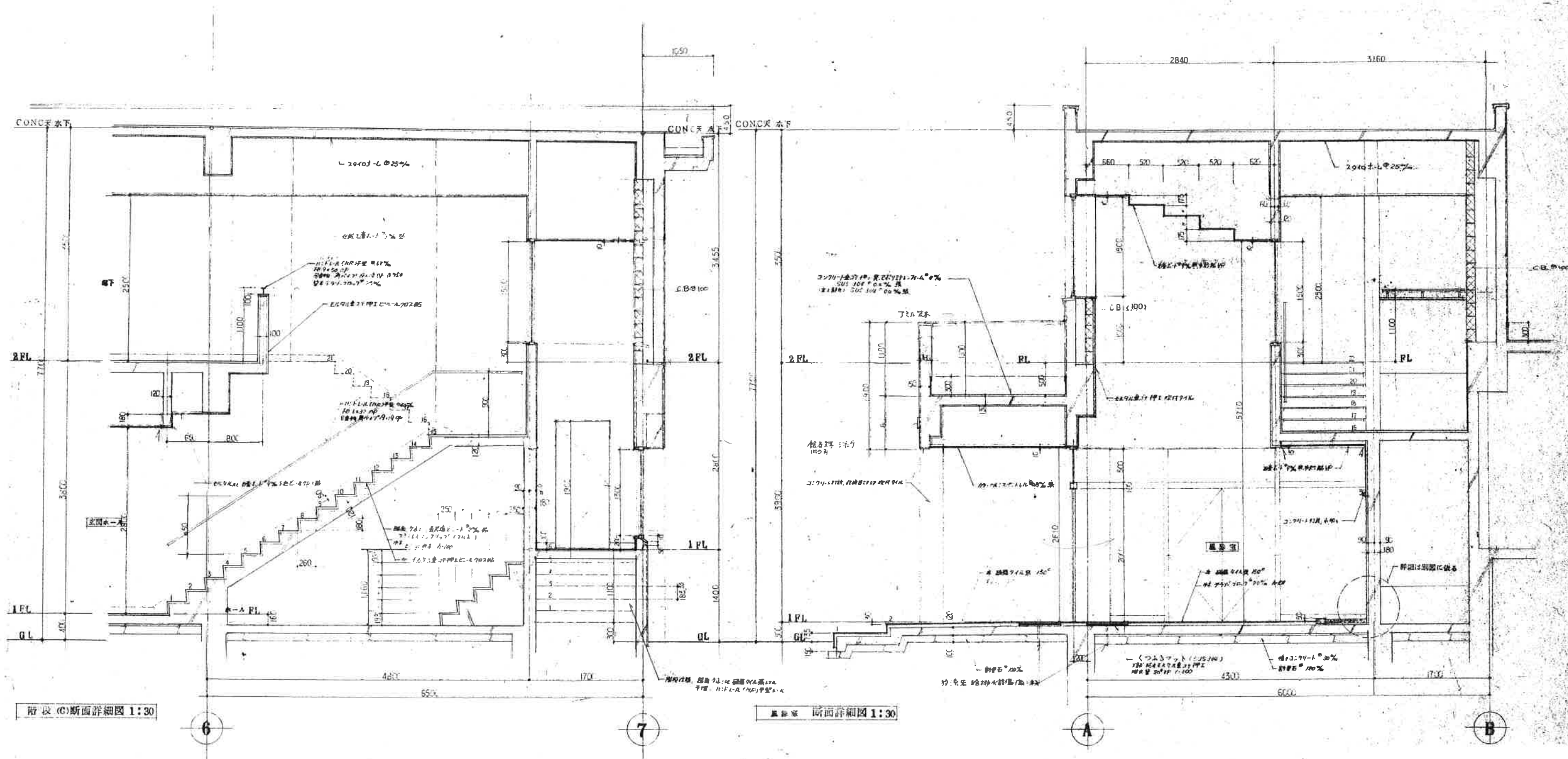
A-11





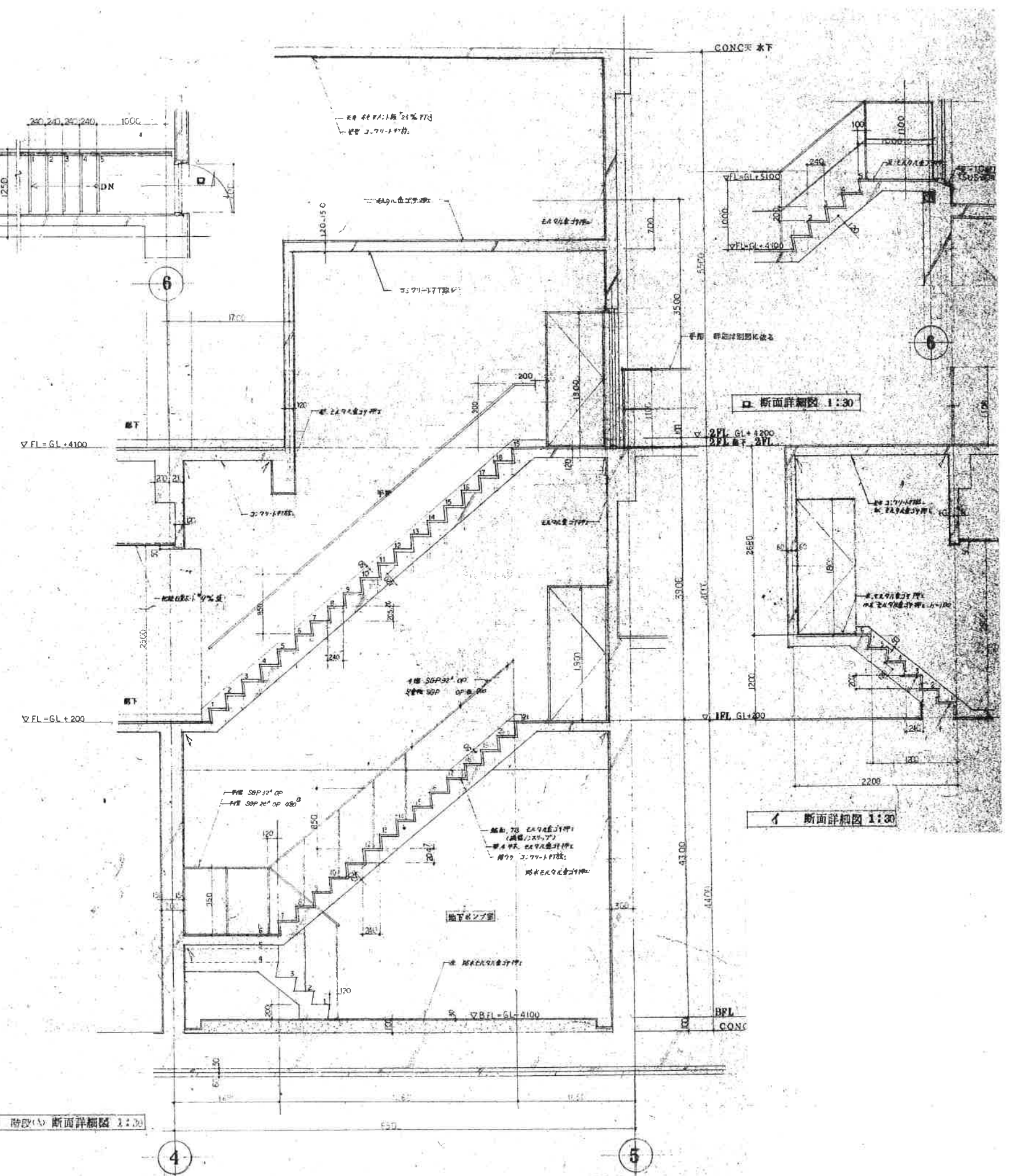
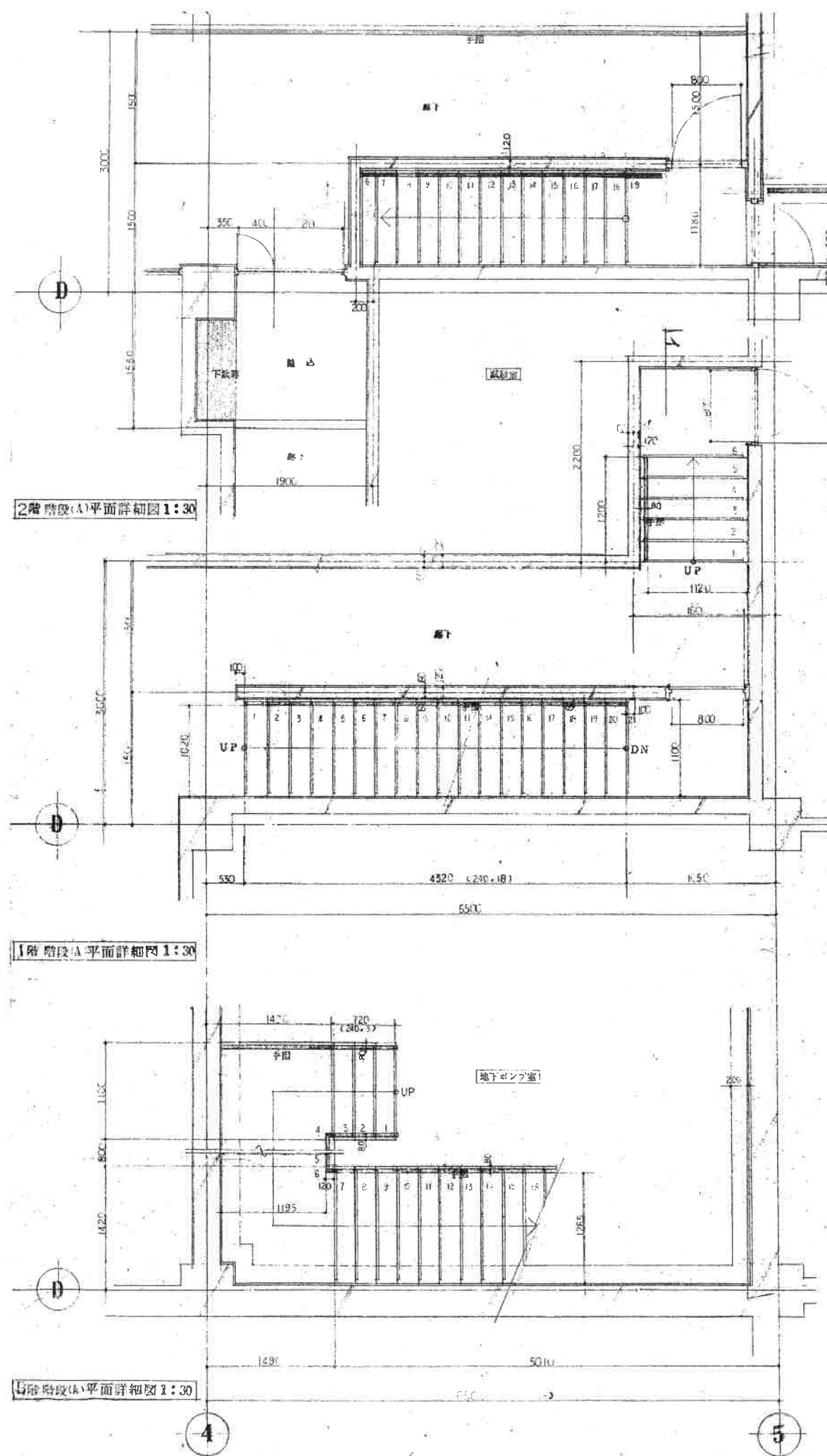
断面図 1:30

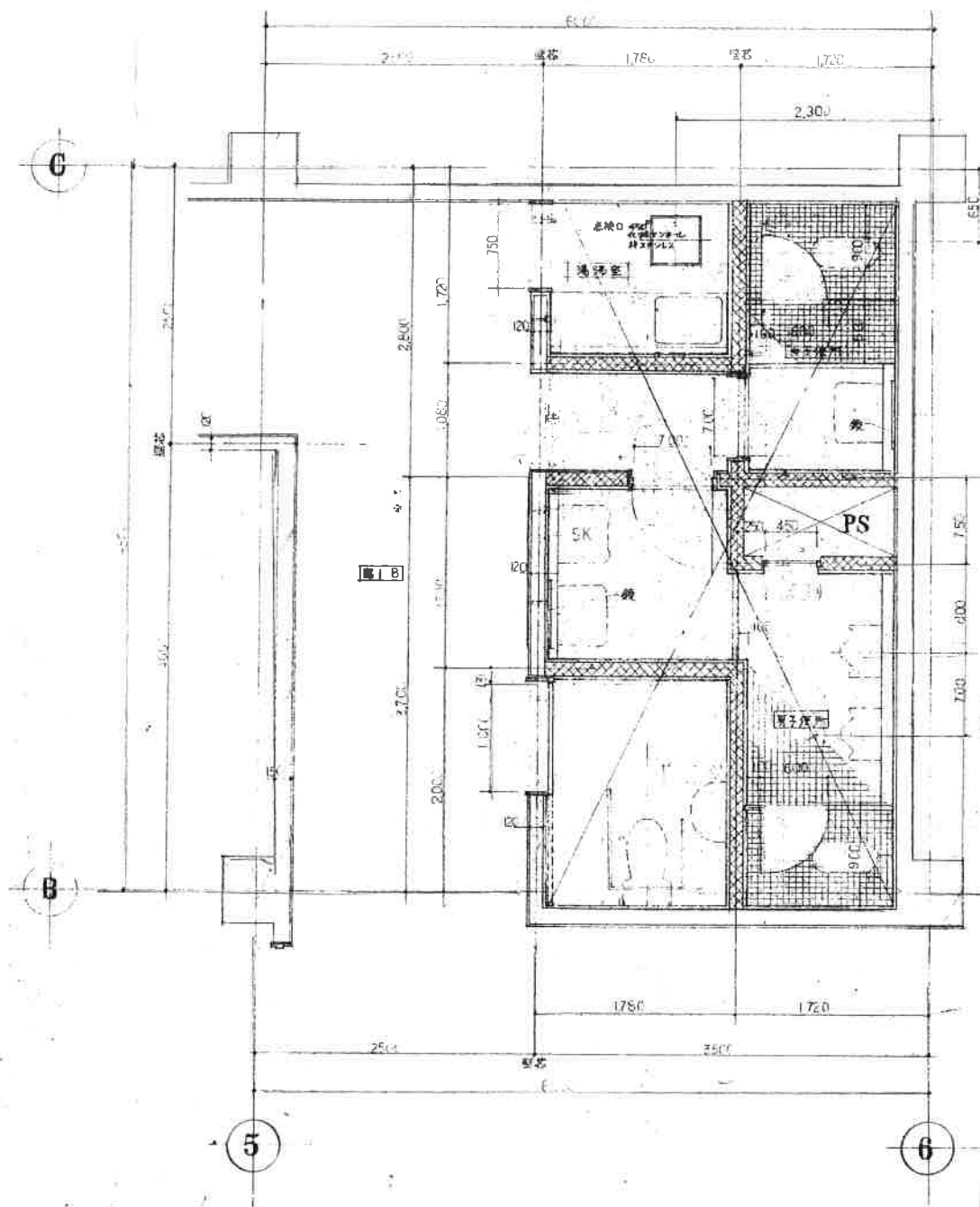
アール・アンド・エス・コーポレーション
代表取締役社長 佐々木 隆一



階段 (C) 断面詳細図 1:30

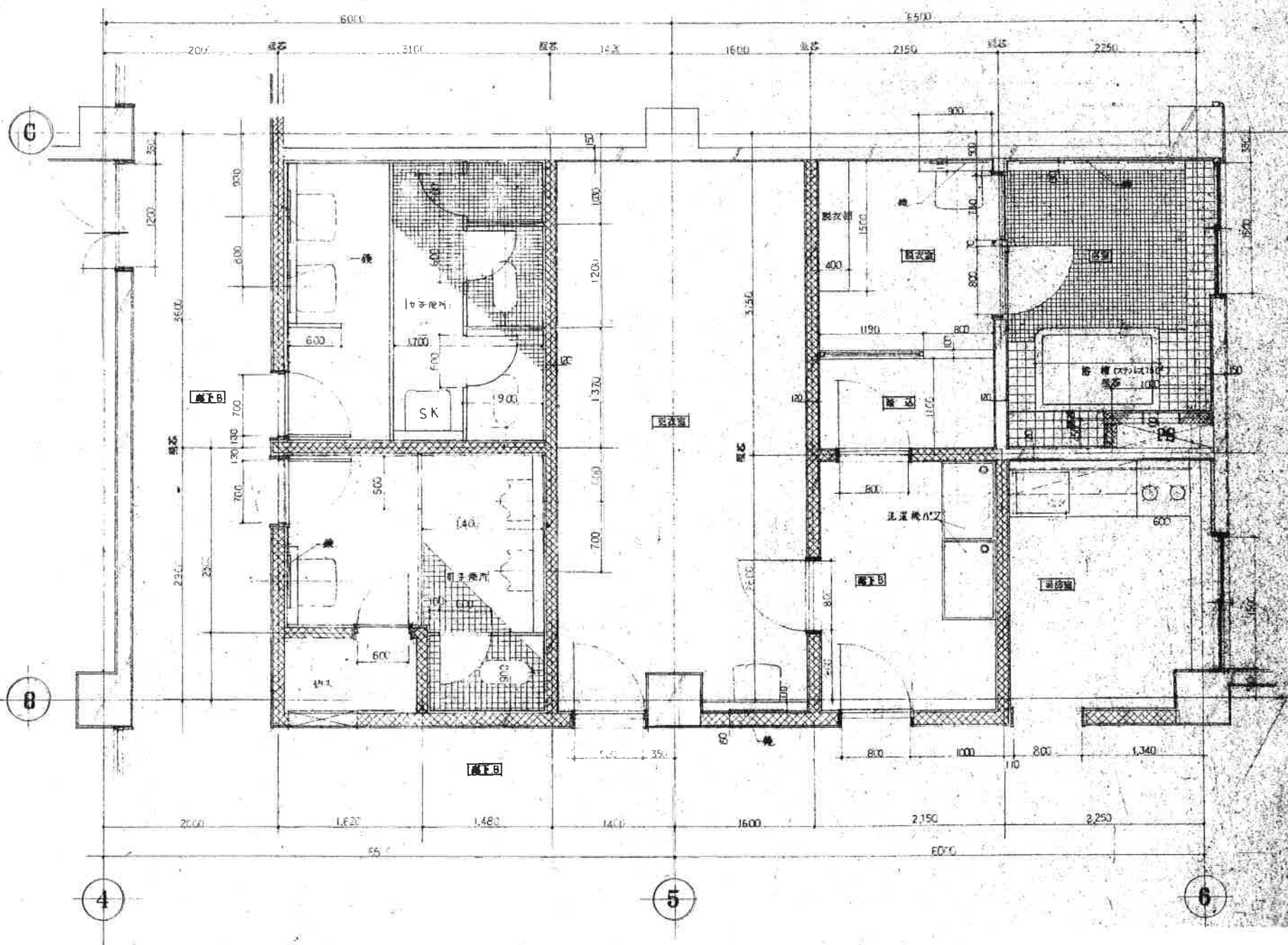
風廊室 断面詳細図 1:30





1階 平面詳細図 1:30

□ : ベット



2階 平面詳細図 1:30



基 設 計

長野市上松 3-13-8 TEL 026-241-2615 FAX 026-243-3632
一級建築士事務所登録 (長野) L 第33012号
一級建築士登録 第08962号 専 業 士

DAY



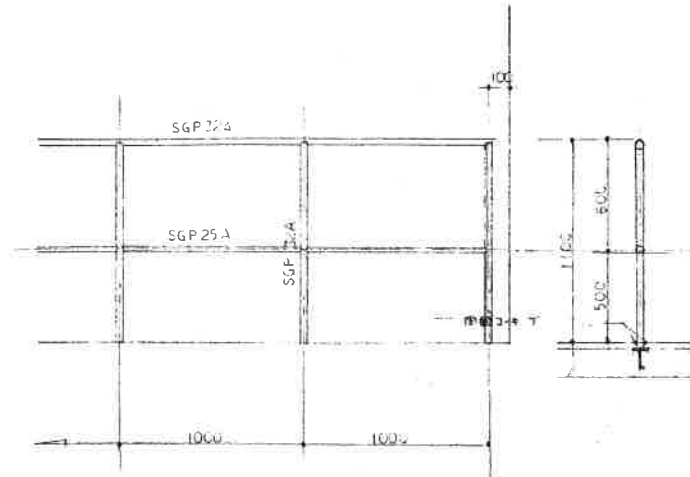
TITLE 令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

SHEET NAME 平面詳細図

SCALE
A1 1/30
A3 1/60

NO A-17





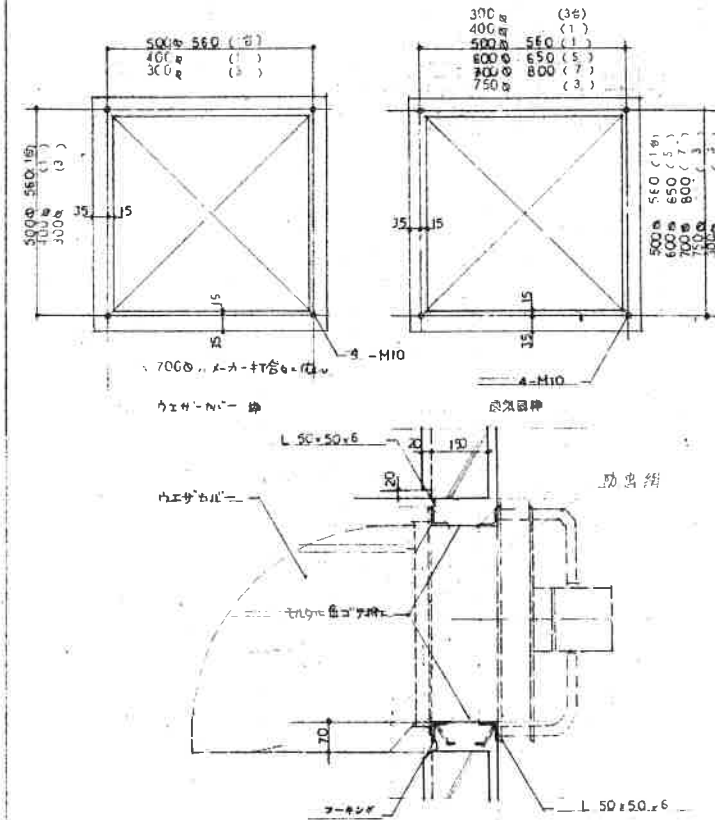
— 断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100 —

※ 断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

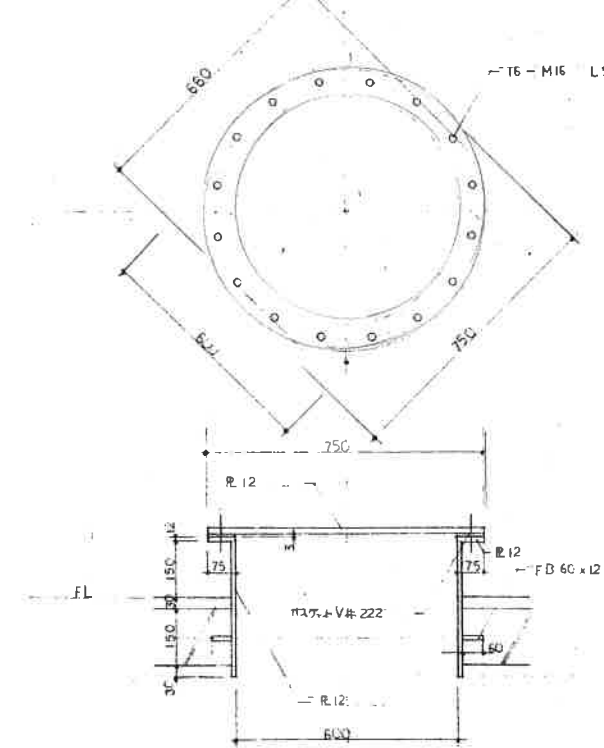
1:20



断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

1:10

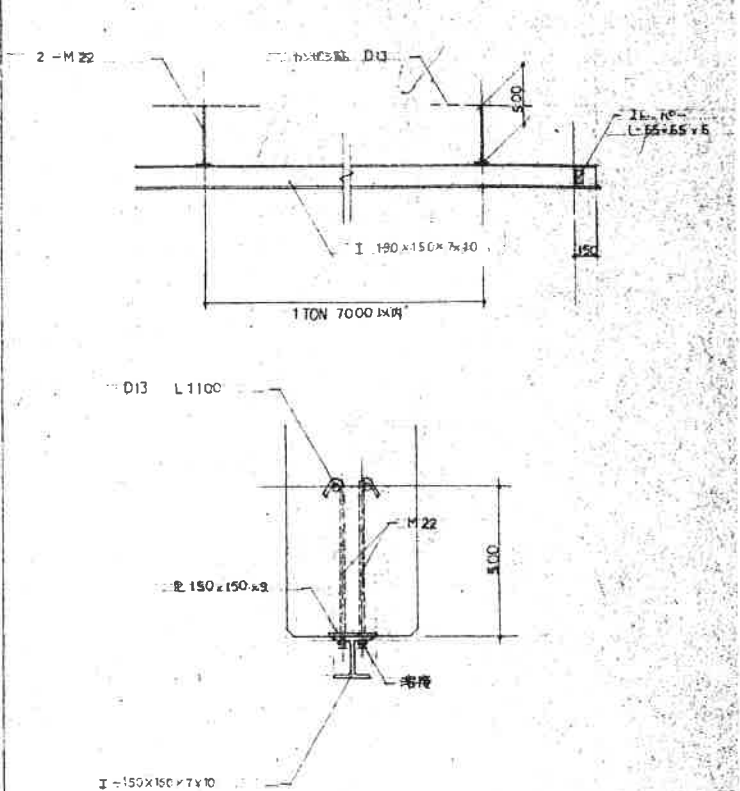


断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

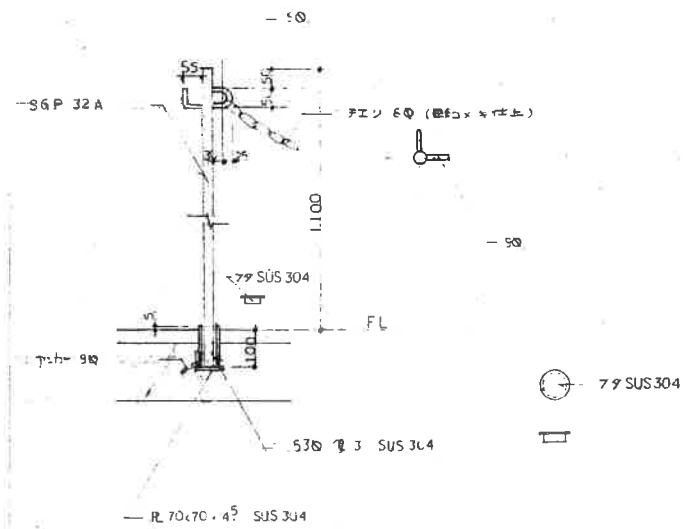
1:10



断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

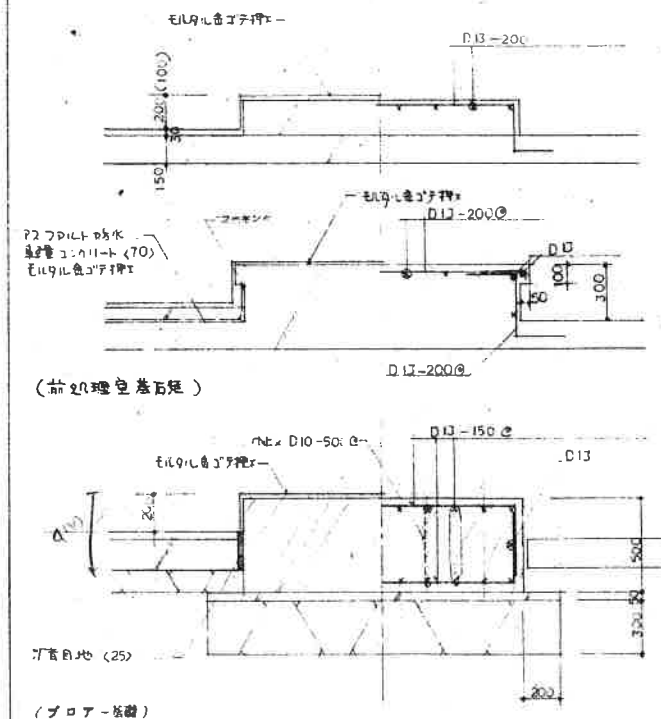
1:10 1:20



断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

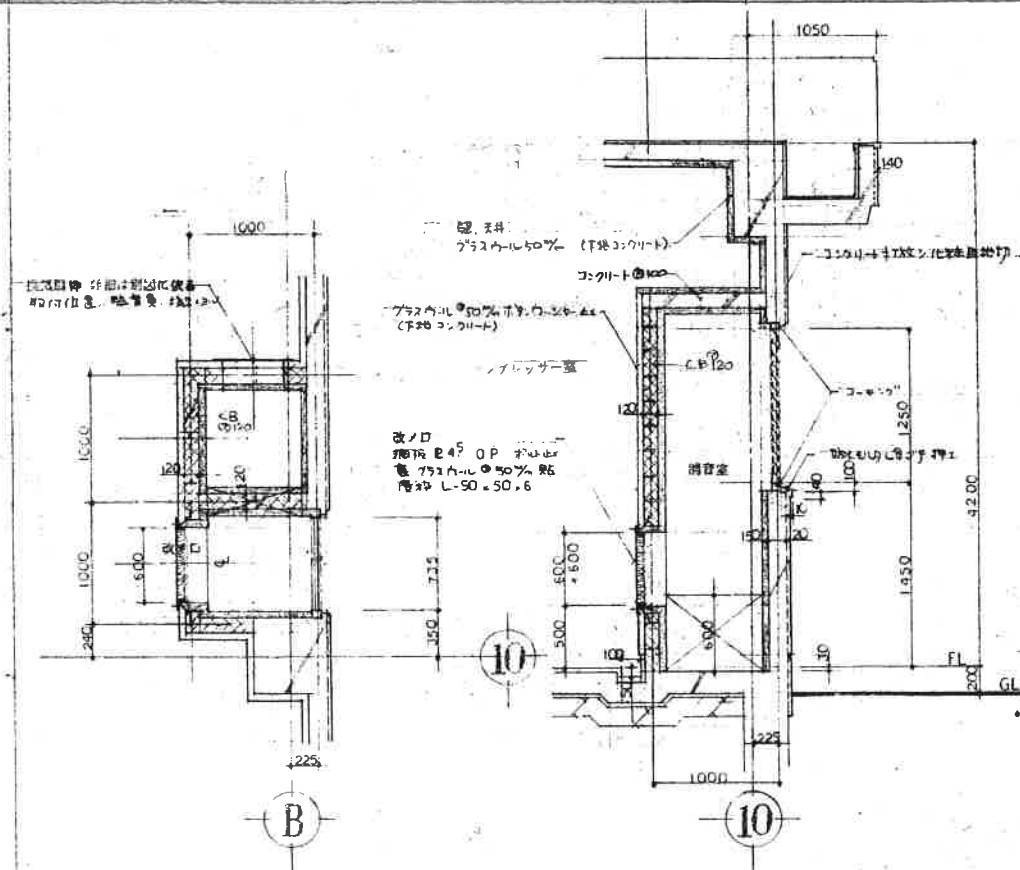
断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

1:10



断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

1:20



断面図 1/80 x 4⁵ 断面 90 x 100

1:30



基設計

長野市上松 3-13-8 TEL 026-241-3615 FAX 026-243-3532
— 建築士事務所登録 (長野) L 第 33012 号
— 建築士登録 第 68962 号 塚本 孝一

DATE

TITLE

令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

SHEET NAME

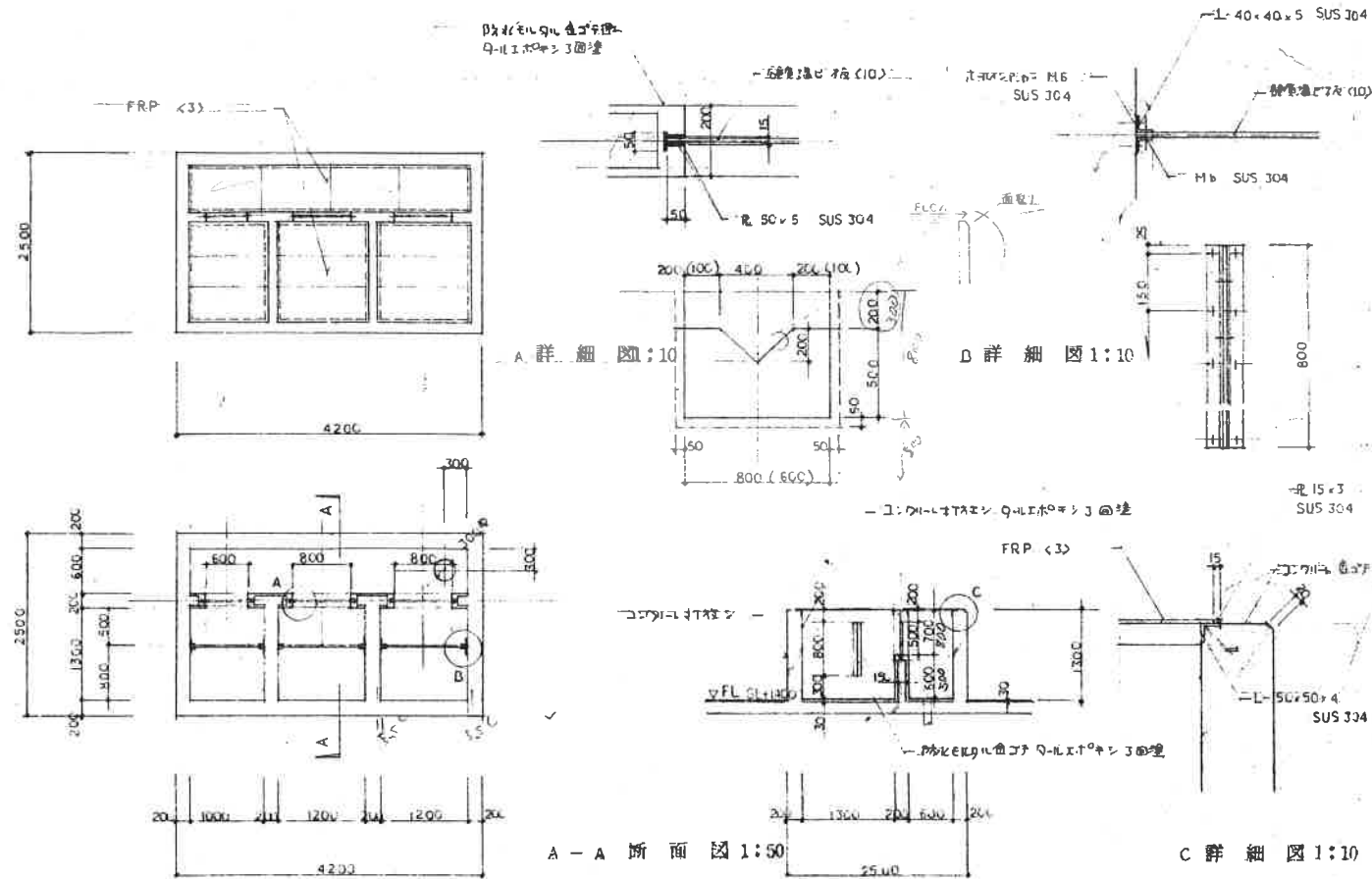
各部詳細図 (1)

SCALE
A1 1/20 1/10
A3 1/40 1/20

NO

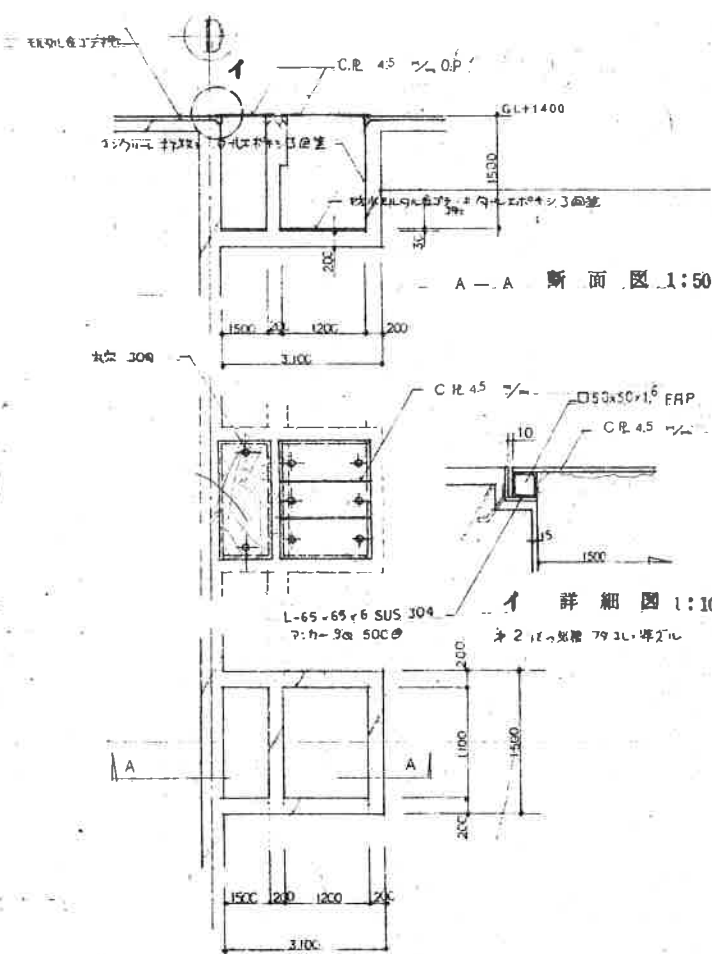
A-18





詳細図

1 : 10 1 : 50



IP-リフト信達ホフ槽 詳細図

1 : 10 1 : 50

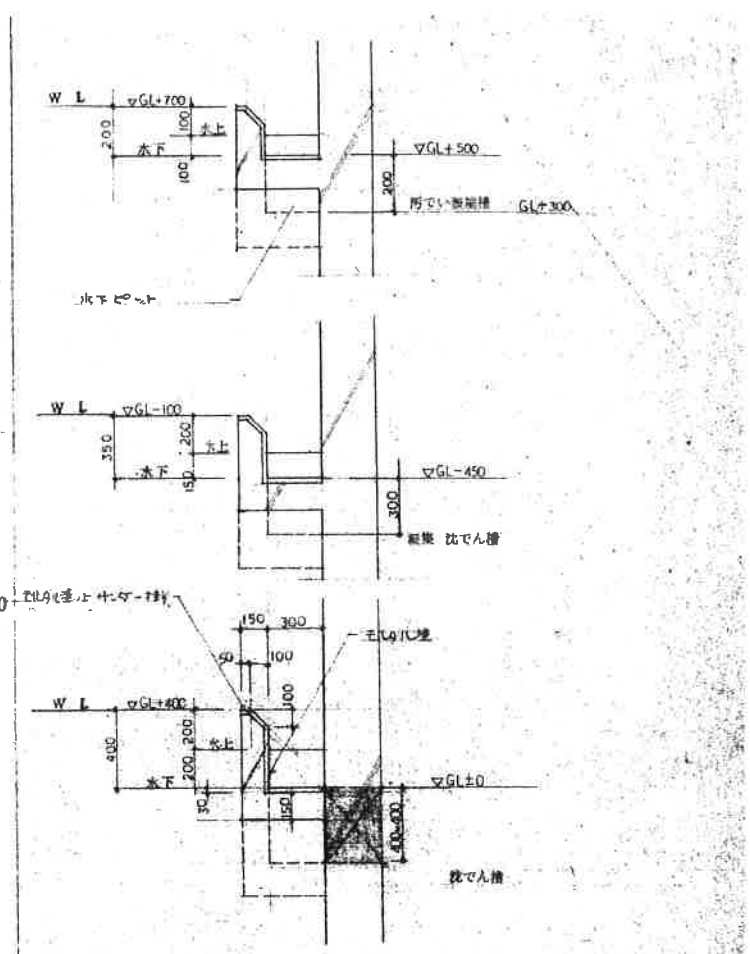
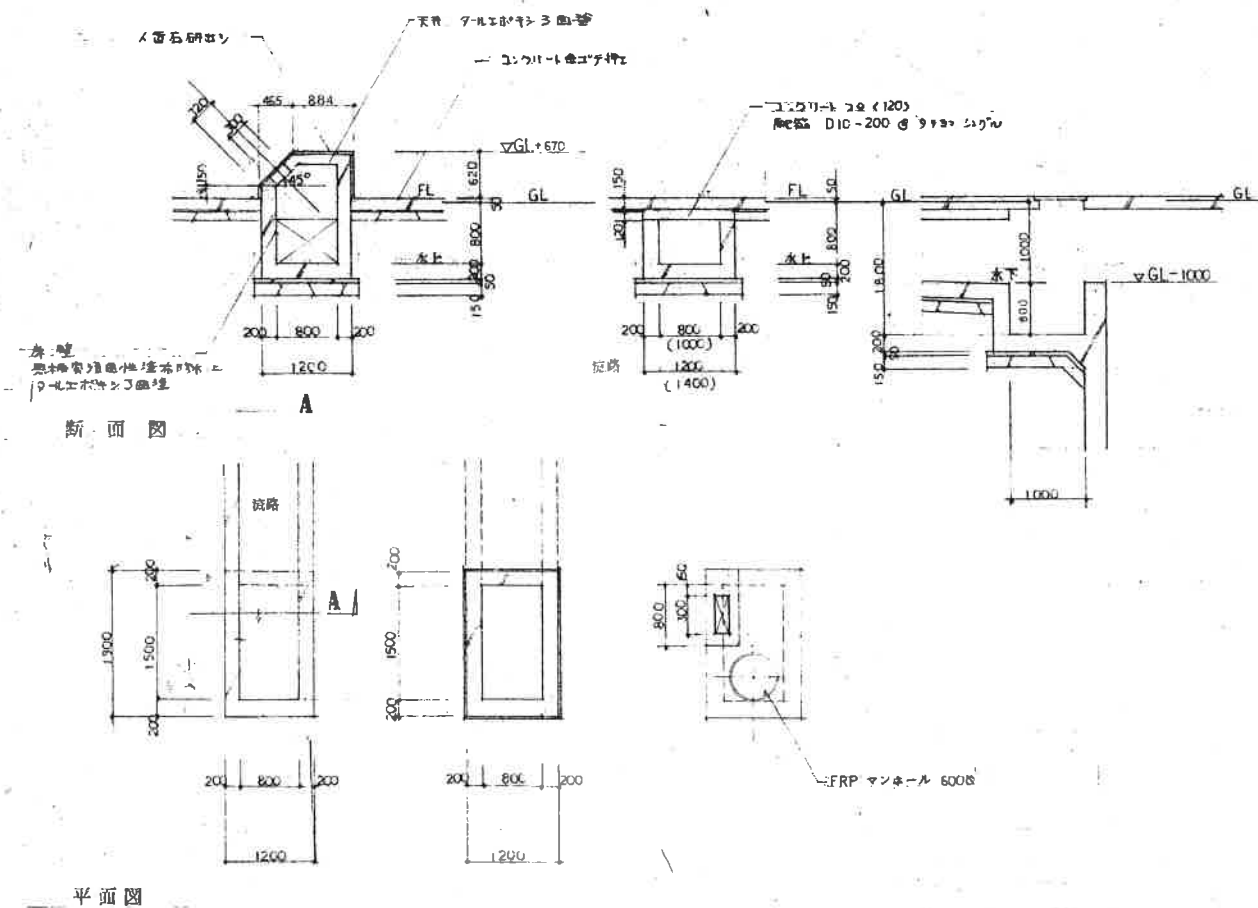


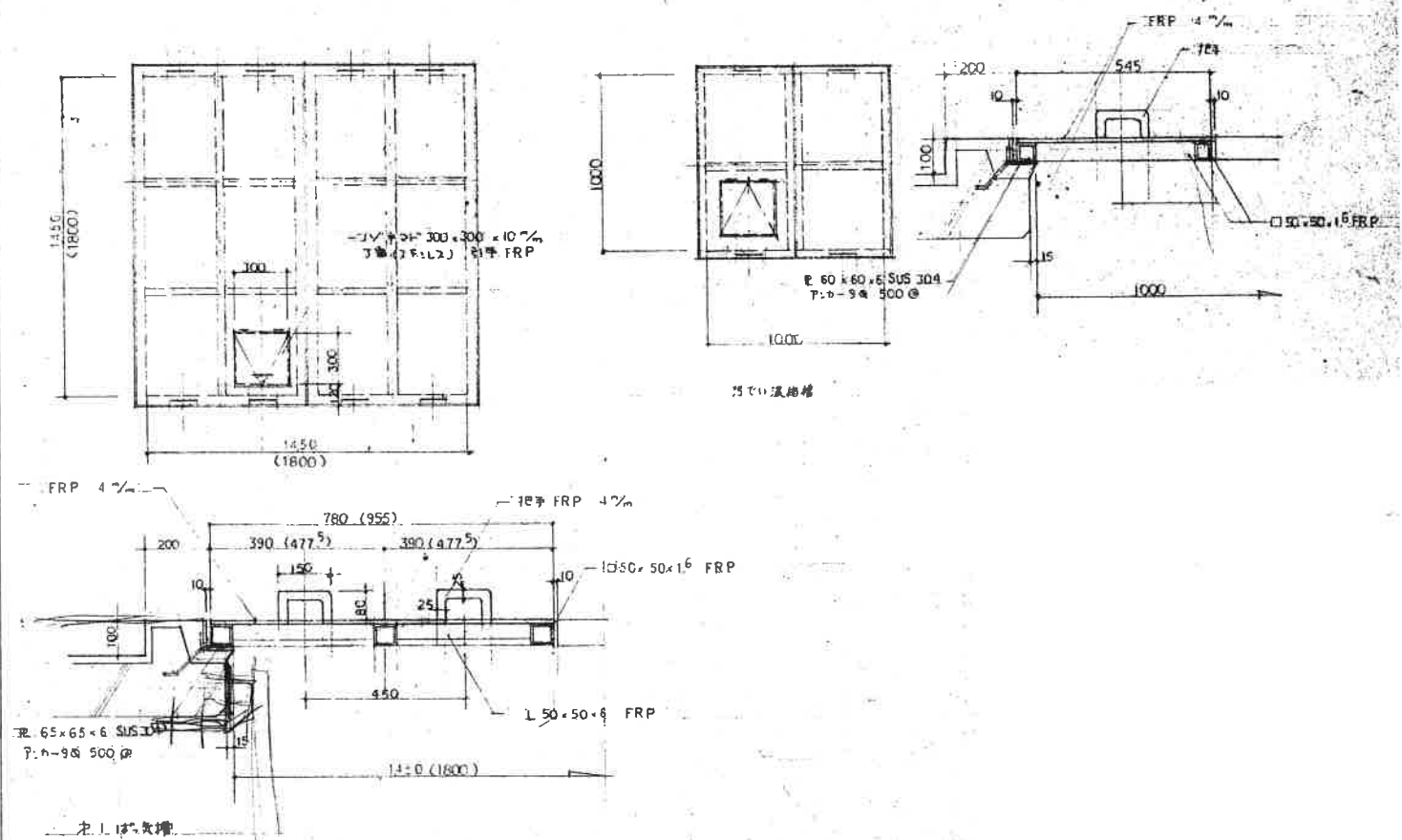
圖 細 詳

1:20



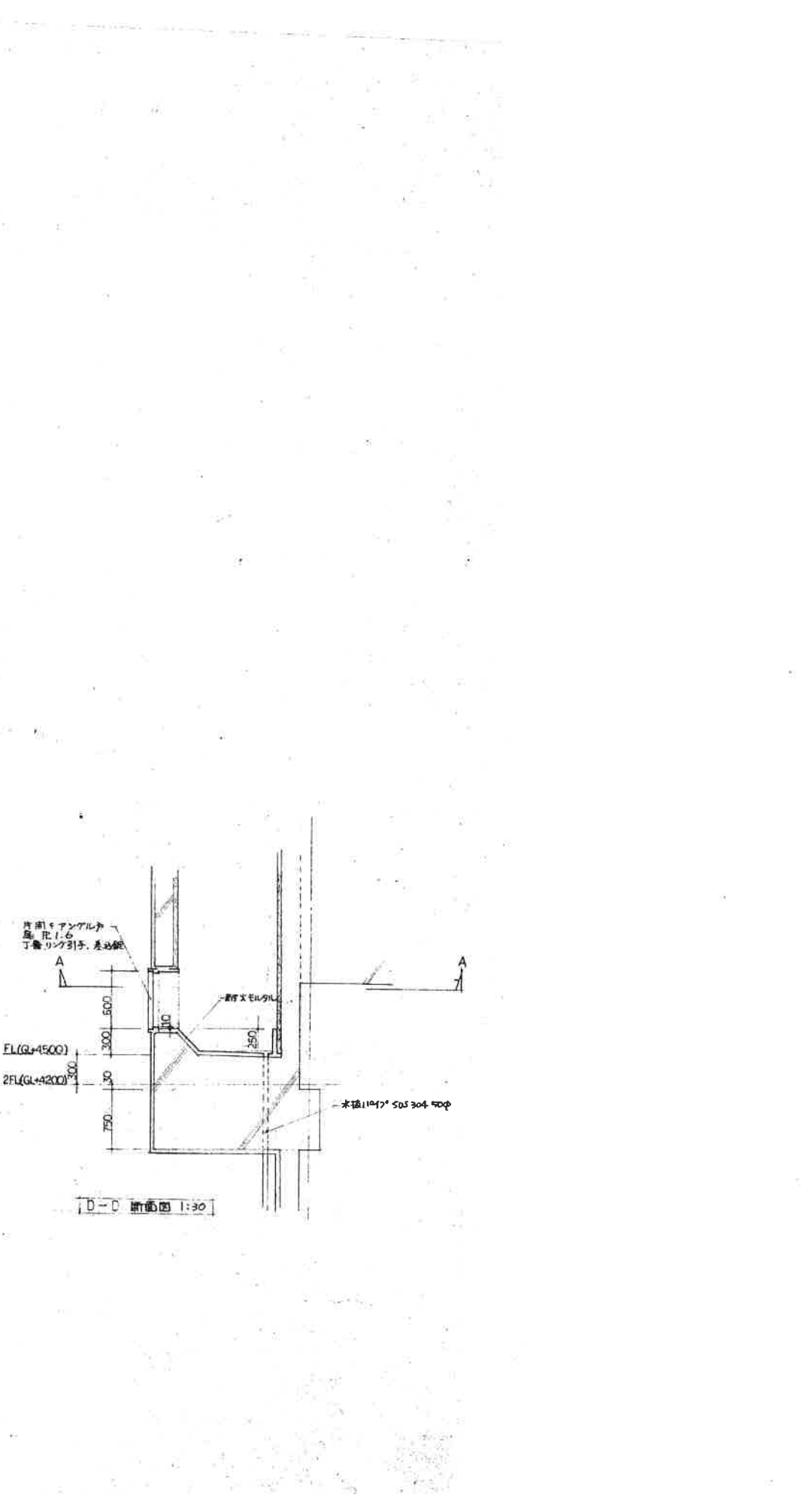
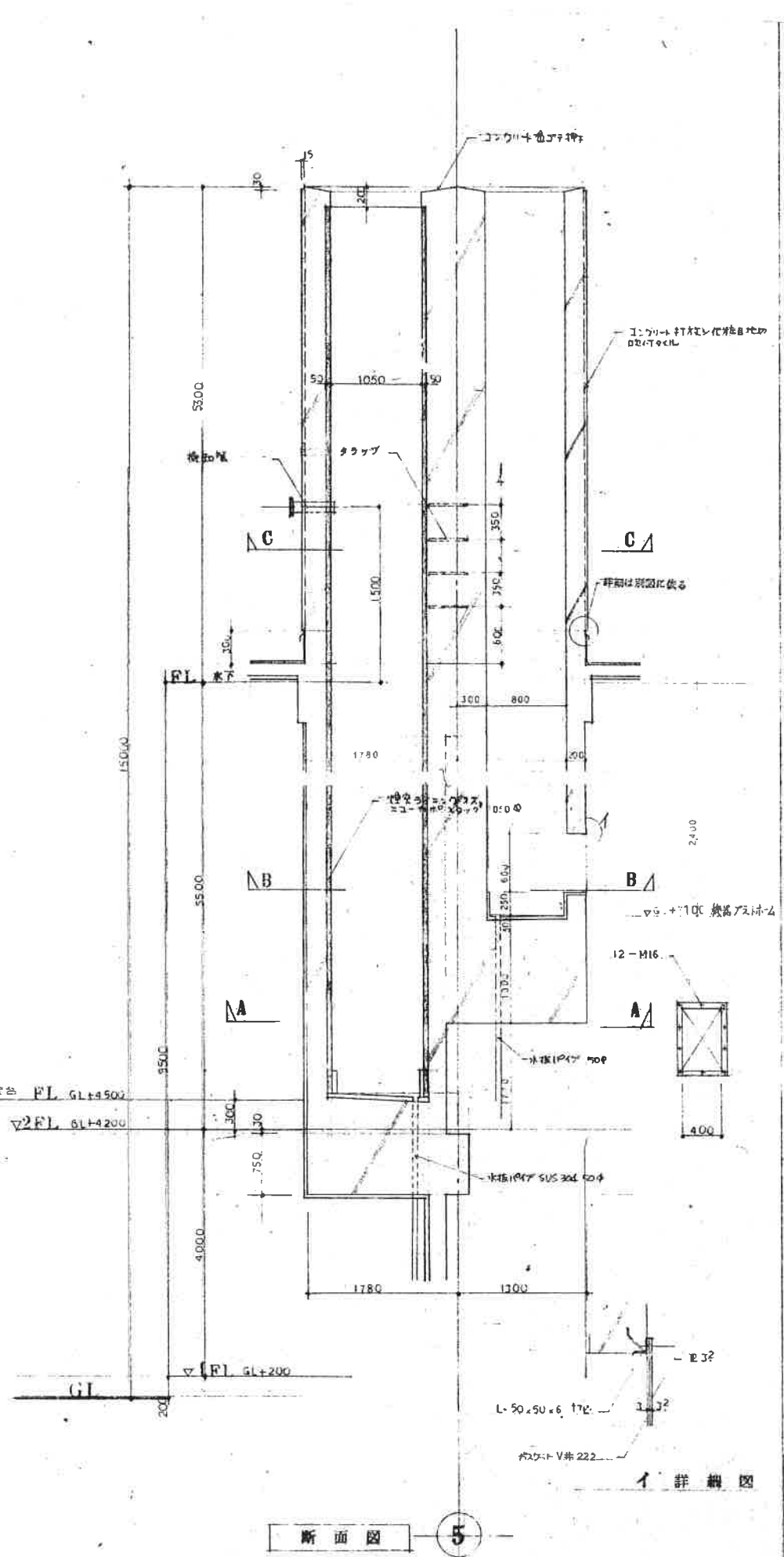
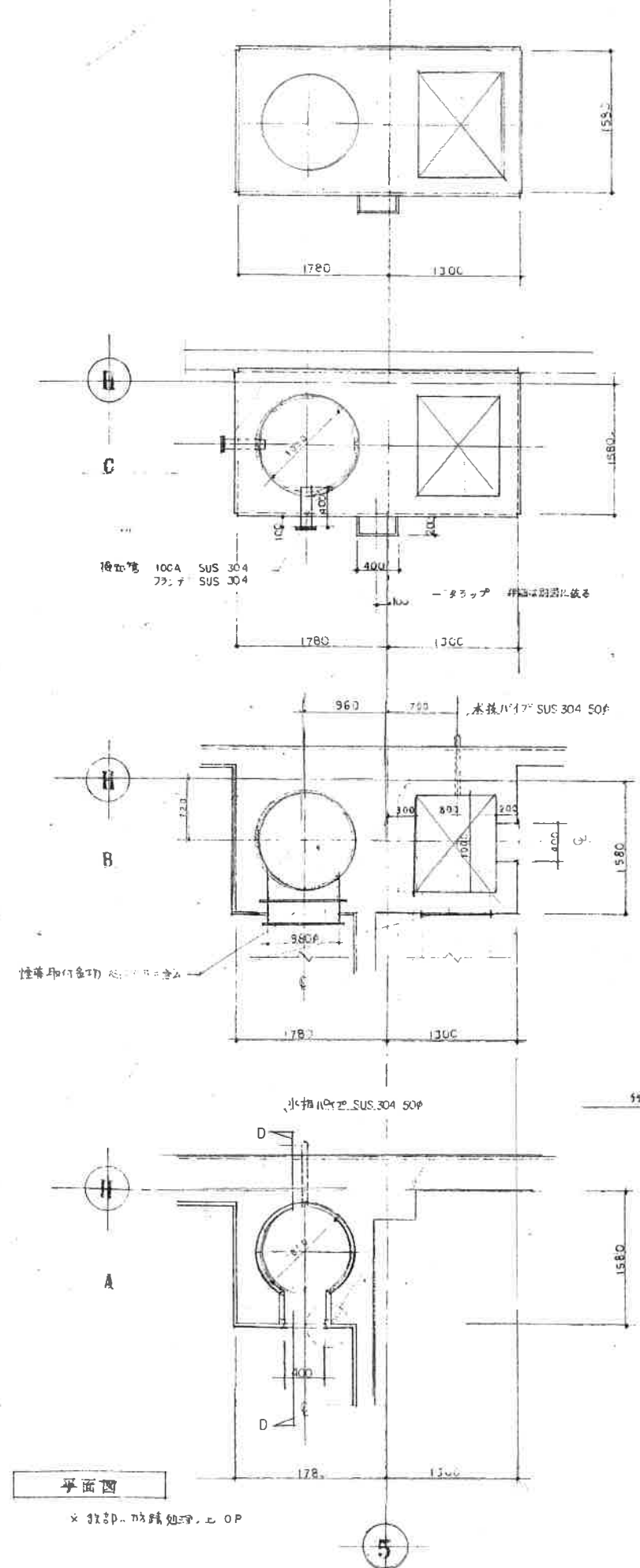
— L 系 變 入 口 及 流 路 詳 細 圖

1 : 50 1 : 10



振拌機 ばっ気機 釜 詳細図

1:20. 1:10



基 設 計

基設計事務所 3-13-8 TEL 025-241-3515 FAX 025-243-3552
 一般建築士事務所登録 (長野) 第 33012号
 一般建築士登録 第 63962号 建築士 〇

DAY

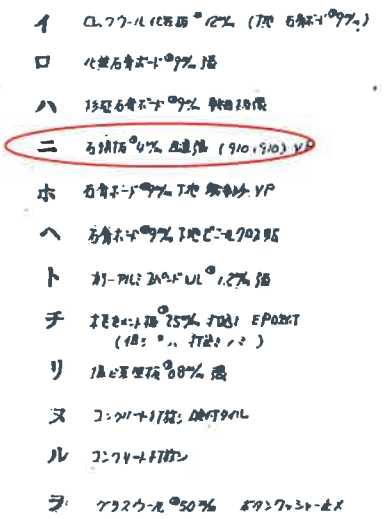
TITLE 令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

SHEET NAME 各部詳細図 (3)

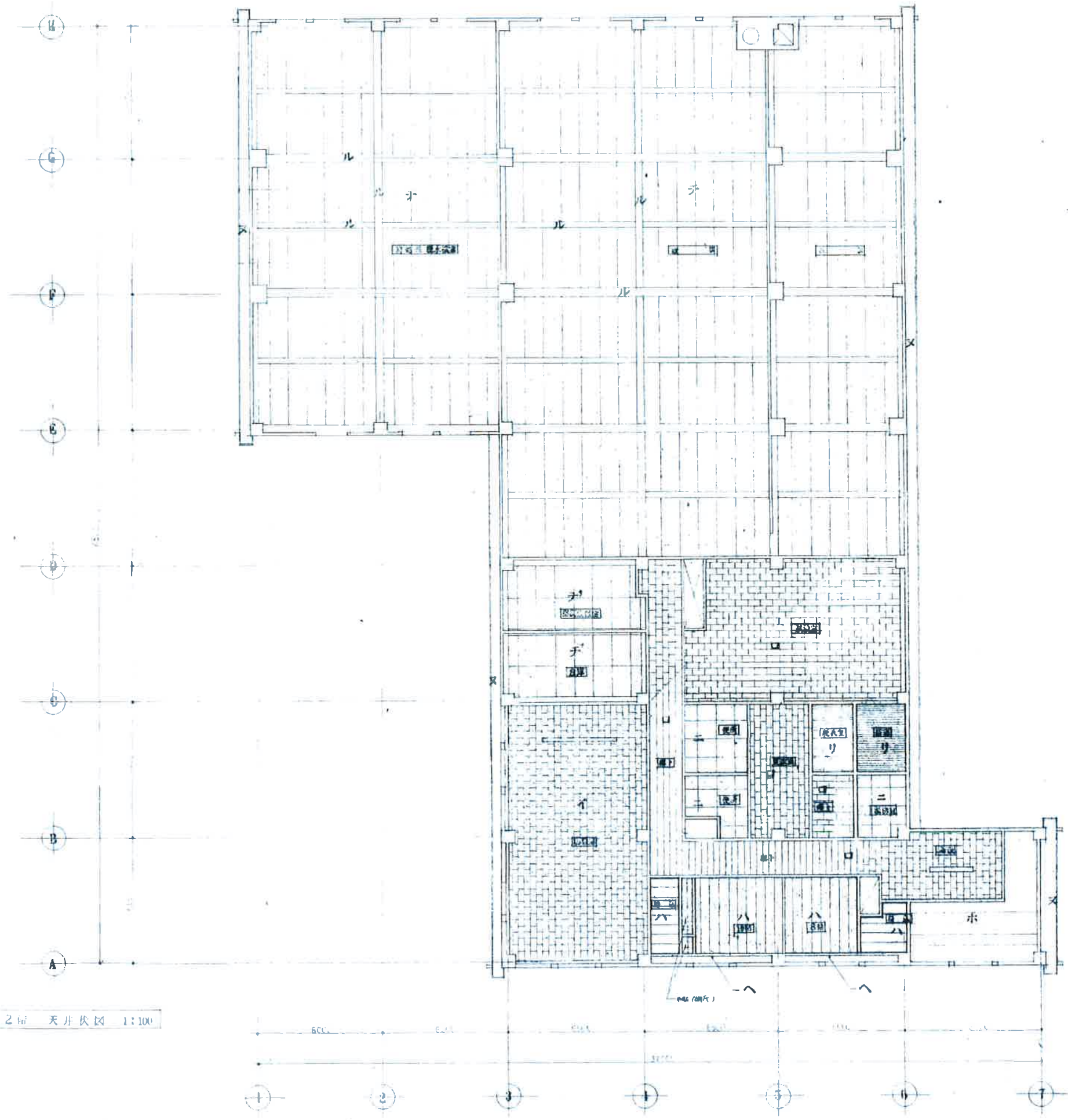
SCALE A1 1/30 A3 1/60

NO A-20

意



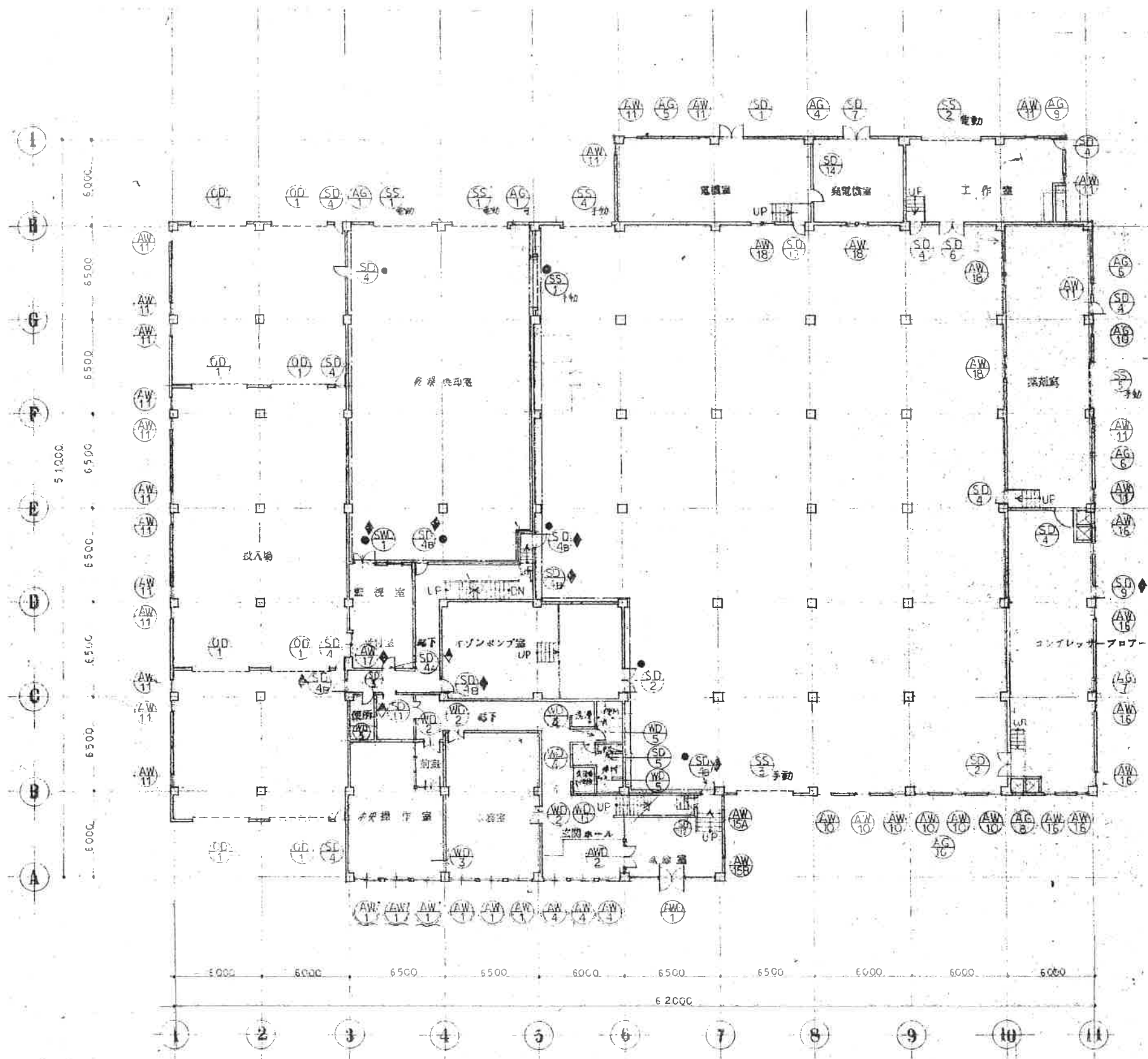
15. 人 年 表 法 (4:00)



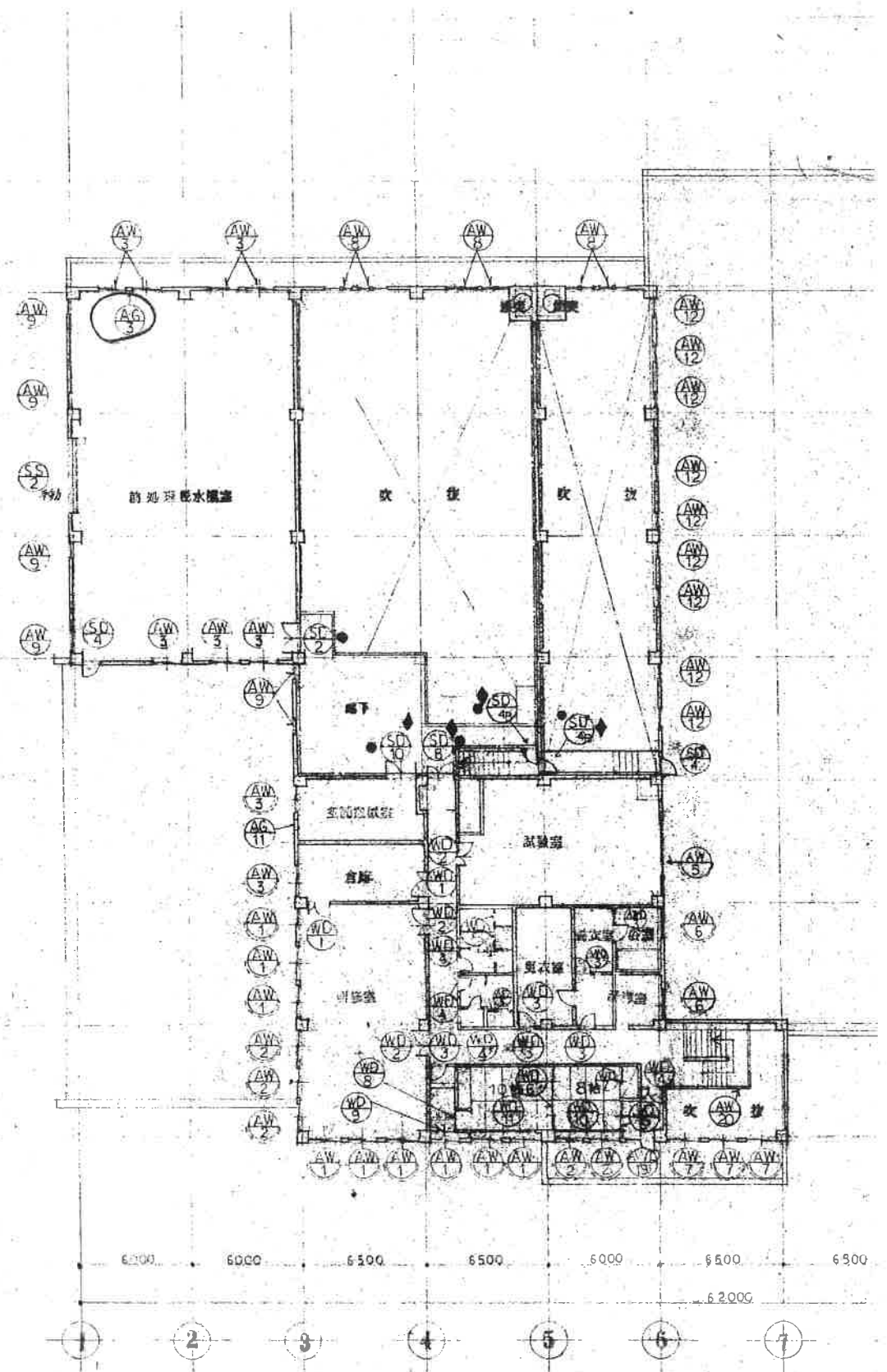
- イ ロウウ-ル化粧板[○]12% (12 8番[○]9%)
- ロ 化粧石膏板[○]9% 張
- ハ 杉板[○]9% 張
- ニ 石膏板[○]8% 8番[○]9% VP**
- ホ 石膏板[○]9% 12 8番[○]9% VP
- ヘ 石膏板[○]9% 12 8番[○]9% VP
- ト 石膏板[○]12% 12 8番[○]9% VP
- チ 石膏板[○]12% 12 8番[○]9% VP
- リ 石膏板[○]12% 12 8番[○]9% VP
- ス コ-クリート[○]12% 12 8番[○]9% VP
- ル コ-クリート[○]12% 12 8番[○]9% VP
- ヲ グラス[○]50% 50% 50% 50%

印はアスベスト含有建材を示す

2 天井伏図 1:100



1 階平面図



2 階平面図



基 設 計

長野市上松 3-13-1 TEL 026-241-3915 FAX 026-243-3652
 一級建築士事務所 (長野) L 第 33012 号
 一級建築士事務所 第 60962 号 設 計 者

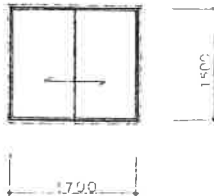
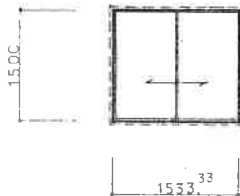
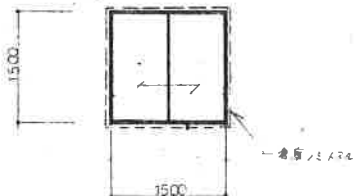
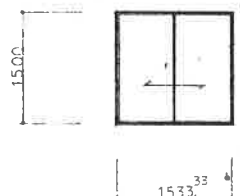
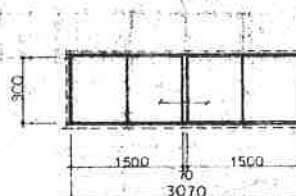
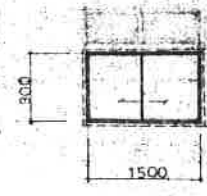
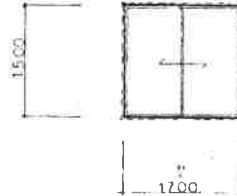
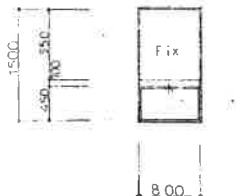
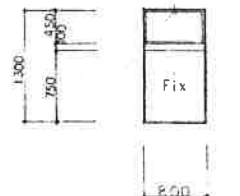
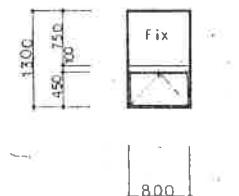
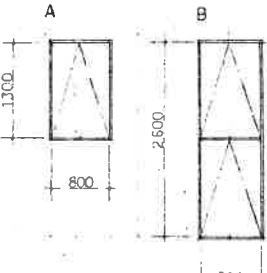
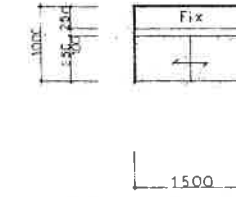
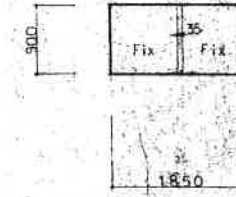
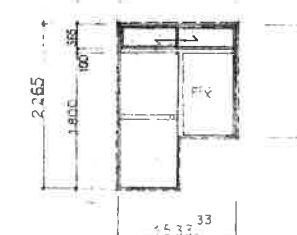
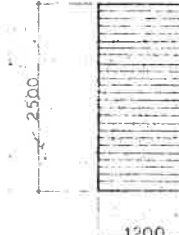
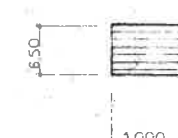
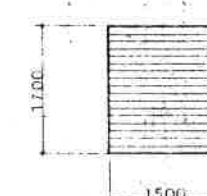
DATE

TITLE 令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

SHEET NAME 建具表 (1) キーplan

SCALE A1 A3 NO A-23

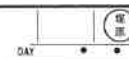


AW1 1 3 2 9  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW2 1 3 2 5  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW3 1 3 2 9  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW4 1 3 2 3  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW5 1 3 2 1  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW6 1 3 2 2  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door
AW7 1 3 2 3  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW8 1 3 2 6  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW9 1 3 2 6  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW10 1 3 2 6  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW11 1 3 2 20  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW12 1 3 2 9  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door
SD13 1 3 2 1  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	SD14 1 3 2 1  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW15A 1 3 2 1  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW16 1 3 2 1  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW17 1 3 2 1  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AW18 1 3 2 4  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door
AW19 1 3 2 1  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AG1 1 3 2 2  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AG3 1 3 2 1  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door	AG4 1 3 2 1  材種 7C 仕上 5+5+3 12mm double glass aluminum frame sliding door		



基 設 計

長野市上松 3-13-8 TEL 026-241-3515 FAX 026-243-3552
 一級建築士事務所 長野市上松 3-13-8
 一級建築士事務所 長野市上松 3-13-8



TITLE 令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

SHEET NAME 建具表 (2)

SCALE
 A1 1/50
 A3 1/100

NO A-24



AWD 1 計 1 材料 仕上 閉子 金物	AWD 2 計 1 材料 仕上 閉子 金物	AWD 3 計 1 材料 仕上 閉子 金物	AWD 20 計 1 材料 仕上 閉子 金物	SWD 1 計 1 材料 仕上 閉子 金物	SD 1 計 1 材料 仕上 閉子 金物
SD 2 計 3 材料 仕上 閉子 金物	SD 3 計 1 材料 仕上 閉子 金物	SD 4 計 12 材料 仕上 閉子 金物	SD 5 計 1 材料 仕上 閉子 金物	SD 6 計 1 材料 仕上 閉子 金物	SD 7 計 1 材料 仕上 閉子 金物
SD 8 計 1 材料 仕上 閉子 金物	SD 9 計 1 材料 仕上 閉子 金物	SD 10 計 1 材料 仕上 閉子 金物	SD 11 計 1 材料 仕上 閉子 金物	WD 1 計 1 材料 仕上 閉子 金物	WD 2 計 6 材料 仕上 閉子 金物
WD 3 計 7 材料 仕上 閉子 金物	WD 4 WD 4' 計 4 材料 仕上 閉子 金物	WD 5 計 6 材料 仕上 閉子 金物	WD 6 WD 6' 計 1 材料 仕上 閉子 金物	WD 7 計 1 材料 仕上 閉子 金物	WD 8 計 1 材料 仕上 閉子 金物



基 設 計

東京都上野 3-33-4 TEL: 03-241-2013 FAX: 03-241-2032
一級建築士事務所 設計: L 第33012号
一級建築士事務所 監理: 第33012号

DATE

TITLE 令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

SHEET NAME 建具表 (3)

SCALE A1: 1/30 A3: 1/100

NO A-25



意

WD 8 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 1800 800 計 1	WD 9 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 1035 1300 計 1	WD 10 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 1800 1670 1670 1035 計 1	WD 11 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 1035 3460 計 1	WD 12 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 1900 850 計 1	WD 13 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 1740 1000 計 1
材種 木製ドア (ふすま) 両開入 見込 3C 仕上 新着 手取貼リ 伸KF 硝子 3/チ	材種 木製ドア (障子) 見込 27 仕上 障子貼 硝子 3/チ	材種 木製ドア (障子) 見込 27 仕上 障子貼 硝子 3/チ	材種 木製ドア (障子) 見込 27 仕上 障子貼 硝子 3/チ	材種 木製ドア (両開入 伸入 フラッシュ) 見込 36 仕上 伸入 フラッシュ 硝子 3/チ 伸入 フラッシュ	材種 木製ドア (両開入 伸入 フラッシュ) 見込 36 仕上 伸入 フラッシュ 硝子 伸入 フラッシュ 伸入 フラッシュ
WD 14 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 1950 1950 計 1	AG 5 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 1400 800 計 1	AG 6 窓 開口数 1 2 2 2 窓図 1350 735 計 2	AG 7 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 1250 735 計 1	AG 8 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 750 735 計 1	AG 9 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 800 735 計 1
材種 両開き木製ドア (両開入 伸入 フラッシュ) 見込 36 仕上 伸入 フラッシュ 硝子 伸入 フラッシュ	材種 アルミ製ガラリ 見込 70 仕上 アルミ製ガラリ 硝子 アルミ製ガラリ	材種 アルミ製ガラリ 見込 70 仕上 アルミ製ガラリ 硝子 アルミ製ガラリ	材種 アルミ製ガラリ 見込 70 仕上 アルミ製ガラリ 硝子 アルミ製ガラリ	材種 アルミ製ガラリ 見込 70 仕上 アルミ製ガラリ 硝子 アルミ製ガラリ	材種 アルミ製ガラリ 見込 70 仕上 アルミ製ガラリ 硝子 アルミ製ガラリ
SS 1 窓 開口数 1 3 2 1 窓図 3200 3500 計 3	SS 2 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 2500 3500 計 2	SS 3 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 2300 3500 計 1	SS 4 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 2000 3000 計 1	SS 5 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 3200 3200 計 1	SS 6 窓 開口数 1 8 2 1 窓図 3100 3500 計 8
材種 電動 (手動) 両開シャッター (伸入付) 200V 見込 0F 仕上 0F 硝子 0F	材種 電動 (手動) 両開シャッター (伸入付) 200V 見込 0F 仕上 0F 硝子 0F	材種 電動 (手動) 両開シャッター (伸入付) 200V 見込 0F 仕上 0F 硝子 0F	材種 電動 (手動) 両開シャッター (伸入付) 200V 見込 0F 仕上 0F 硝子 0F	材種 電動 (手動) 両開シャッター (伸入付) 200V 見込 0F 仕上 0F 硝子 0F	材種 電動 (手動) 両開シャッター (伸入付) 200V 見込 0F 仕上 0F 硝子 0F
SD 4A 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 800 1500 計 1	SD 4B 窓 開口数 1 6 2 2 窓図 1700 1500 計 7	SD 12 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 1500 800 計 1	AG 10 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 800 1500 計 2	AG 11 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 400 1500 計 1	AG 12 窓 開口数 1 1 2 1 窓図 400 1500 計 1
材種 片開き 両開シャッター (伸入付) 見込 伸 100 伸 40 仕上 伸 100 伸 40 硝子 伸 100 伸 40	材種 片開き 両開シャッター (伸入付) 見込 伸 100 伸 40 仕上 伸 100 伸 40 硝子 伸 100 伸 40	材種 片開き 両開シャッター (伸入付) 見込 伸 100 伸 40 仕上 伸 100 伸 40 硝子 伸 100 伸 40	材種 片開き 両開シャッター (伸入付) 見込 伸 100 伸 40 仕上 伸 100 伸 40 硝子 伸 100 伸 40	材種 片開き 両開シャッター (伸入付) 見込 伸 100 伸 40 仕上 伸 100 伸 40 硝子 伸 100 伸 40	材種 片開き 両開シャッター (伸入付) 見込 伸 100 伸 40 仕上 伸 100 伸 40 硝子 伸 100 伸 40



基 設 計

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL 03-1234-5678 FAX 03-1234-5679
E-MAIL info@kisekei.co.jp
代表取締役 山田 太郎
取締役 佐藤 一郎
営業部長 鈴木 一郎
営業部 山田 太郎 佐藤 一郎 鈴木 一郎
営業部 山田 太郎 佐藤 一郎 鈴木 一郎

DATE

図 1

TITLE 令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

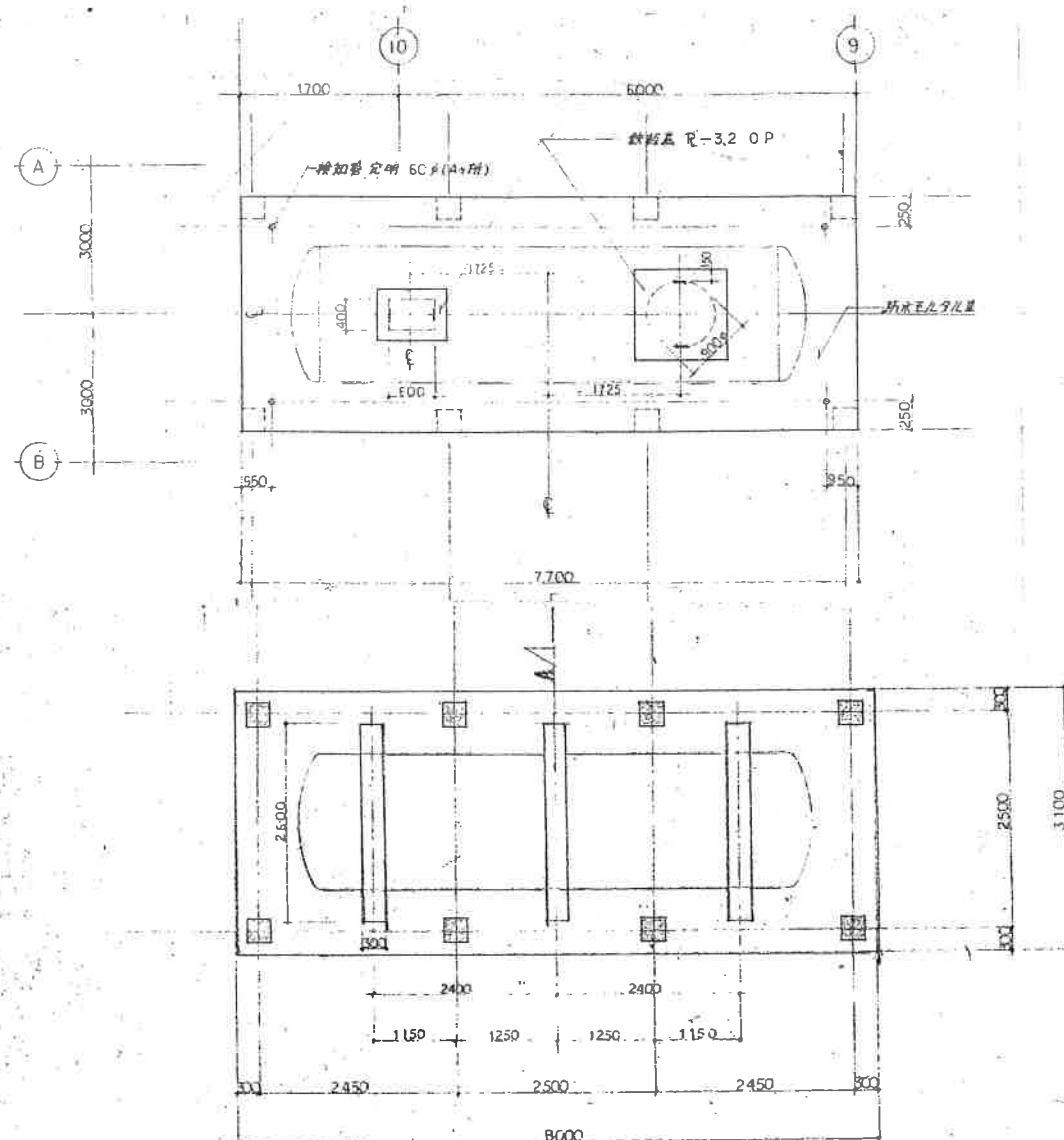
SHEET 1/1

建具表 (4)

SCALE A1 1/50 A3 1/100

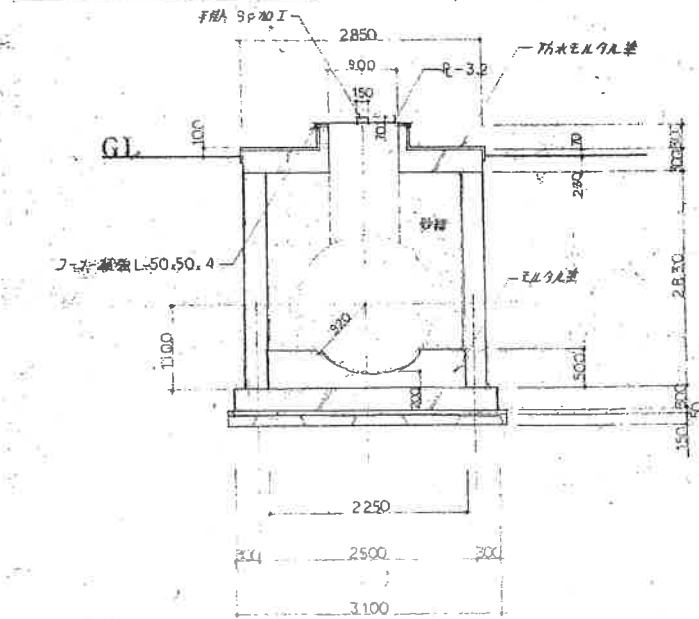
NO A-26

意



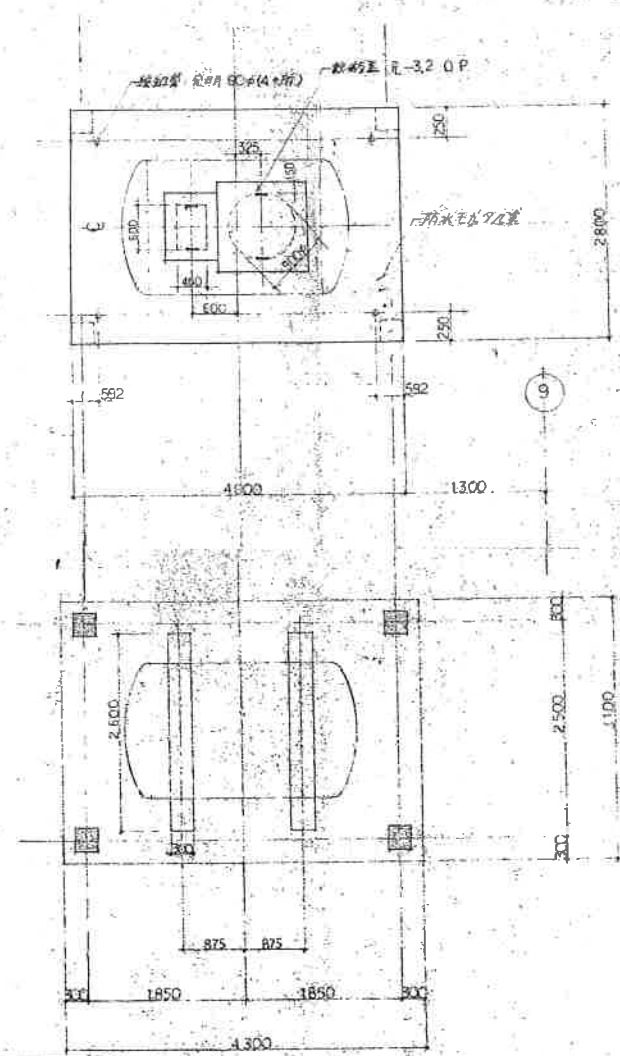
地下油タンク詳細図 1:50

鉄筋 5 丸-3.2 OP 12本



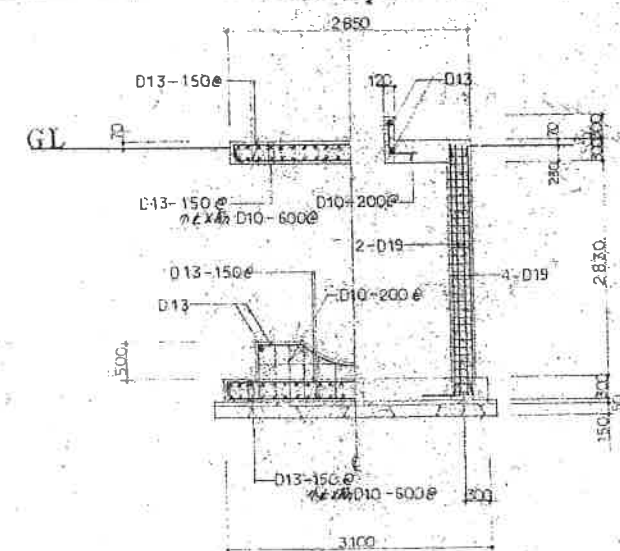
A 断面詳細図 1:50

鉄筋 5 丸-3.2 OP 12本
排水用パイプ 200φ



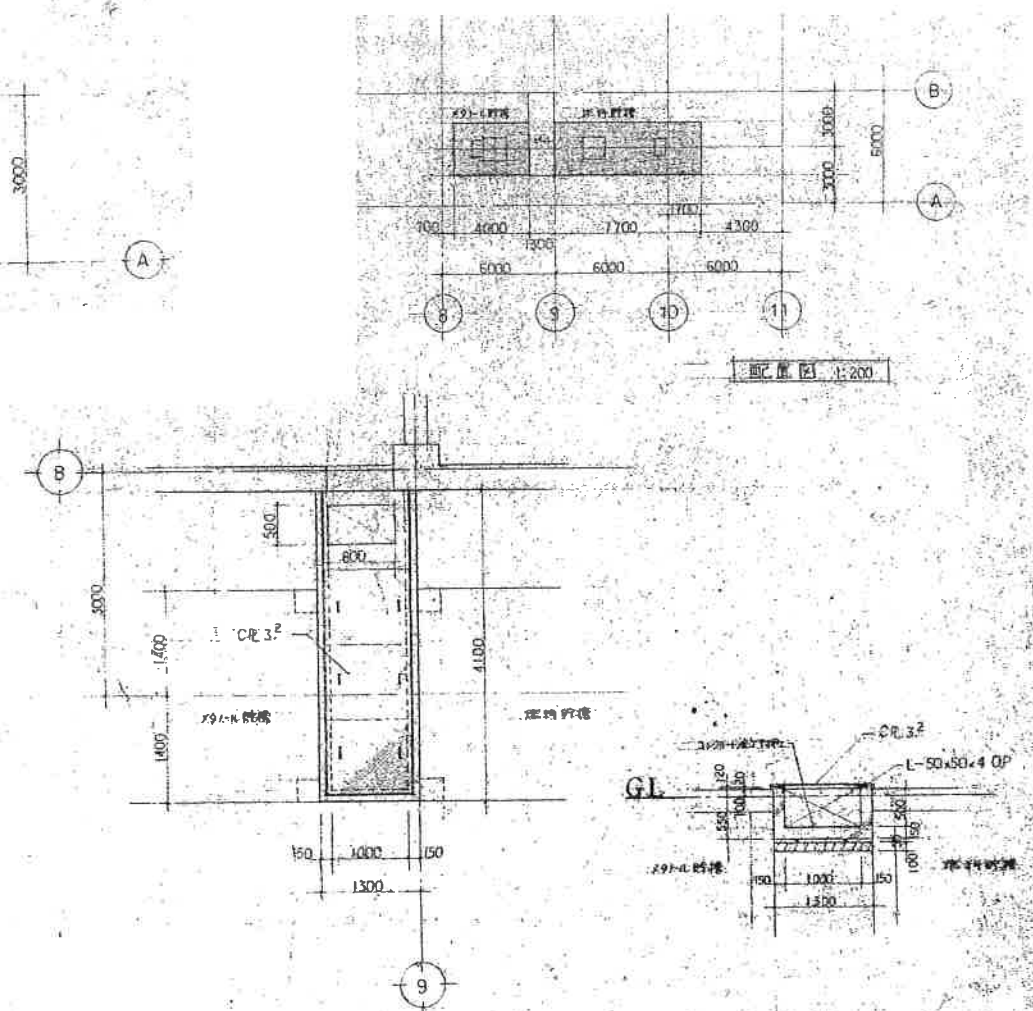
地下油タンク詳細図 1:50

鉄筋 5 丸-3.2 OP 12本



B 断面詳細図 1:50

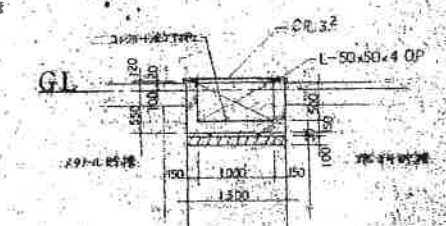
共通



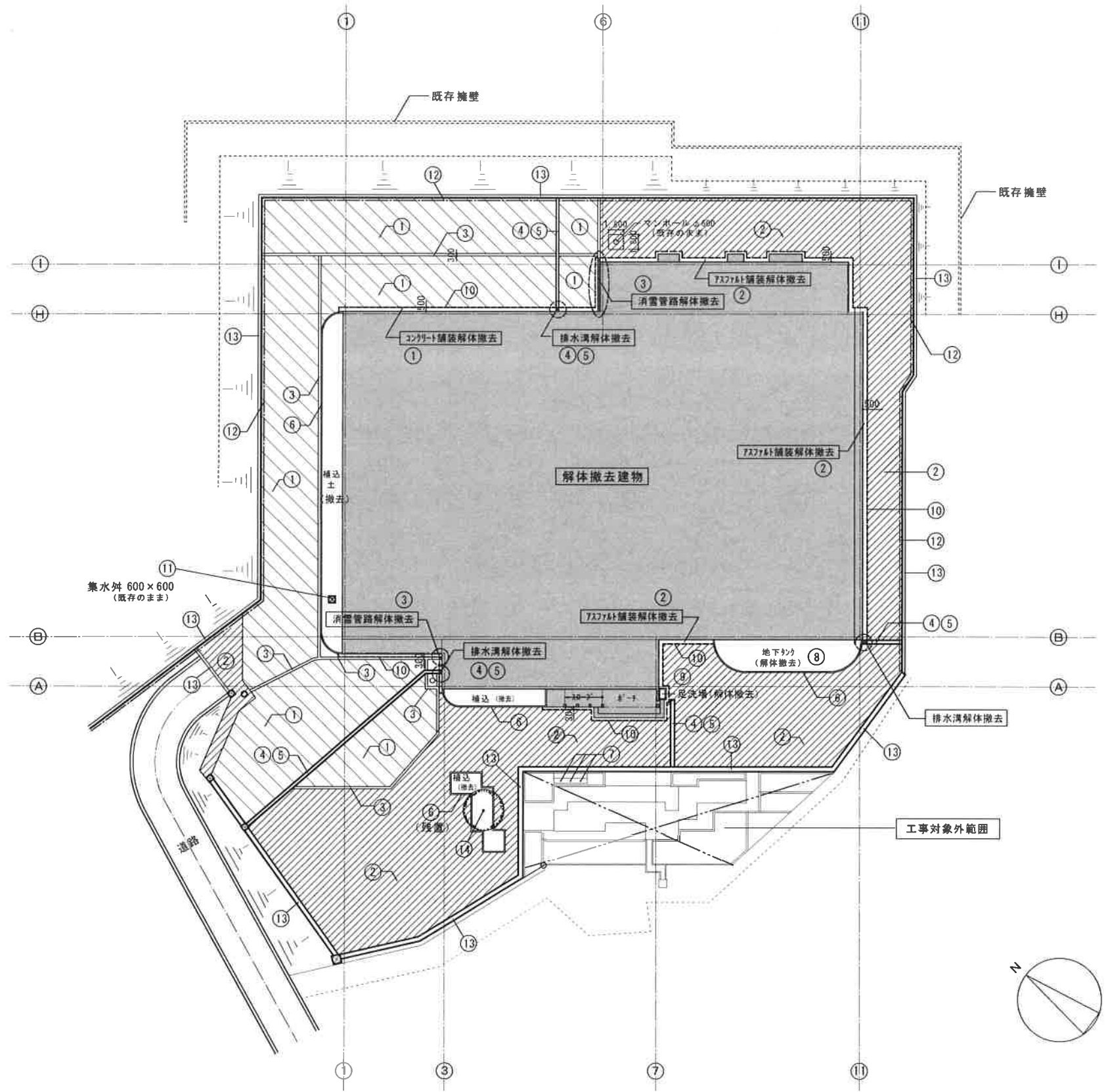
平面図

配管ピット詳細図 1:50

- 主筋 12-D19
- HOP D10-100φ
- パイプ HOP D10-600φ



断面図

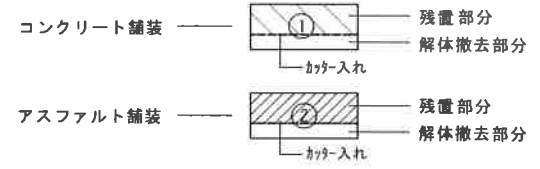


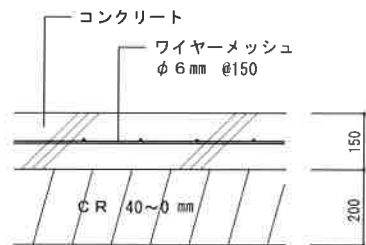
外構工事一覧表

	名 称	工事種別	工 事 内 容
①	コンクリート舗装	一部 解体撤去 その他残置	延べ面積 20.23 m ² コンクリート t=150 (ワイヤメッシュ φ6@150入り) (解体部分) CR 40~0 t=200
②	アスファルト舗装	一部 解体撤去 その他残置	延べ面積 91.52 m ² 密粒 AS 13F CR 25~0 t=100 (解体部分) CR 40~0 t=200
③	消雪管及び保護コンクリート	一部 解体撤去 その他残置	延べ長 6.80 m コンクリート 300×300 管φ50 埋込 (解体部分)
④	排水溝	一部 解体撤去 その他残置	延べ長 1.30 m U字溝 240型 側コンクリート t=120 (解体部分)
⑤	同上グレーチング蓋	一部 撤去 その他残置	延べ長 1.30 m 240型用 T-20 (撤去部分)
⑥	縁石ブロック	解体撤去 一部残置	延べ長 87.7 m 150/170×200 (撤去部分)
⑦	ブロックボール	解体撤去	アルミ製 φ60 H=6.0 m 3本 (撤去後脚部穴埋)
⑧	地下埋設タンク ※ 建築図 A-27 参照	解体撤去	重油タンク 15k φ1,840 L=6,700 1基 メタノールタンク 8k φ1,840 L=3,000 1基
⑨	足洗場	解体撤去	現場打コンクリート製 900×1,400 (グレーチング 600×500 共) 1箇所
⑩	舗装カッター入れ	解体	配置図指示範囲 L=177.0 m
⑪	集水井	残置	現場打コンクリート製 600×600 H=2,350、グレーチング 蓋 700角 1箇所
⑫	外周部ガードケーブル	残置	
⑬	外周部排水溝	残置	
⑭	樹木 (駐車場)	残置	1本 その他植栽物

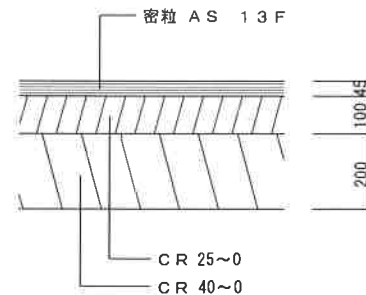
※ 配置図に示すエリア内の建築物、工作物、地下埋設物、舗装等は解体撤去の指示以外は既存のままとする。
解体撤去指示部分は、埋土のうえ再生砕石敷きによる整地とする。

外構平面図 S=1/300

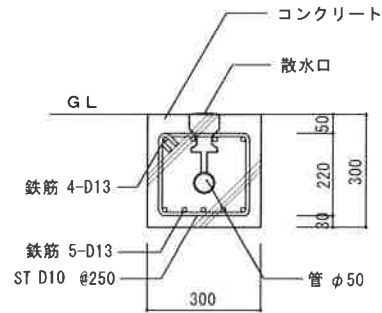




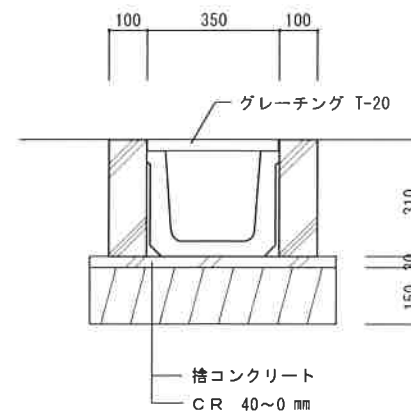
(一部解体撤去)



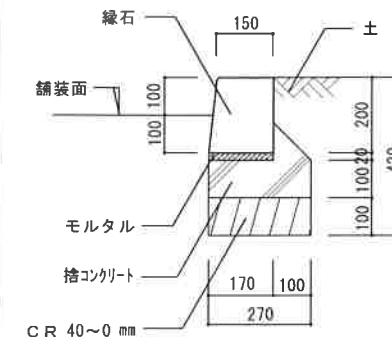
(一部解体撤去)



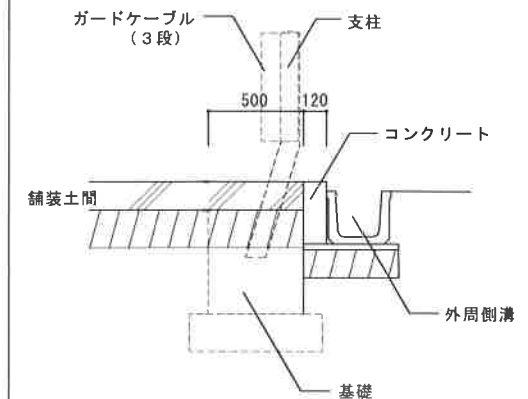
(一部解体撤去)



(一部解体撤去)

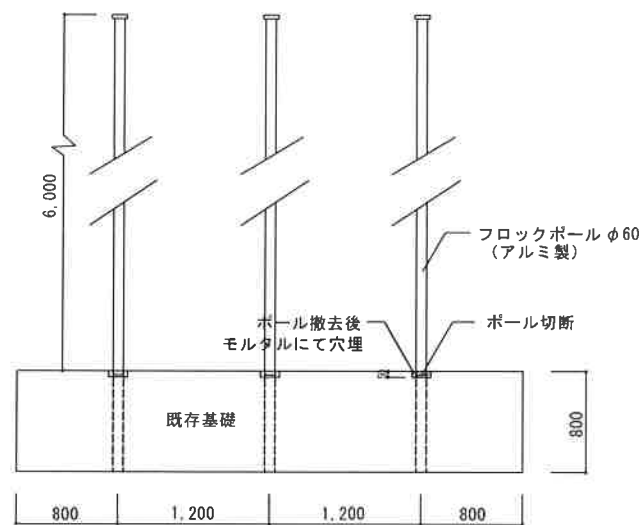


(解体撤去、一部残置)

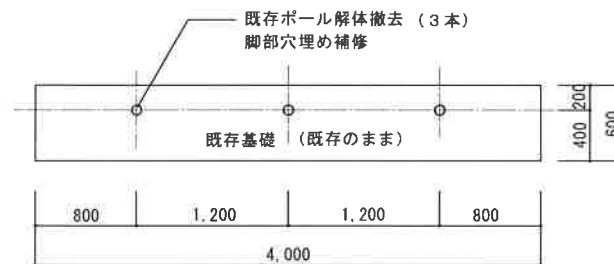


(既存のまま)

① 構内土間 コンクリート舗装 S = 1/10	② 構内土間 アスファルト舗装 S = 1/10	③ 消雪管及び保護コンクリート S = 1/10	④ ⑤ 排水溝及びグレーチング蓋 S = 1/10	⑥ 緑石ブロック S = 1/10	⑪ ⑫ ⑬ 舗装カッター入れ 他 S = 1/30
--------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------	-------------------	---------------------------

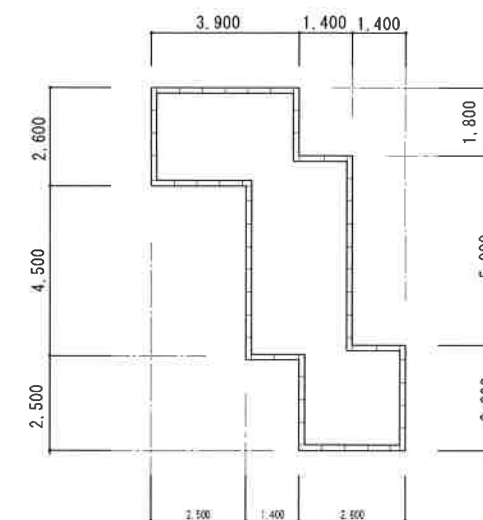


立面图



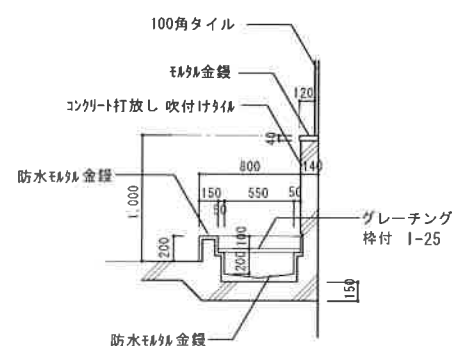
平面图

(ボールのみ解体撤去)

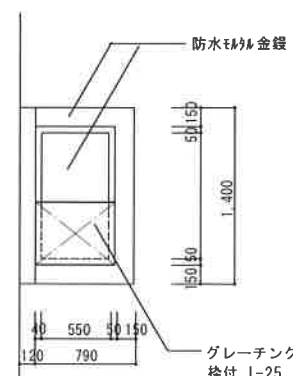


(既存のまま)

⑦	フロックボール	S=1/30	⑥	緑石ブロック 形状図 (駐車場)	S = 1/100
---	---------	--------	---	------------------	-----------

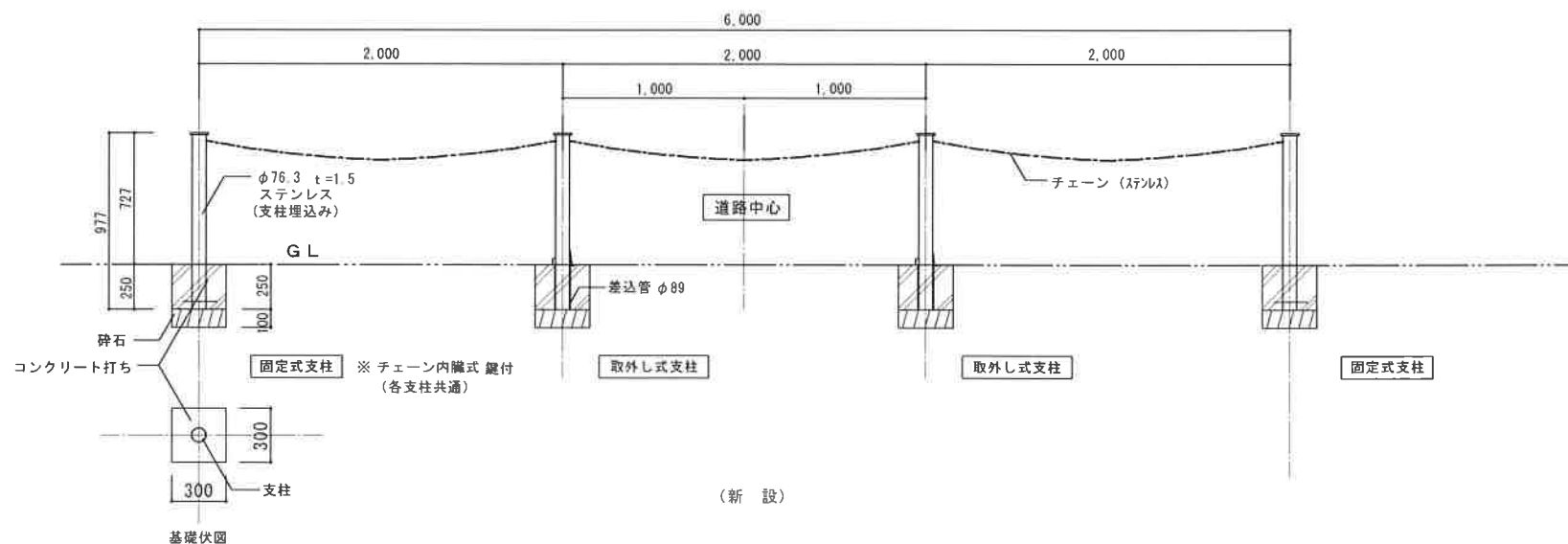


断面图



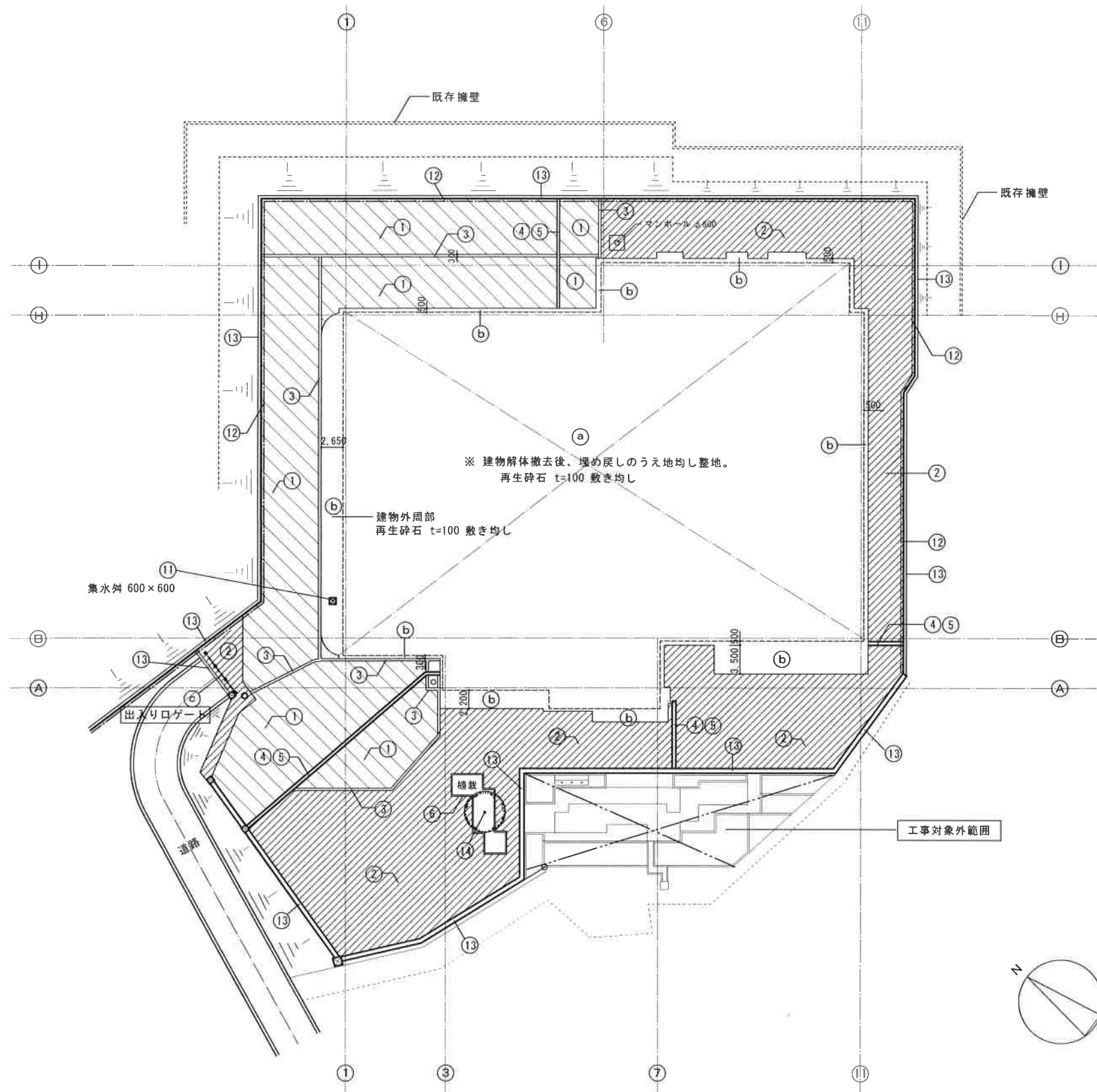
平面图

(解体撤去)



(新 設)

⑦ 足洗い場	S=1/30	③ チェーンゲート (参考)	S=1/20	※ 仕様はメーカー仕様による。
--------	--------	----------------	--------	-----------------

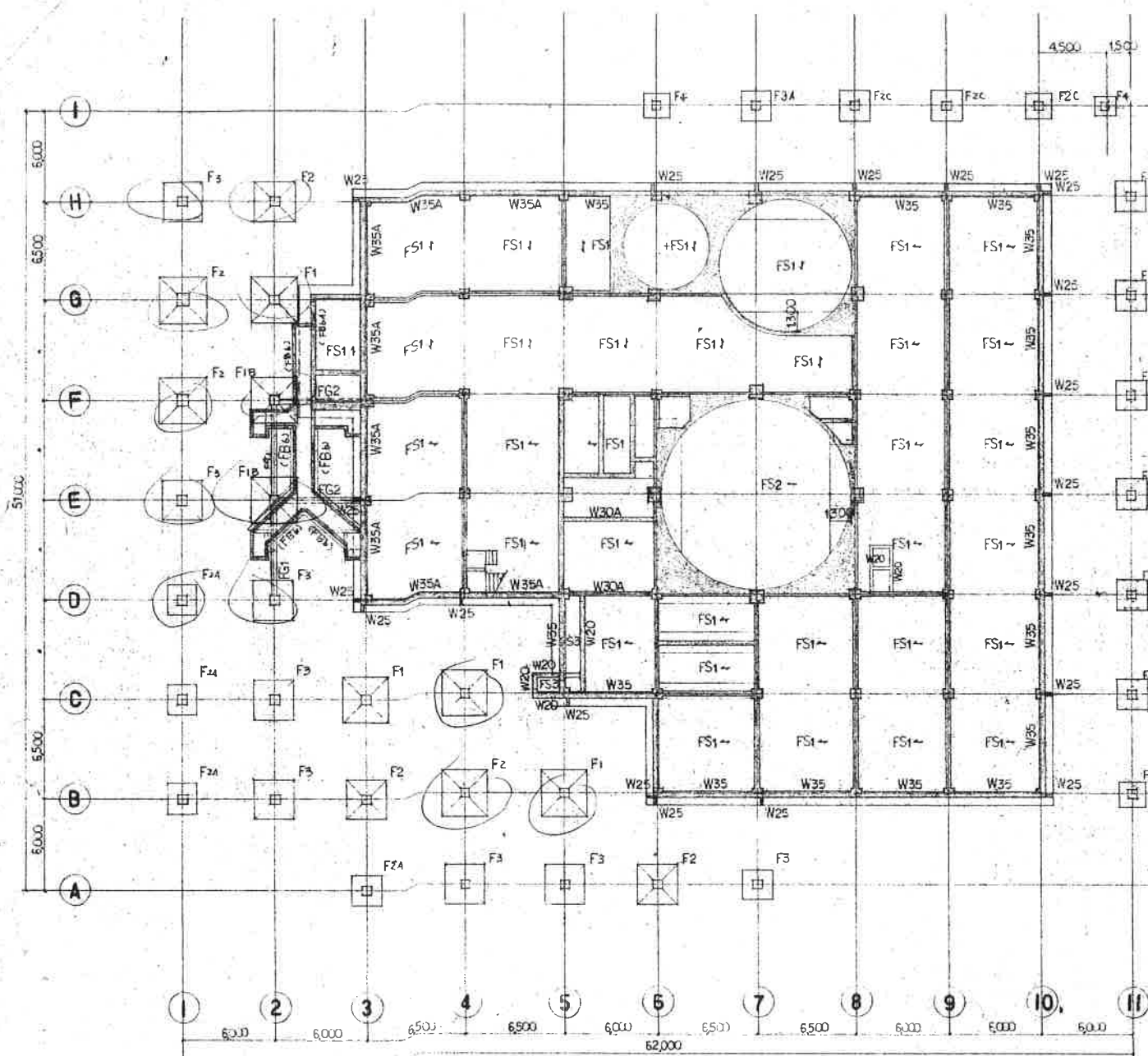


整地工事一覧表

	名 称	工事種別	工 事 内 容
a	敷地内整地（建物解体撤去部分）	外構工事	再生碎石敷き t=100 延べ面積 2,853.0 m ²
b	敷地内整地（建物外周部分）	外構工事	再生碎石敷き t=100 延べ面積 311.0 m ²
c	敷地入り口チェーンゲート ※ 外構 A-29図参照	外構工事 （新設）	支柱 φ76.3（ステンレス）H=727（977） 2本 取外し式、チェーン内臓式、基礎コンクリート打ち 300×300×250 支柱 φ76.3（ステンレス）H=727（977） 2本 固定式、チェーン内臓式、基礎コンクリート打ち 300×300×250
①	コンクリート舗装	残置 （既存のまま）	コンクリート t=150（ワイヤーメッシュφ6@150入り） CR 40～0 t=200
②	アスファルト舗装	残置 （既存のまま）	密粒 AS 13F CR 25～0 t=100 CR 40～0 t=200
③	消雪管及び保護コンクリート	残置 （既存のまま）	コンクリート 300×300 管φ50 埋込
④	排水溝	残置 （既存のまま）	U字溝 240型 側コンクリート t=120
⑤	同上グレーチング蓋	残置 （既存のまま）	240型用 T-20
⑥	縁石ブロック	残置 （既存のまま）	150/170×200（PC）
⑪	集水井	残置 （既存のまま）	現場打コンクリート製 600×600 H=2,350、 グレーチング蓋 700角 1箇所
⑫	外周部ガードケーブル	残置 （既存のまま）	
⑬	外周部排水溝	残置 （既存のまま）	
⑭	樹木（駐車場）	残置 （既存のまま）	

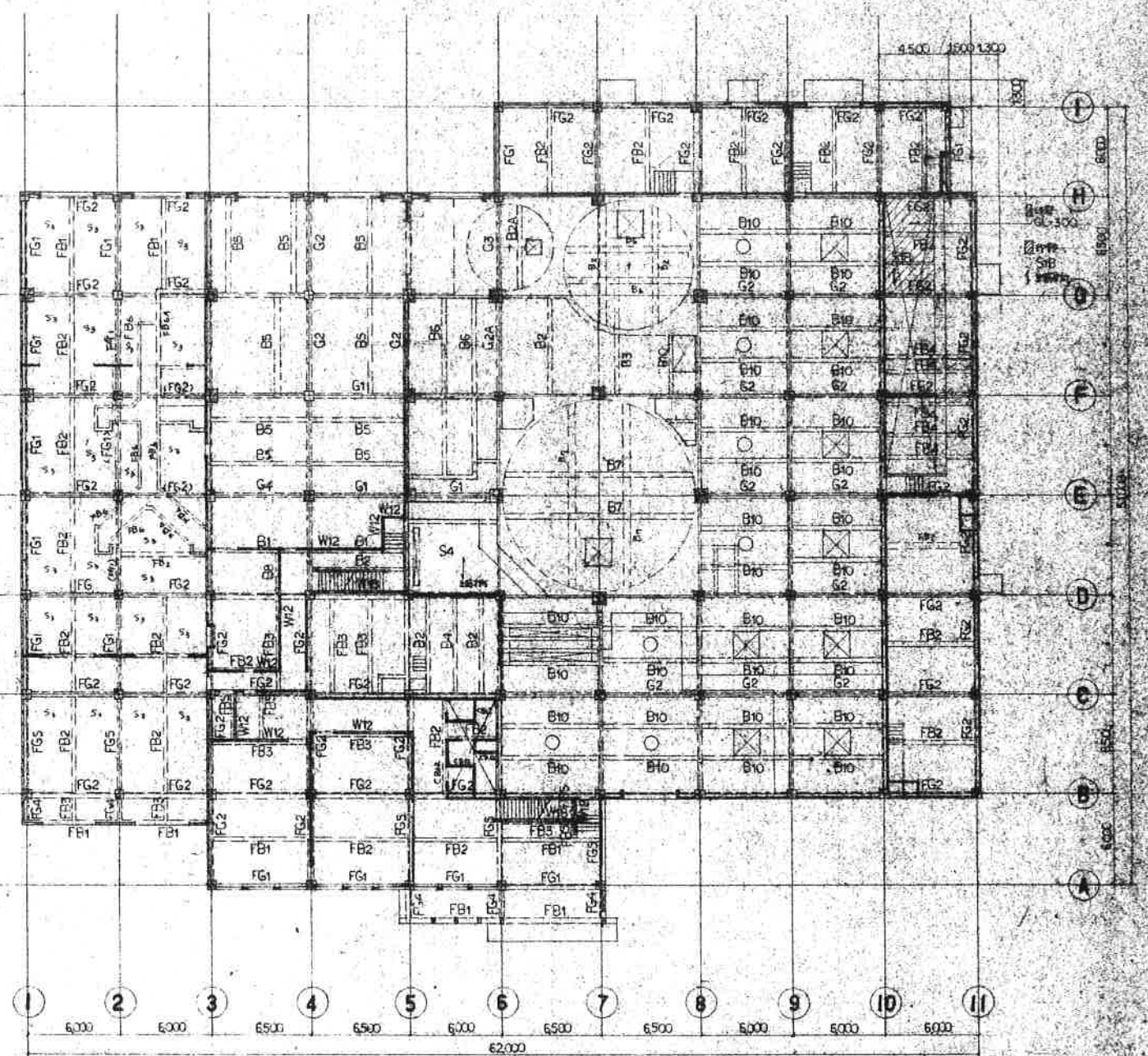
外構平面図 S=1/300

- 再生碎石敷き部分
- ① コンクリート舗装 残置部分
- ② アスファルト舗装 残置部分



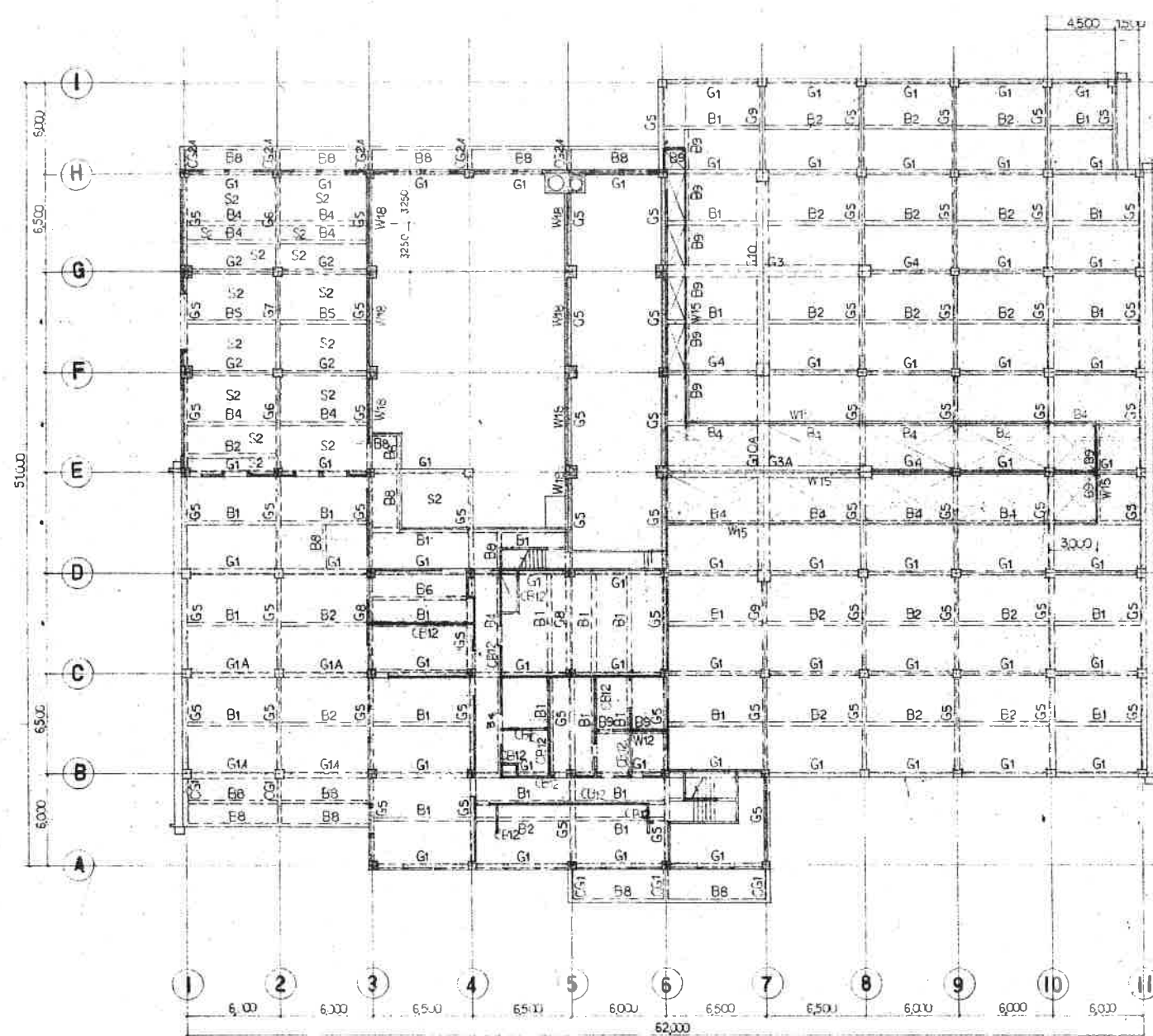
BI階梁伏図 1/200

階梁の1/5スケール W302とF3 → F3とF4の1/5



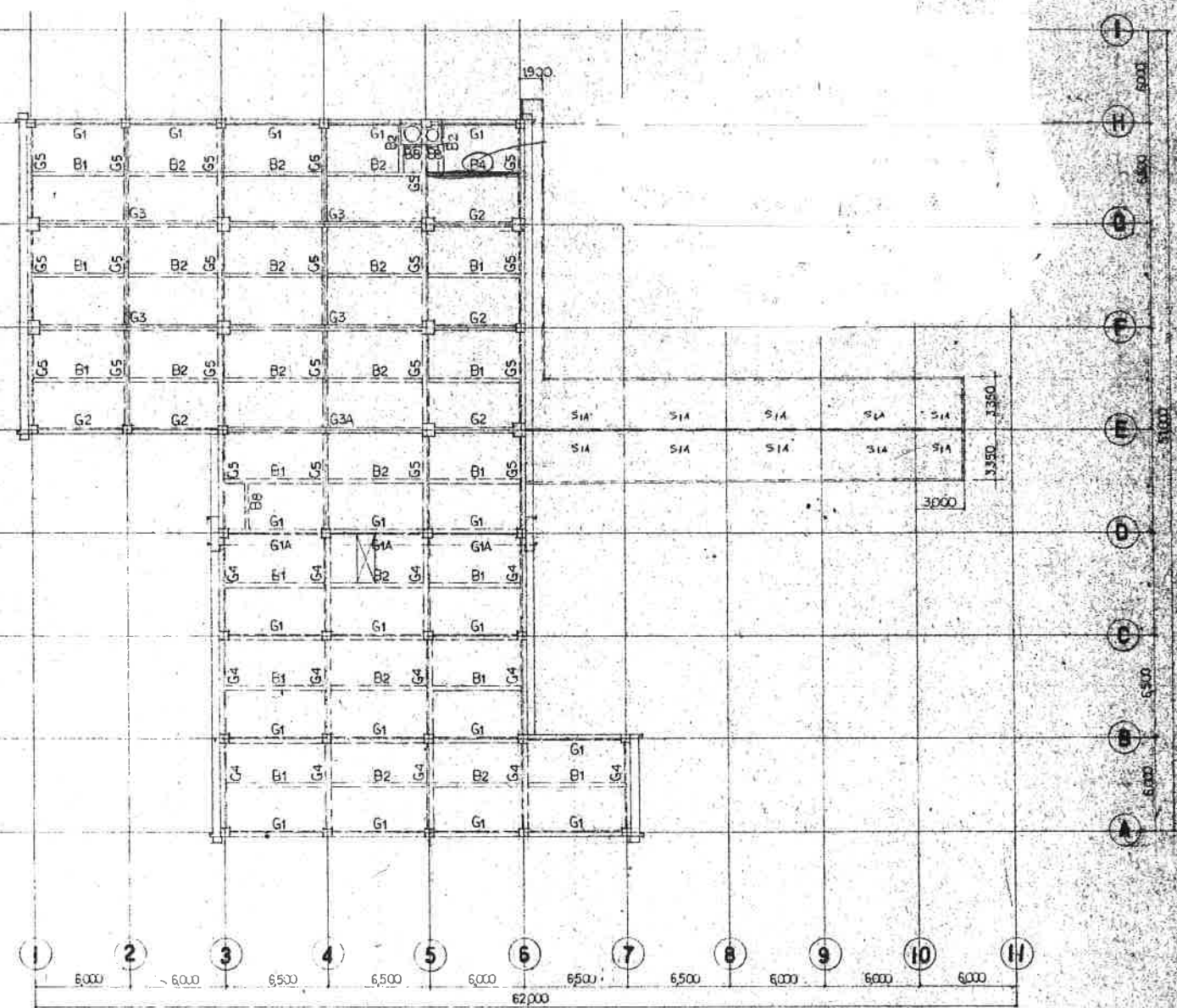
I階梁伏図 1/200

階梁の1/5スケール S1, S2, W15とF3



2階梁伏図 1/200

略記: 2階1フロア S1, S2, S3, S4, S5, S6, S7, S8, S9, S10, S11, S12, S13, S14, S15, S16, S17, S18, S19, S20, S21, S22, S23, S24, S25, S26, S27, S28, S29, S30, S31, S32, S33, S34, S35, S36, S37, S38, S39, S40, S41, S42, S43, S44, S45, S46, S47, S48, S49, S50, S51, S52, S53, S54, S55, S56, S57, S58, S59, S60, S61, S62, S63, S64, S65, S66, S67, S68, S69, S70, S71, S72, S73, S74, S75, S76, S77, S78, S79, S80, S81, S82, S83, S84, S85, S86, S87, S88, S89, S90, S91, S92, S93, S94, S95, S96, S97, S98, S99, S100.



2階梁伏図 1/200

略記: 2階1フロア S1, S2, S3, S4, S5, S6, S7, S8, S9, S10, S11, S12, S13, S14, S15, S16, S17, S18, S19, S20, S21, S22, S23, S24, S25, S26, S27, S28, S29, S30, S31, S32, S33, S34, S35, S36, S37, S38, S39, S40, S41, S42, S43, S44, S45, S46, S47, S48, S49, S50, S51, S52, S53, S54, S55, S56, S57, S58, S59, S60, S61, S62, S63, S64, S65, S66, S67, S68, S69, S70, S71, S72, S73, S74, S75, S76, S77, S78, S79, S80, S81, S82, S83, S84, S85, S86, S87, S88, S89, S90, S91, S92, S93, S94, S95, S96, S97, S98, S99, S100.



基 設 計

長野市上松 3-13-5 TEL 026-241-3515 FAX 026-243-3652
一級建築士事務所登録 (長野) L 第33012号
一級建築士登録 第68962号 庭 東 幸 一

DAY

TITLE

令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

SHEET NAME

2階・R階梁伏図

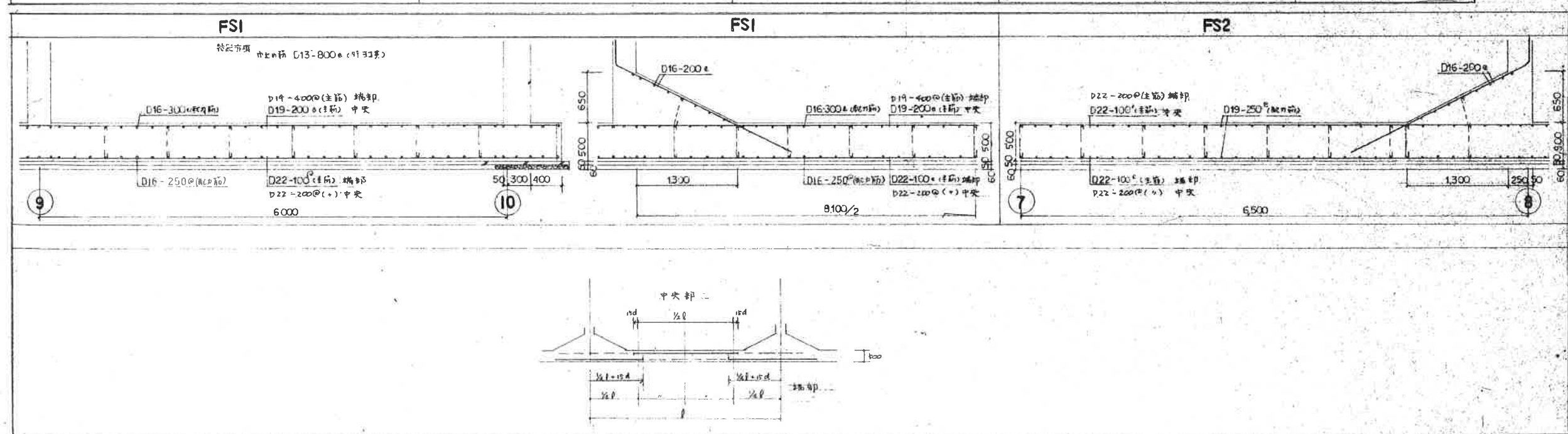
SCALE

A1 1/200
A3 1/400

NO

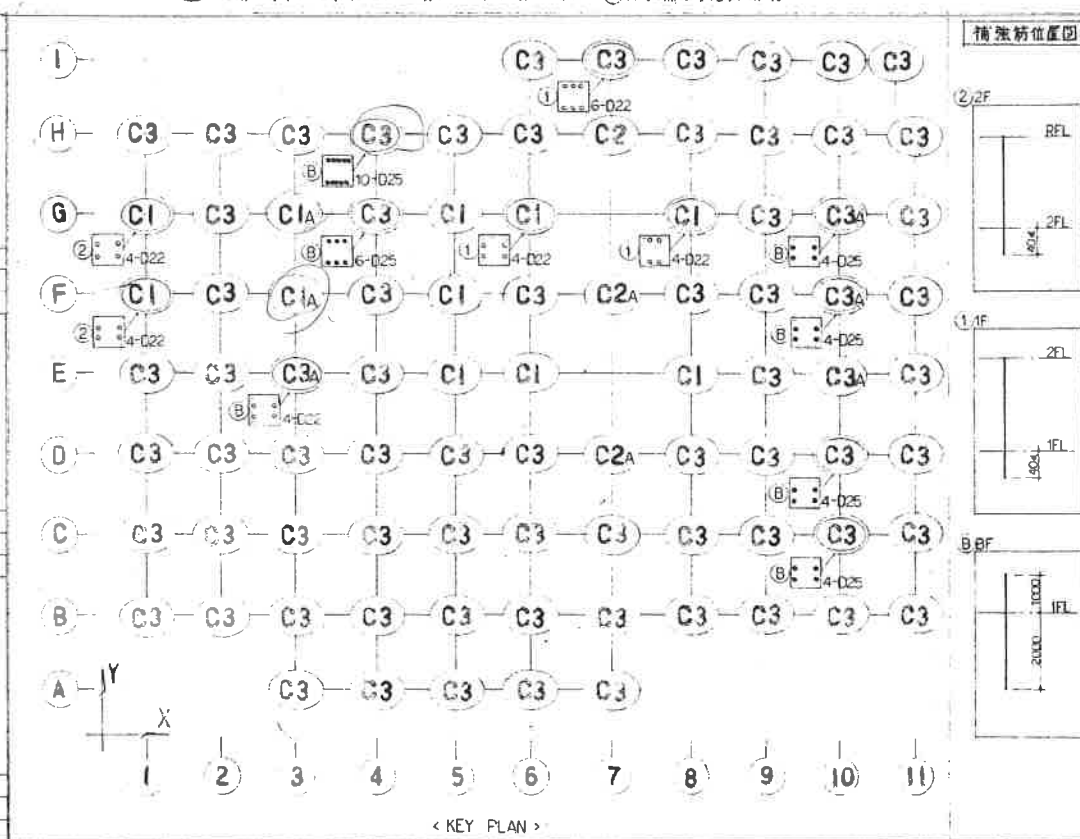
S-02

構



符号	C1	C2	C3	C1A	C2A	C3A
2階柱断面						
特記事項						
断面 (X×Y)	800×800		600×600	800×800		600×600
主筋	12-D22		12-D22	12-D22		12-D22
ブレース	□-D13, 100e		□-D10, 100e	□-D13, 100e		□-D10, 100e
1階柱断面						
特記事項						
断面 (X×Y)	800×800	800×800	600×600	800×800	800×800	600×600
主筋	12-D22	14-D25	8-D22	12-D22	18-D25	8-D22
ブレース	□-D13, 100e	□-D13, 100e	□-D10, 100e	□-D13, 100e	□-D13, 100e	□-D10, 100e
B1階柱断面						
特記事項						
断面 (X×Y)	800×800	800×800	600×600	800×800	800×800	600×600
主筋	12-D22	14-D25	8-D22	16-D22	22-D25	12-D22
ブレース	□-D13, 100e	□-D13, 100e	□-D10, 100e	□-D13, 100e	□-D13, 100e	□-D10, 100e

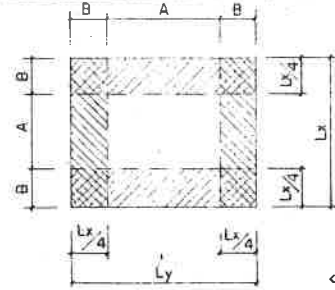
特記事項
○は、補強筋を示す。○中の鉄筋本数は、補強筋の本数を示す。○内は、補強筋の径を示す。



符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5	FB1	FB2	FB3	FB4	FB5	FB6	FB6A
地中梁断面												
特記事項												
断面 (B×H)	400×1200	400×1200	400×1200	400×1200	400×1200	350×650	350×650	350×650	350×650	250×500	200×1000	300×1000
上筋	3-D22	3-D22	5-D22	6-D22	6-D22	2-D22	2-D22	4-D22	4-D22	3-D19	2-D13	2-D25
下筋	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	3-D19	4-D13	2-D16
ブレース	□-D13, 250e	□-D13, 250e	□-D13, 250e	□-D13, 250e	□-D13, 250e	□-D10, 200e	□-D10, 200e	□-D10, 200e	□-D10, 200e	□-D10, 200e	□-D13, 200e	□-D13, 200e
ブレース	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	6-D13	8-D16	

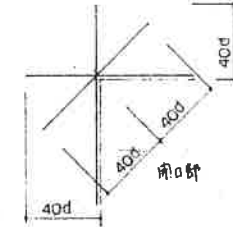
雑配筋詳細図 1/30

スラブリスト 1/30									
符号	厚さ	位置	<短辺>			<長辺>			
			端部	中央	座断面	端部	中央	座断面	
S1A	150	上端筋	D10, D13 - 200 e			D10 - 200 e			
		下端筋	D10, D13 - 200 e			D10 - 200 e			
S2	150	上端筋	D13 - 200 e	D13 - 400 e	D10 - 200 e	D10, D13 - 250 e	D10 - 500 e	D10 - 100 e	
		下端筋	D13 - 400 e	D13 - 200 e	全上	D10 - 500 e	D10, D13 - 250 e	全上	
S1	150	上端筋	D10, D13 - 200 e	D13 - 400 e	D10 - 200 e	D10 - 250 e	D10 - 500 e	D10 - 250 e	
		下端筋	D13 - 400 e	D10, D13 - 200 e	全上	D10 - 500 e	D10 - 250 e	全上	
S3	150	上端筋	D13 - 200 e	D13 - 200 e	D13 - 200 e	D10 - 200 e	D10 - 200 e	D10 - 200 e	
		下端筋	D13 - 200 e	D13 - 200 e	全上	D10 - 200 e	D10 - 200 e	全上	
S4	650	上下ス	主筋 D16 - 150 e			配筋筋 D13 - 200 e			
S1B	150		主筋 D13 - 100 e			配筋筋: S1 長辺方向 配筋ニ依ル。			



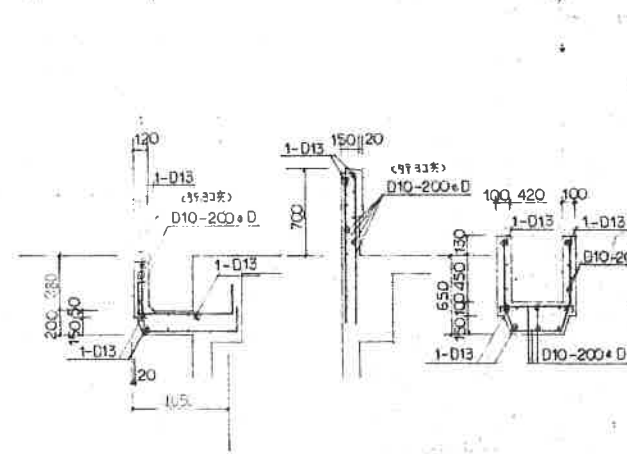
< KEY PLAN >

壁リスト 1/30					
符号	W25, W20	W18	W15	W12	CB12
断面					
寸法	200, 250	180	150	120	120
主筋	D13 - 200 e, D10, D13 - 200 e, D	D10 - 200 e, D	D10 - 200 e, D	D10 - 200 e, S	
添筋	D13 - 250 e, D10, D13 - 200 e, D	D10 - 200 e, D	D10 - 200 e, D	D10 - 200 e, S	
配筋筋	2-D16	2-D13	2-D13	1-D13	
添筋	2-D16, 2-D13	2-D13	1-D13	1-D13	
添筋	D10 - 100 e	D10 - 100 e			

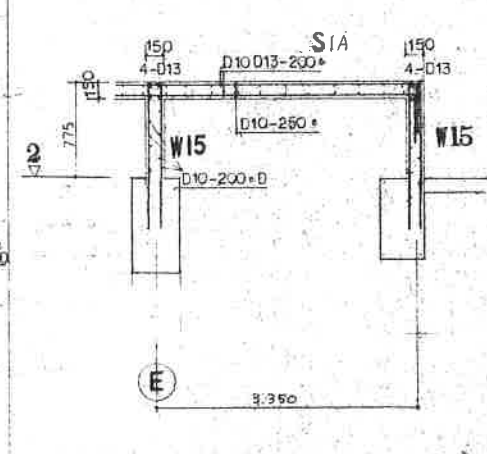


隅部補強配筋図

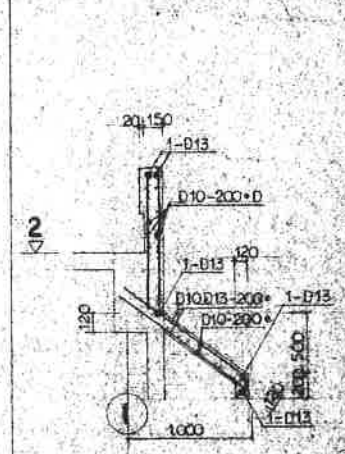
冷通ハルバト配筋図



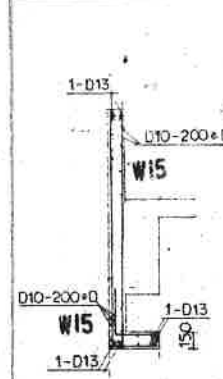
配管スペース配筋図



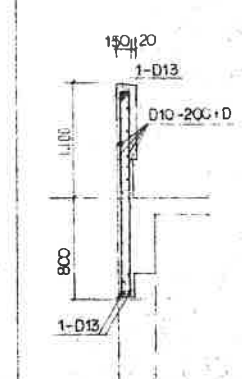
エレベーター配筋図



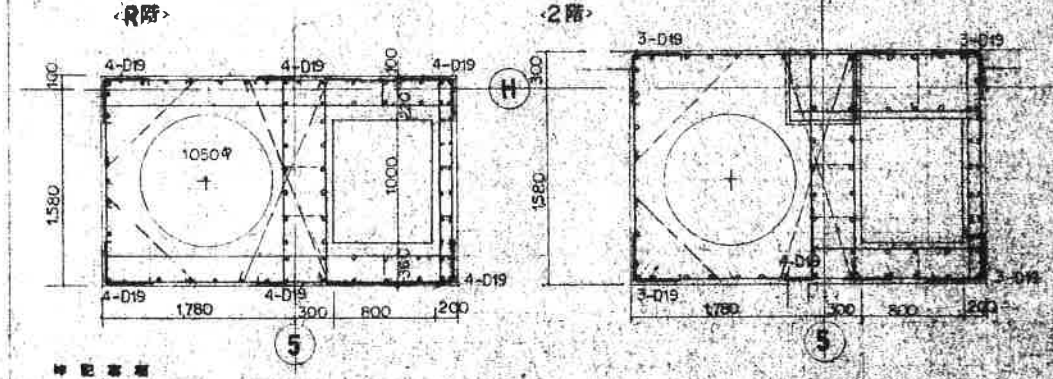
煙道配筋図



玄関扉のハルバト配筋図



煙突配筋図



※配筋
 ・R1-D13・R1-D16・R1-D13・R1-D13
 ・R1-D13・R1-D13・R1-D13・R1-D13
 ・R1-D13・R1-D13・R1-D13・R1-D13
 ・R1-D13・R1-D13・R1-D13・R1-D13



基 設 計

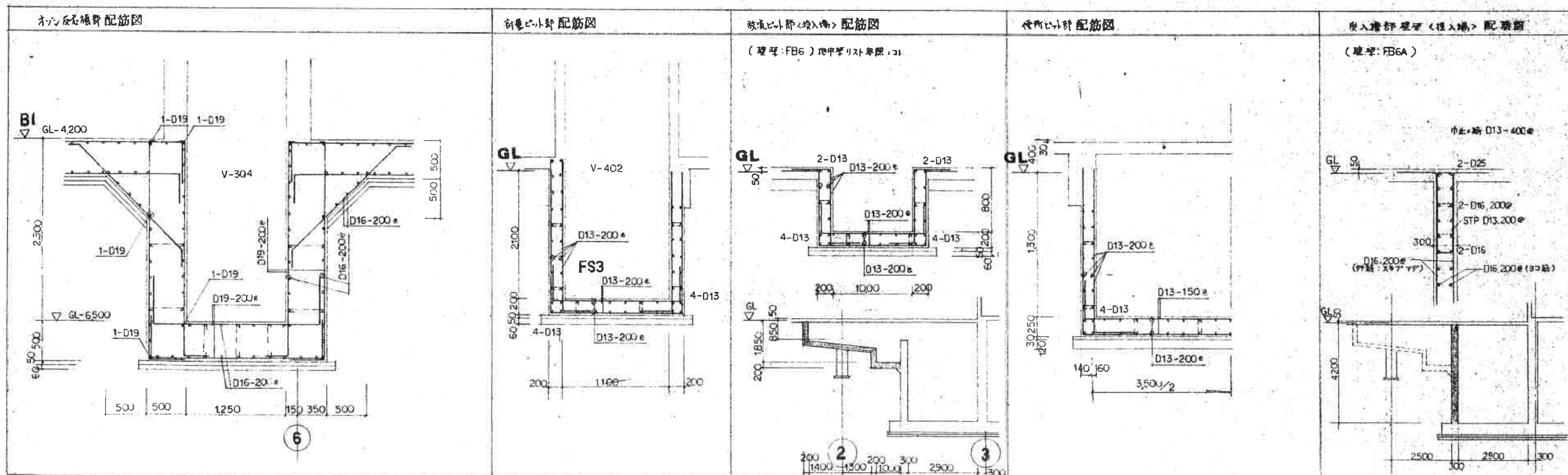
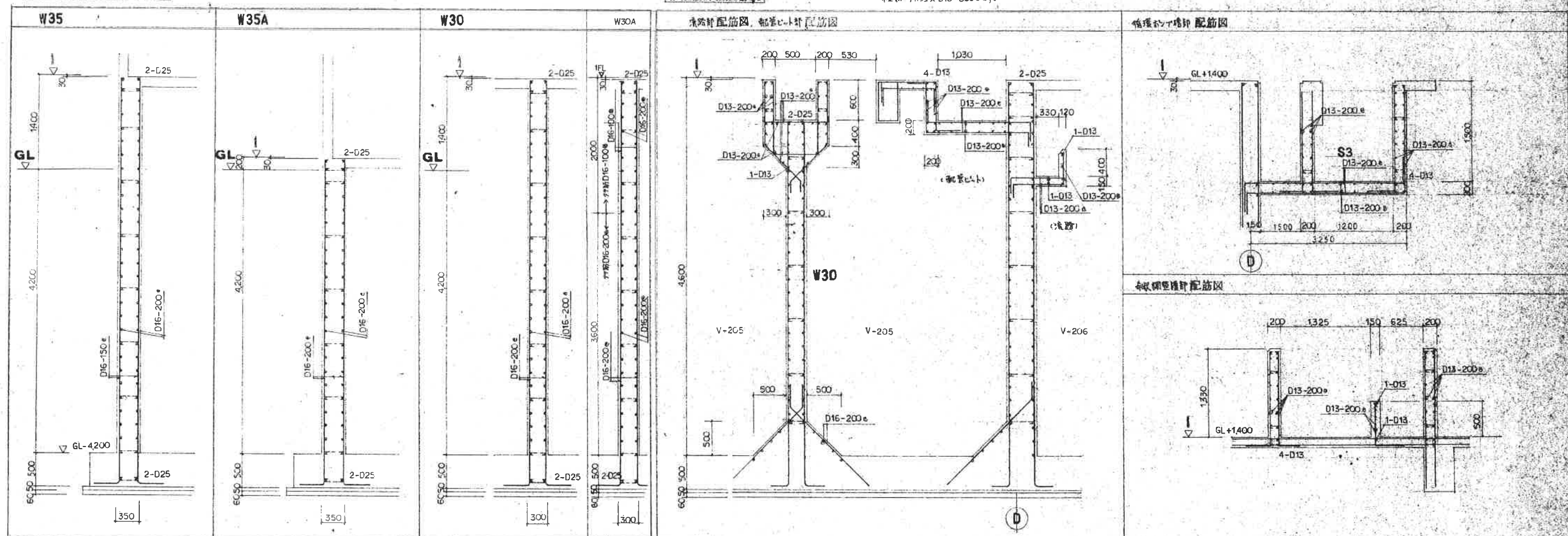
長野市上松 3-13-8 TEL 026-241-3615 FAX 026-243-3652
 一級建築士事務所 長野市 長野市 長野市 長野市
 一級建築士事務所 長野市 長野市 長野市 長野市

令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

SHEET NWE
 スラブ・壁リスト 雑配筋図

SCALE
 A1 1/30
 A3 1/60
 NO
 S-06



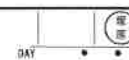


(注) 止水壁は打地盤に注入等



基 設 計

長野市上松 3-13-8 TEL 026-241-3515 FAX 026-243-3552
一級建築士事務所 長野市 (長野) L 第33012号
一級建築士事務所 第62962号 長野市



TITLE

令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

SHEET NAME

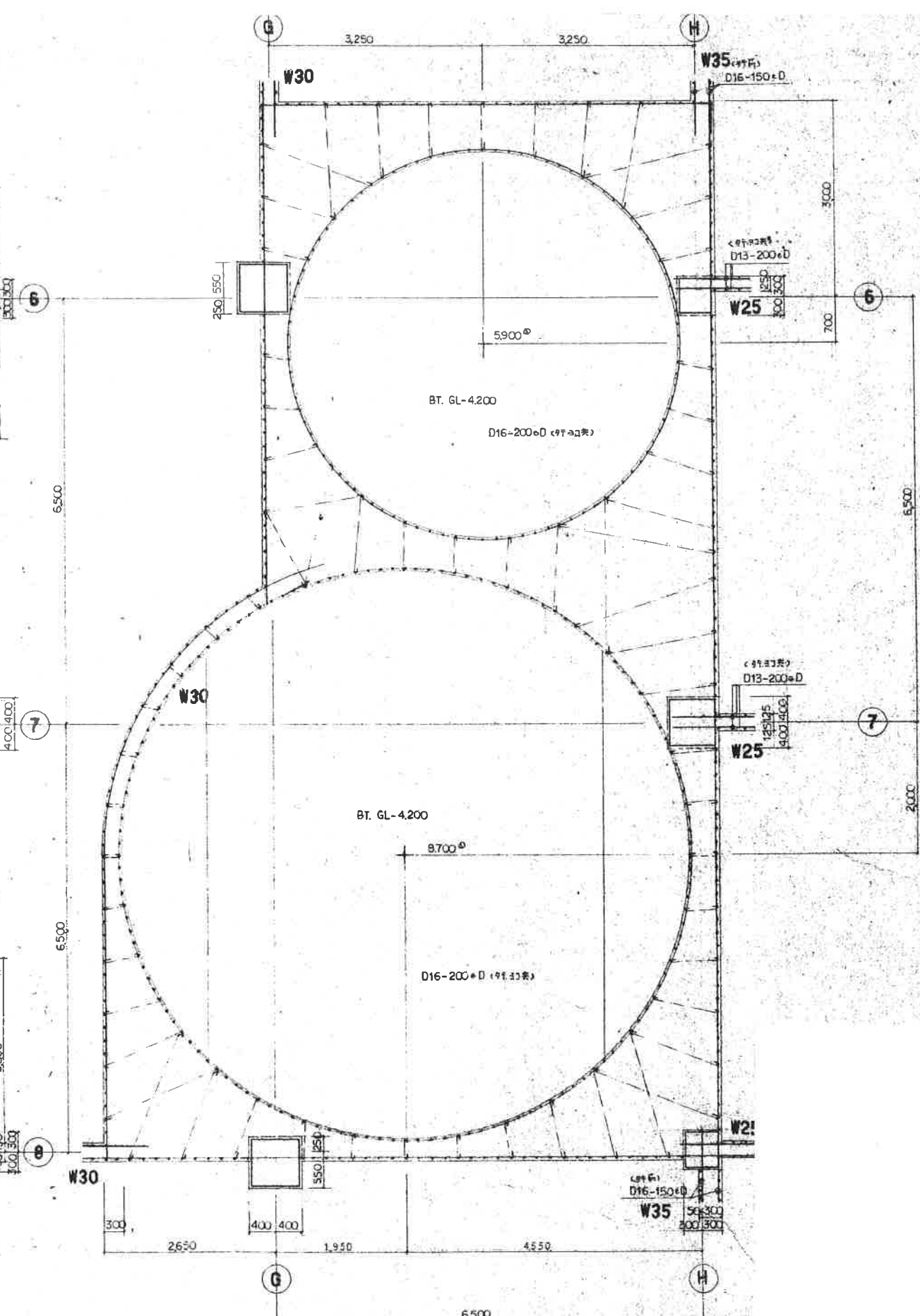
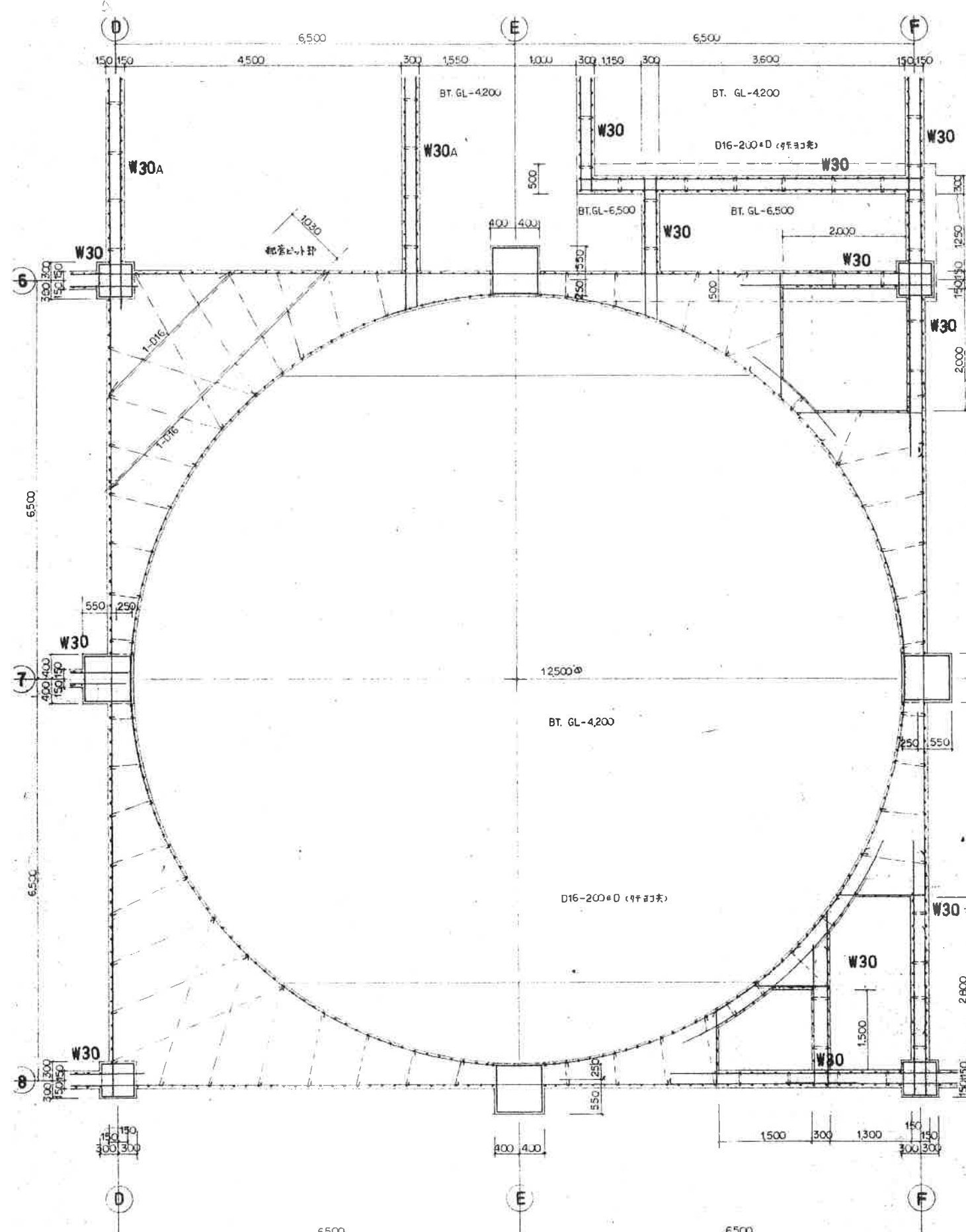
B1階壁リスト・各部配筋図

SCALE
A1: 1/30
A3: 1/50

NO

S-07

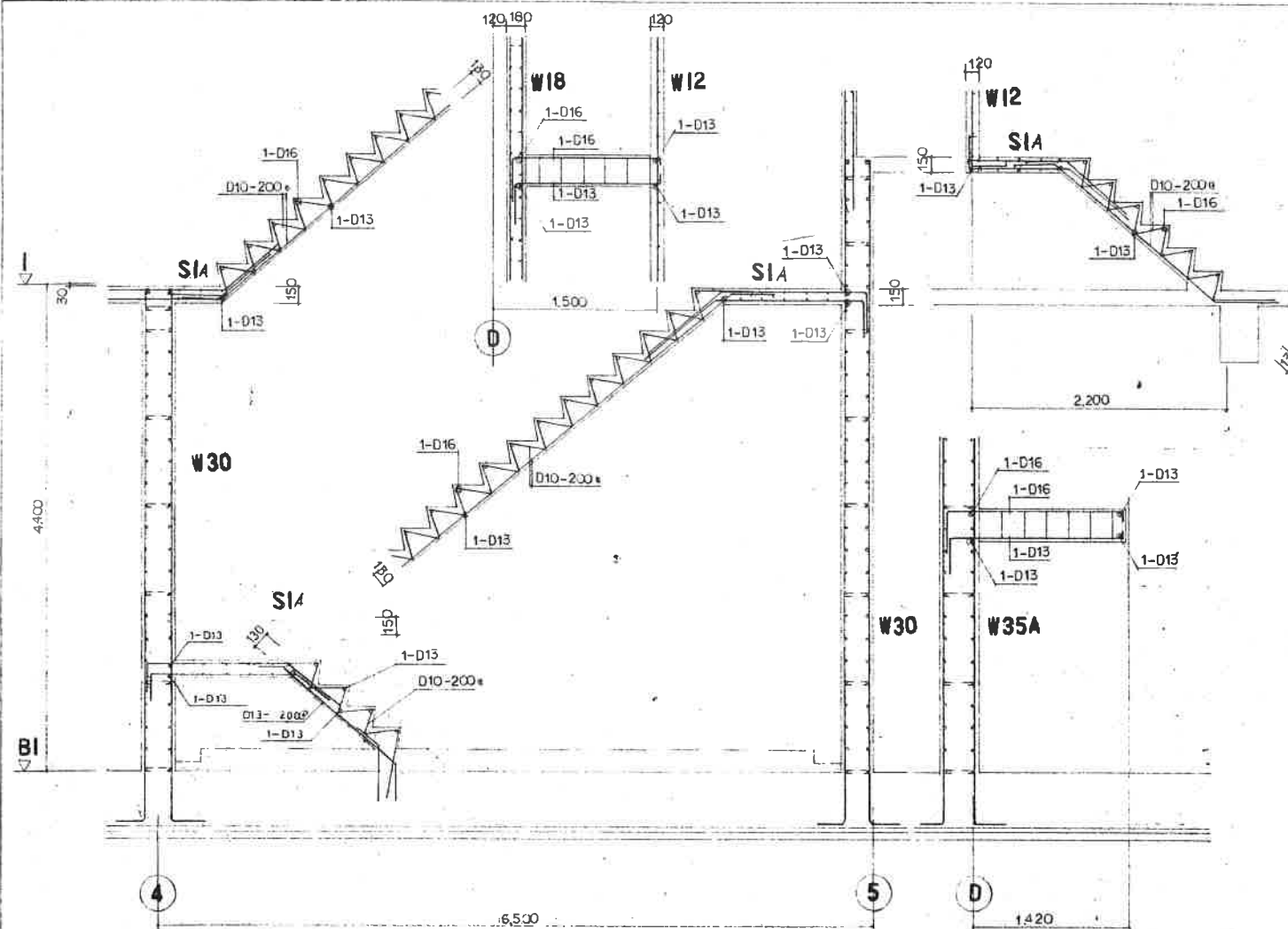




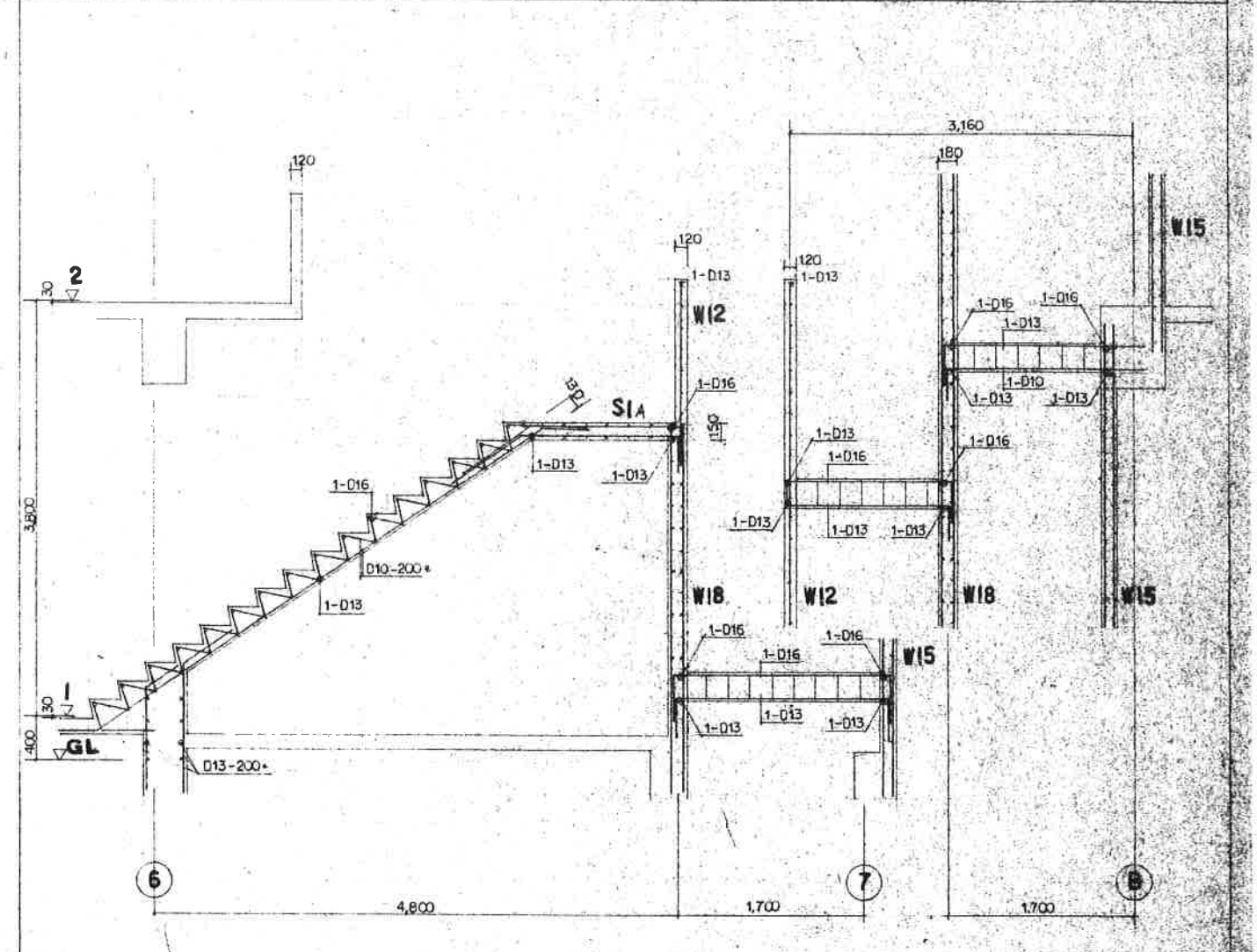
断面配筋図 1/40

断面配筋図 1/40
断面配筋図 1/40
断面配筋図 1/40

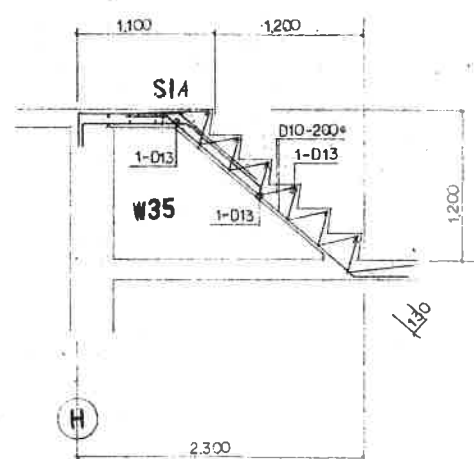
A 階段



C 階段

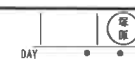


C 階段



基 設 計

豊野市上 3-13-8 TEL 026-241-3615 FAX 026-243-3602
一級建築士事務所 (長野) L 第 33012 号
一級建築士登録 第 66992 号 塚 本 幸 一



TITLE

令和元年度豊田衛生センター解体撤去工事

SHEET NAME

階段配筋詳細図

SCALE
A1 1/40
A3 1/80

NO

S-09



